

PC/PPI活動に対する取り組みに関するアンケート 報告書

3Hメディソリューション/3Hクリニカルトライアル

2023.08.09



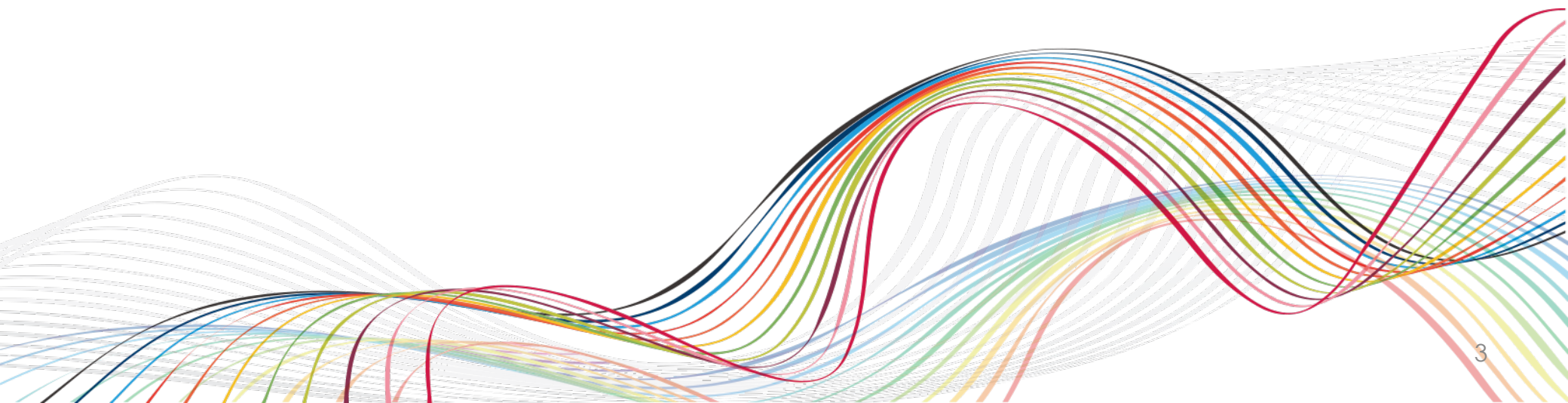
◆調査概要	P3
◆調査結果サマリー	P7
◆調査結果の詳細	P21
• グラフ/FA集	P22
◆Appendix	P74
• アンケート画面	P75

報告書内の記述について

※n=30未満は参考値として記載

※「*」は非聴取項目

調査概要



- **調査内容** :
 - ・PC/PPI活動の評価・参加意向
 - ・（治験参加経験者のみ）参加した治験の印象 等※調査対象が患者のみだったためPPI(患者市民参画) はPI(患者参画)とした
- **対象エリア** : 全国
- **調査手法** : 定量調査（ネットリサーチ）
- **対象者条件** :

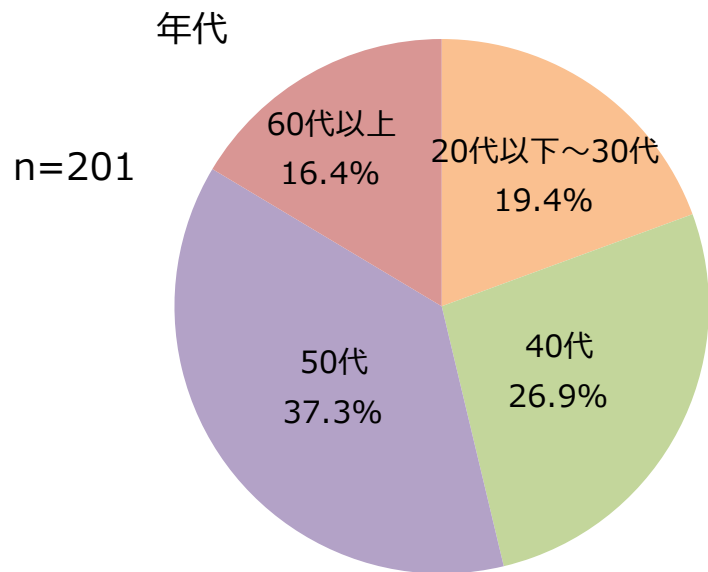
以下の条件を満たす方

 - ・18歳以上の方
 - ・がん患者（サバイバーを含む）、希少疾患・難病患者、CNS領域患者（認知症患者は除く）
 - ・「治験」をご存じの方
- **回収数** :

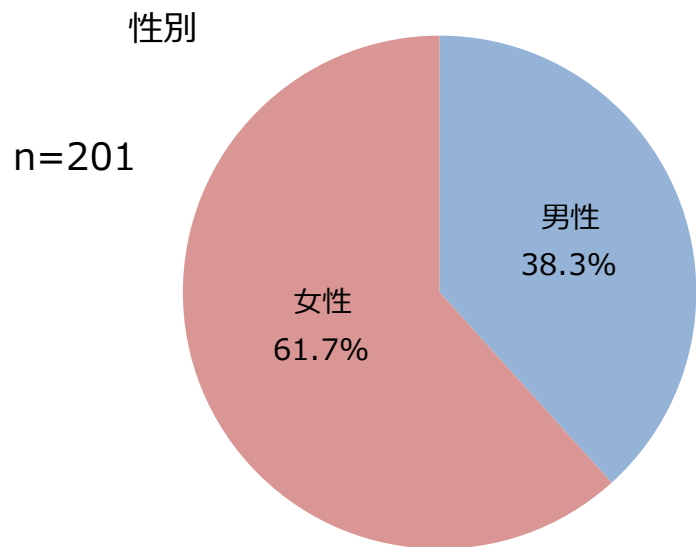
201名
※詳細な割付は下記の通り
（重複あり、重複の内訳：がん/CNS 8名、がん/希少・難病 1名）

がん患者	90
希少疾患・難病患者	16
CNS領域疾患患者	104
- **実施期間** : 2023年3月10日（金）～3月27日（月）
- **調査主体** : 第一三共(株)、3Hメディソリューション(株)
（調査実施：3Hクリニカルトライアル（株））

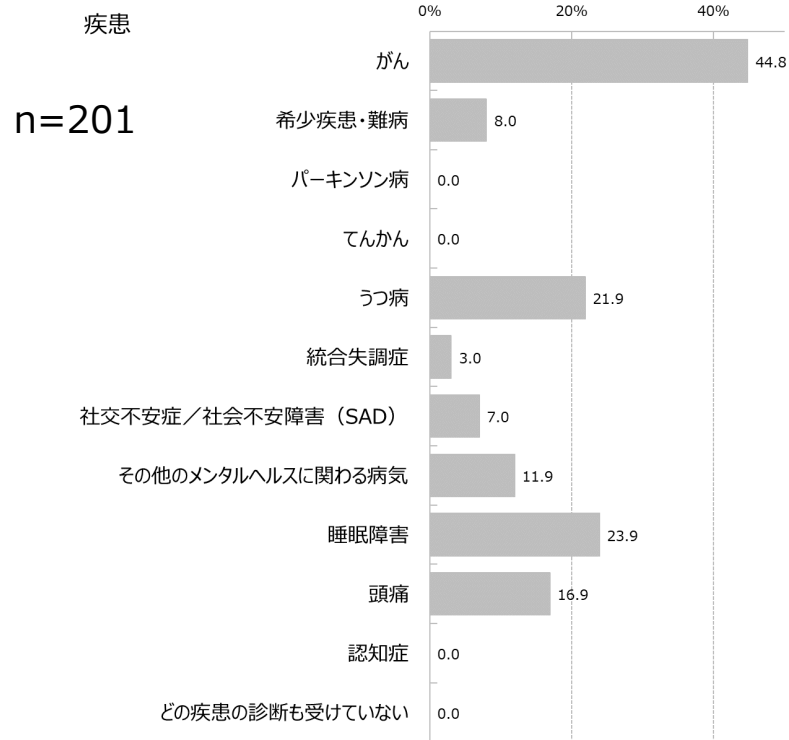
対象者背景①



Q1.あなたの年齢をお選びください。【SA】



Q2.あなたの性別をお選びください。【SA】

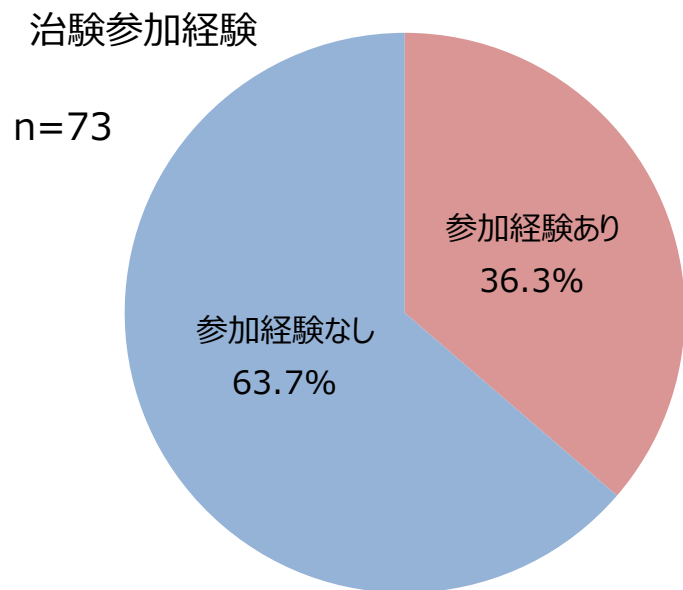


下記の疾患の中で重複あり

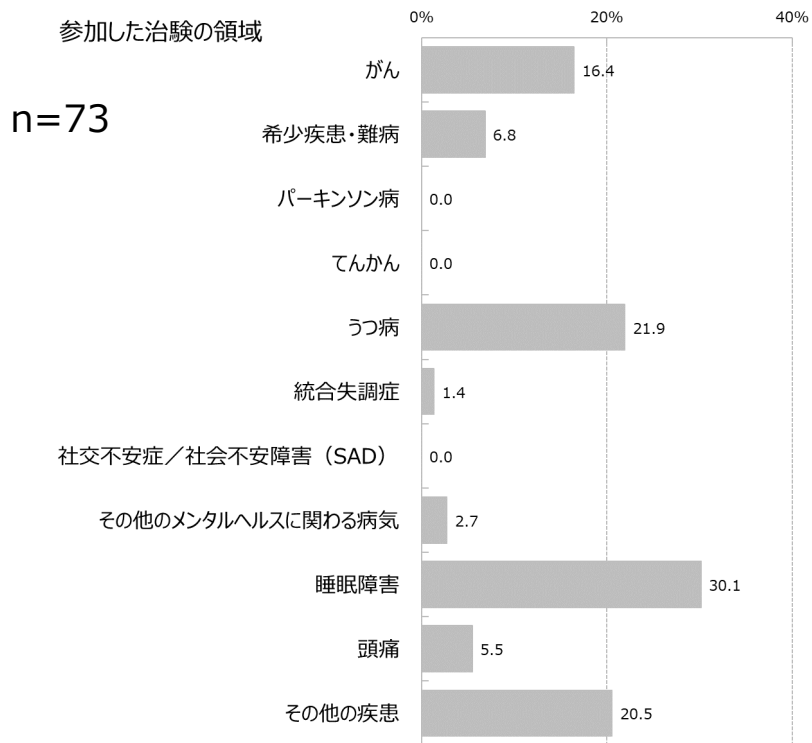
複数回答	n	%
全体	(201)	
1 がん	90	44.8
2 希少疾患・難病	16	8.0
3 パーキンソン病	0	0.0
4 てんかん	0	0.0
5 うつ病	44	21.9
6 統合失調症	6	3.0
7 社交不安症/社会不安障害 (SAD)	14	7.0
8 その他のメンタルヘルスに関わる病気 (パニック障害、心的外傷後ストレス障害、など)	24	11.9
9 睡眠障害	48	23.9
10 頭痛	34	16.9
11 認知症	0	0.0
12 どの疾患の診断も受けていない	0	0.0

Q3.あなたが、診断を受け治療をしている (していた) 疾患を全てお選びください。すでに完治/根治している疾患もお選びください。【MA】

対象者背景②



Q6. 治験の参加経験についてお選びください。【SA】

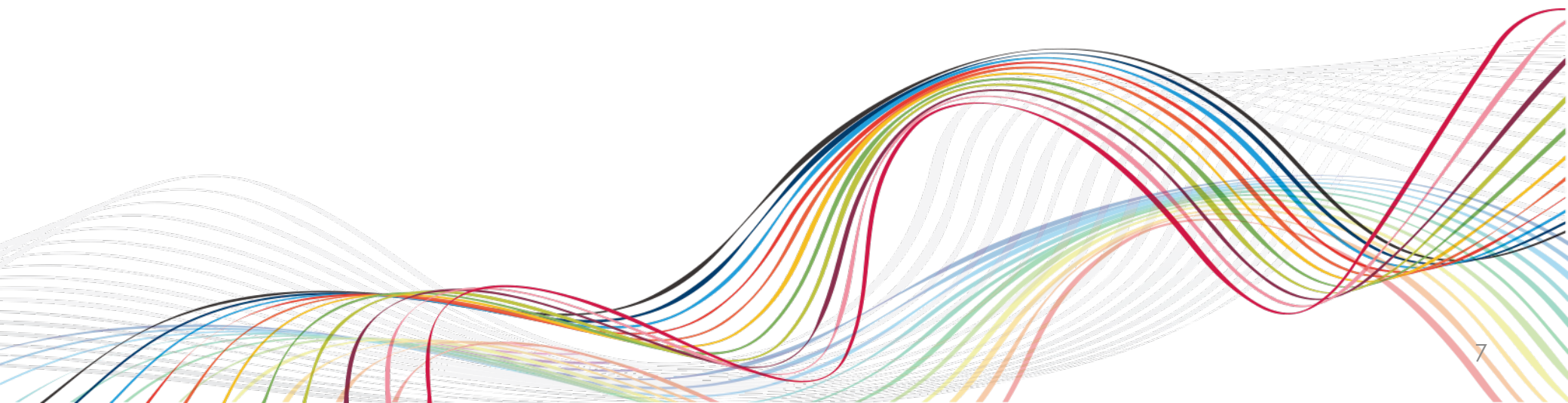


下記の疾患の中で重複あり

複数回答	n	%
全体	(73)	
1 がん	12	16.4
2 希少疾患	5	6.8
3 パーキンソン病	0	0.0
4 てんかん	0	0.0
5 うつ病	16	21.9
6 統合失調症	1	1.4
7 社交不安症／社会不安障害 (SAD)	0	0.0
8 その他のメンタルヘルスに関わる病気 (パニック障害、心的外傷後ストレス障害、など)	2	2.7
9 睡眠障害	22	30.1
10 頭痛	4	5.5
11 その他の疾患	15	20.5

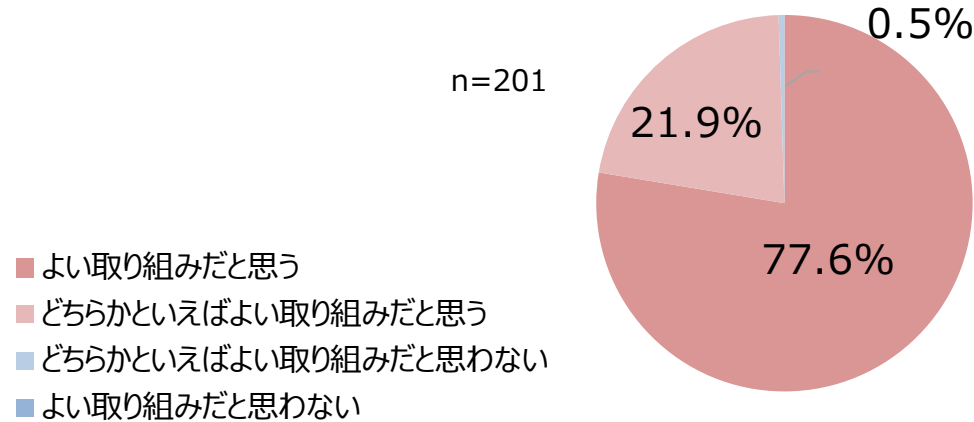
Q7. 前問で「治験に参加したことがある／参加中である」とお答えの方にお伺いします。あなたが参加したことのある治験を全てお選びください【MA】 6

調査結果サマリー

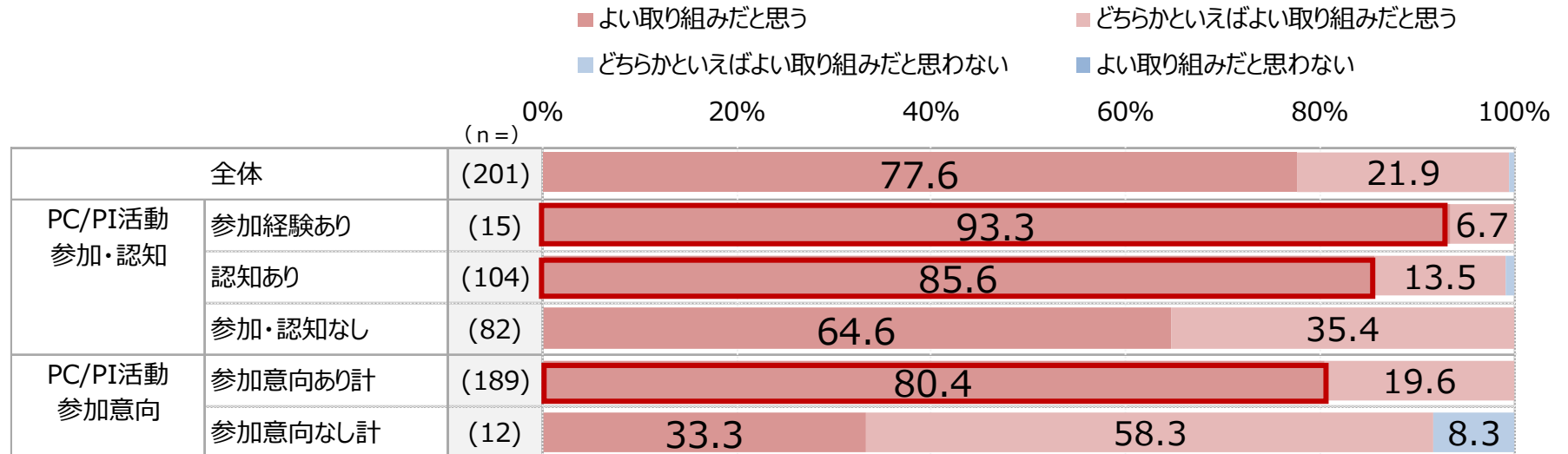


PC/PI活動は高評価①

■ PC/PI活動への評価は「**よい取り組みだと思ふ** (TOP2計) 」99%と高い評価。【Q8】



■ PC/PI活動参加・認知別に見ると**“参加経験あり”“認知あり”層で評価が高い**。PC/PI活動参加意向別に見ても**“意向あり”層で評価が高く、PC/PI活動を認知している/参加意向がある層では活動評価が高い傾向が見られる**。(n<30のため参考値)【Q8】

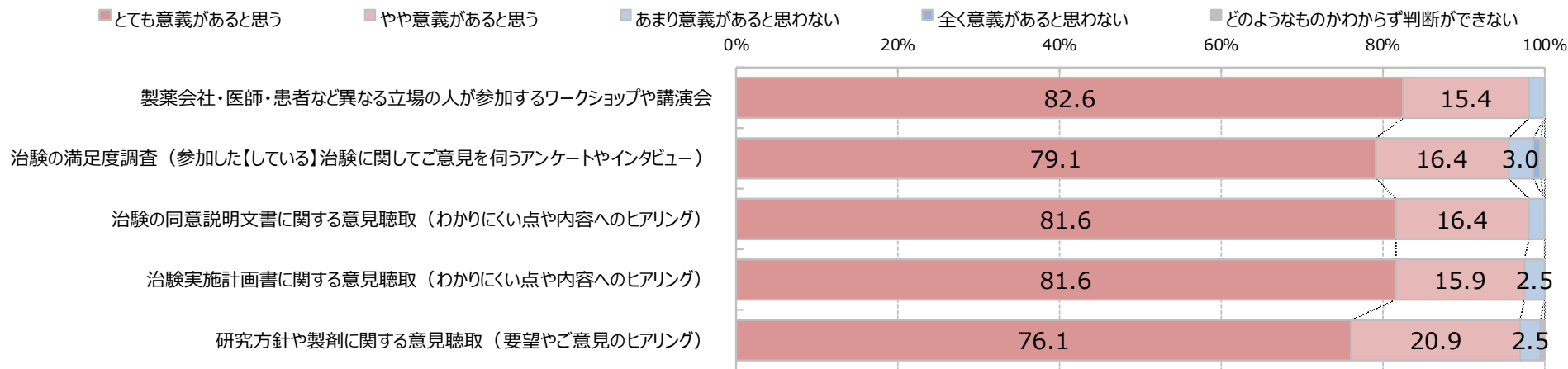


※2.0未満のスコアは非表示

Q8.あなたは、製薬会社が行っているこのような活動についてどのように感じますか。【SA】

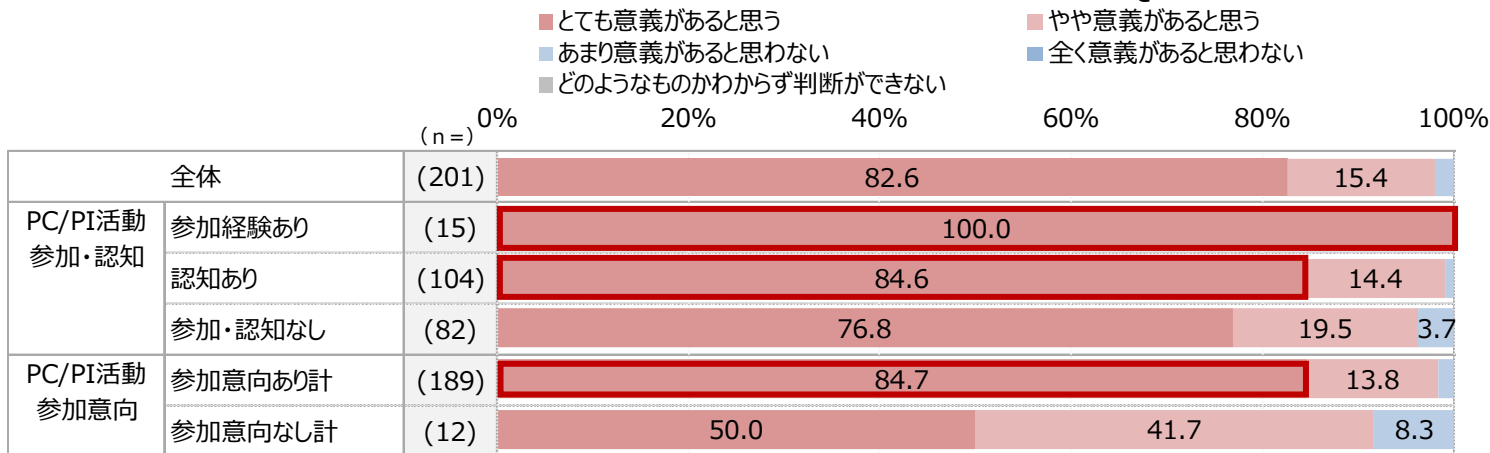
PC/PI活動は高評価②

■ PC/PIの具体的な活動について、いずれの活動も9割強が「意義がある（TOP2計）」と回答。【Q12】



Q12. 以下の製薬会社が行っている患者さんの声を活かす取り組み・活動について、もしあなたが参加する場合に、どのように感じますか。それぞれについて最もあてはまるものをお選びください。【SA】

■ PC/PI活動参加・認知別に見ると“参加経験あり”“認知あり”層で意義があるとの回答が多い。PC/PI活動参加意向別では“参加意向あり”層で多い。前頁の取り組み評価と同様に、参加経験あり・認知あり/参加意向あり層の評価が高い傾向がみられる。（n<30のため参考値）【Q12】



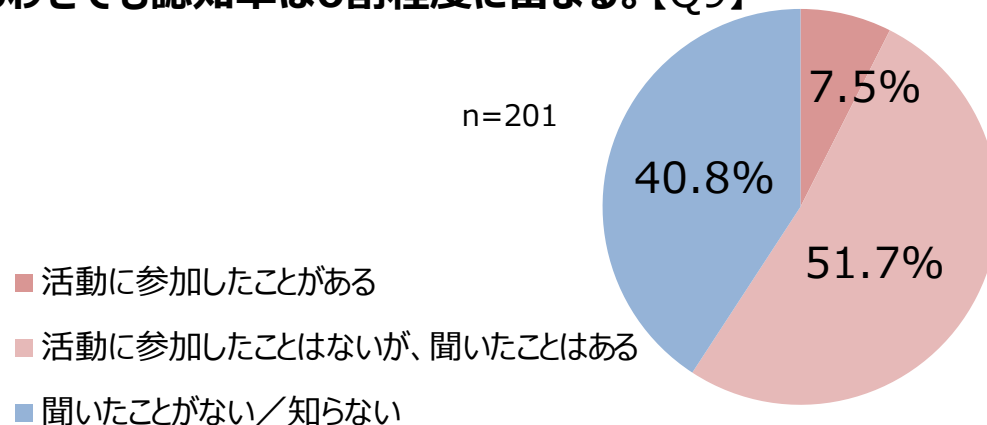
※2.0未満のスコアは非表示

Q12S1. 以下の製薬会社が行っている患者さんの声を活かす取り組み・活動について、もしあなたが参加する場合に、どのように感じますか。それぞれについて最もあてはまるものをお選びください。製薬会社・医師・患者など異なる立場の人が参加するワークショップや講演会【SA】

※2.0未満のスコアは非表示

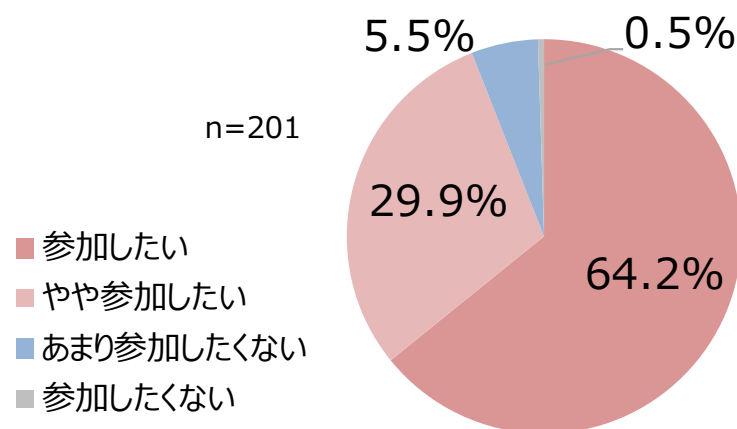
PC/PI活動参加経験者は少ないが、今後の参加意向は高い

- PC/PI活動の「参加経験あり」は1割未満、「活動に参加したことはないが、聞いたことはある」(52%)、「参加経験あり」とあわせても認知率は6割程度に留まる。【Q9】



Q9.あなたは、製薬会社が医薬品開発などの様々な企業活動の中で、患者さんの経験や声を取り入れていこうとする活動を行っていることをご存じですか。【SA】

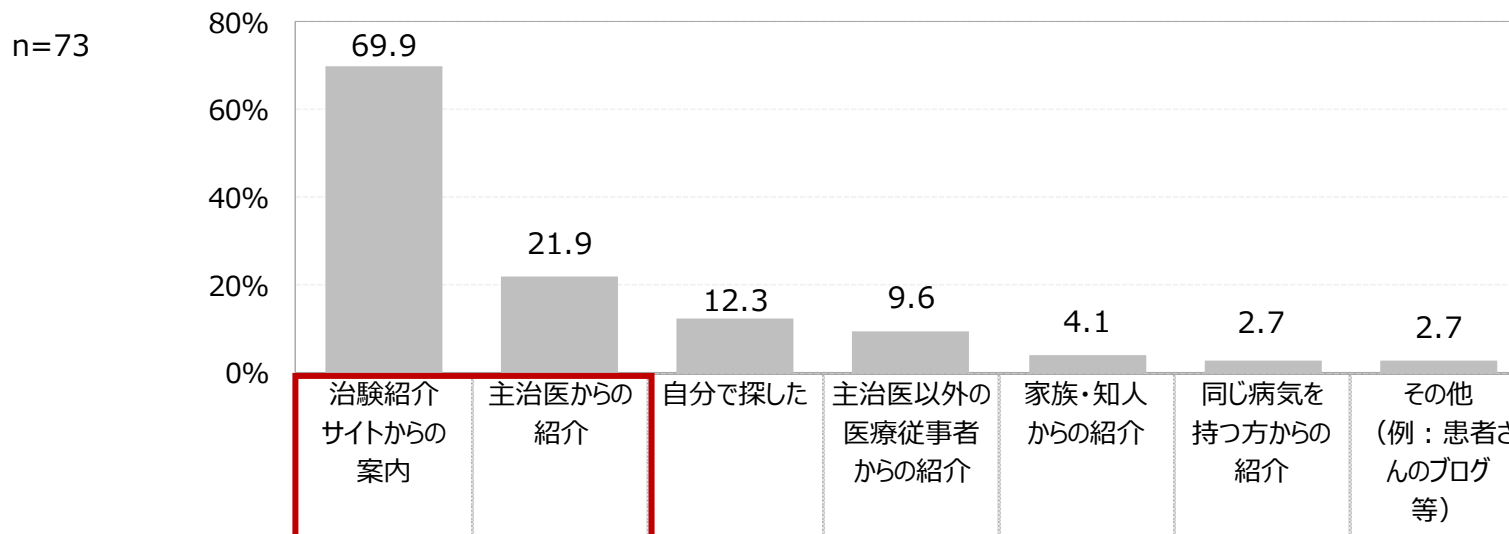
- 製薬企業に意見を伝える機会があれば9割強が「参加したい (TOP2計)」と回答。【Q13】



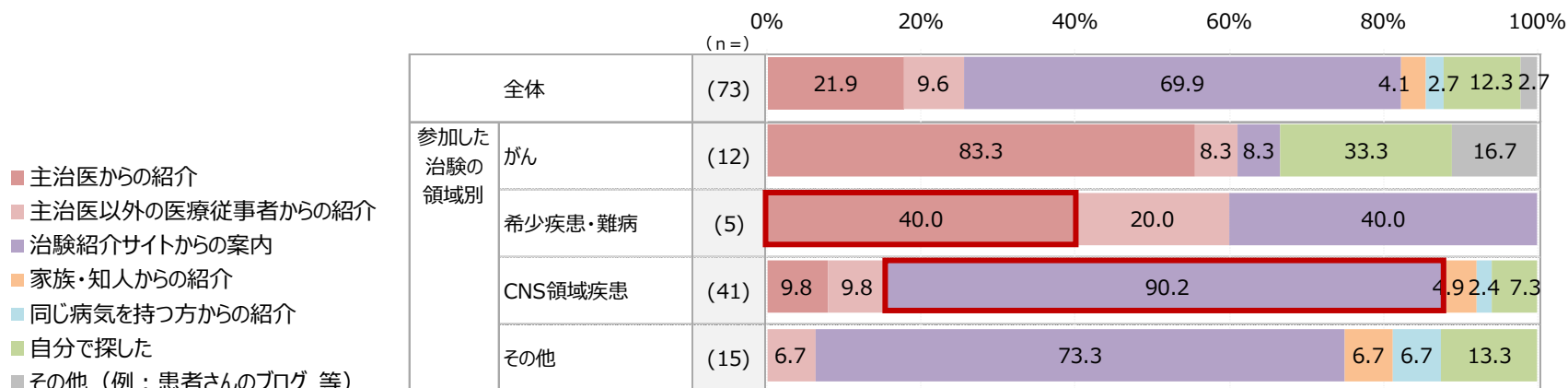
Q13.製薬会社が新しい薬の開発を計画する際に、あなたの意見を聴取する機会があったら参加したいと思いますか。【SA】

治験に関する情報入手経路は「治験紹介サイト」「主治医」が多い

■ 参加した治験を知った情報源は「治験紹介サイト」が最も多く70%、次いで「主治医」が22%。【Q14】



■ 治験の領域別に見ると“がん”では「主治医」が8割と最も多く、“CNS領域”では「治験紹介サイト」が9割と最も高い。(n<30のため参考値、CNS領域に関しては3Hにてリクルートを行った影響がある可能性) 【Q14】

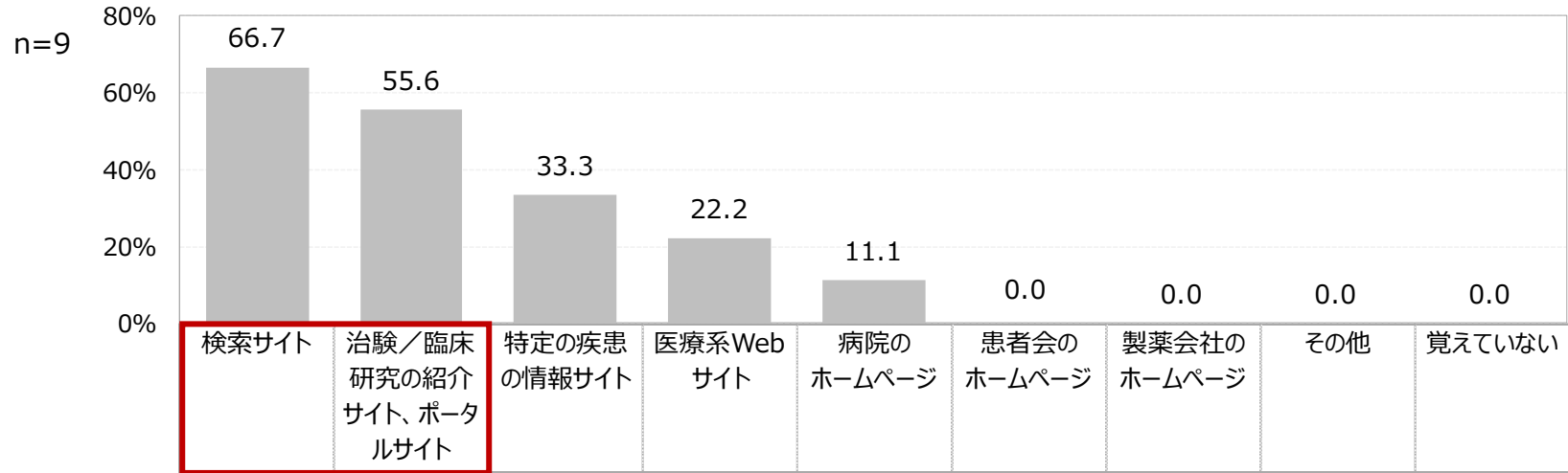


※2.0未満のスコアは非表示

Q14.参加した、または参加している治験のことは、どこで知りましたか。あてはまるものを全てお選びください。【MA】

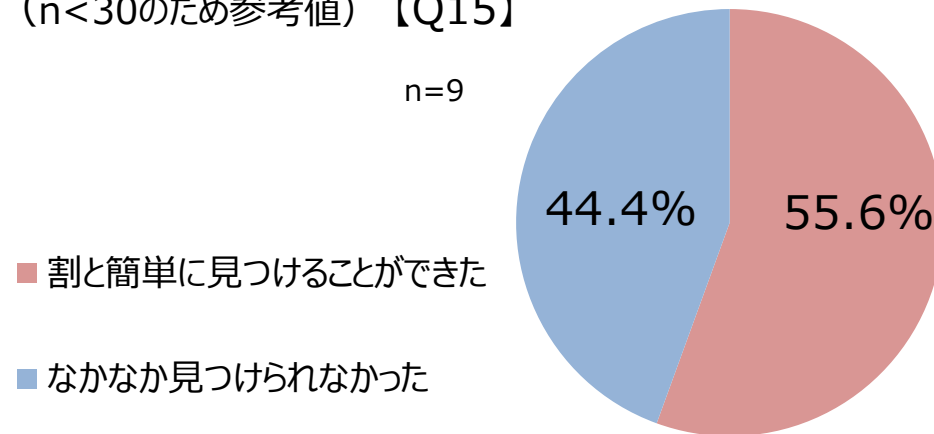
治験の情報入手が簡単か否かは意見が二分

- 治験を自身で探した方の情報源は「**検索サイト**」(67%)が**トップ**、次いで「**紹介サイト、ポータルサイト**」(56%)。「**製薬会社のホームページ**」の利用者はいなかった。(n<30のため参考値)【Q16】



Q16.前問で「自分で治験を探した」とお答えの方にお伺いします。治験に関する情報は、どこで取得しましたか。利用したものを全てお選びください。【MA】

- 治験の情報入手に関しては「**簡単に見つけることができた**」が56%、「**なかなか入手できなかった**」が44%で**結果は二分**。(n<30のため参考値)【Q15】



Q15.前問で「自分で治験を探した」とお答えの方にお伺いします。治験を探した際、すぐに見つけることができましたか。【SA】

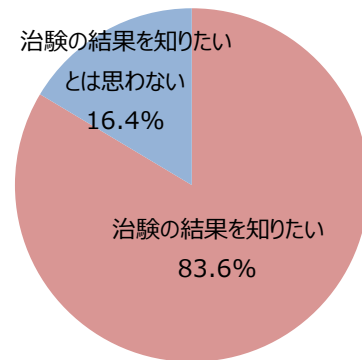
治験結果を「知りたい」という声が多数

- 自分が参加した治験の結果については**8割強が「知りたい」と回答**。結果を知る機会があったかについては**「知る機会があった」は3割に留まり**、希望と実態でGAPが確認された。【Q17、18】

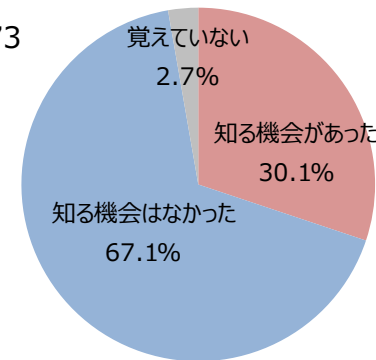
Q17.自分が参加した治験の結果（治験のデータ／治験薬の開発が進んだか／販売されたか）について、治験終了後にお知らせを受けたいと思いますか。治験に参加したことがない方は、今後参加したと仮定してお答えください。【SA】

Q18.あなたが参加した治験では、治験終了後にその治験の結果を知る機会がありましたか。【SA】

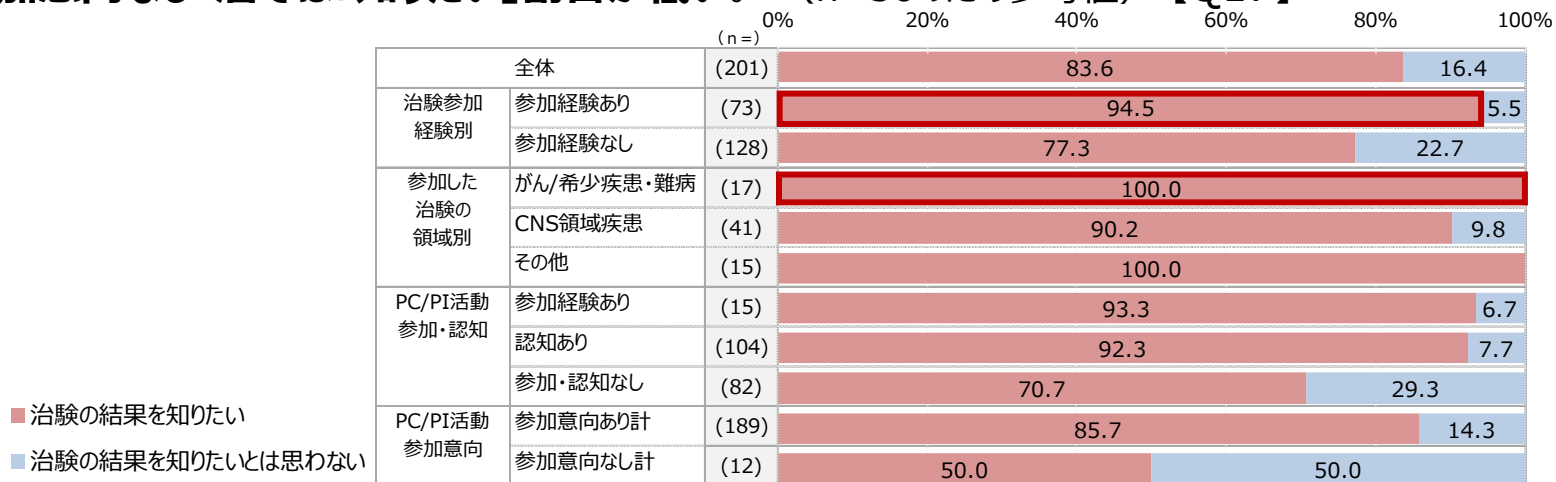
n=201



n=73



- 治験参加経験別では**“参加経験あり”層は「知りたい」が95%と全体より多く**、治験領域別では**“がん/希少疾患・難病”の全員が「知りたい」と回答**。PC/PI活動参加・認知別、参加意向別では**“参加・認知なし”“参加意向なし”層では「知りたい」割合が低い**。（n<30のため参考値）【Q17】

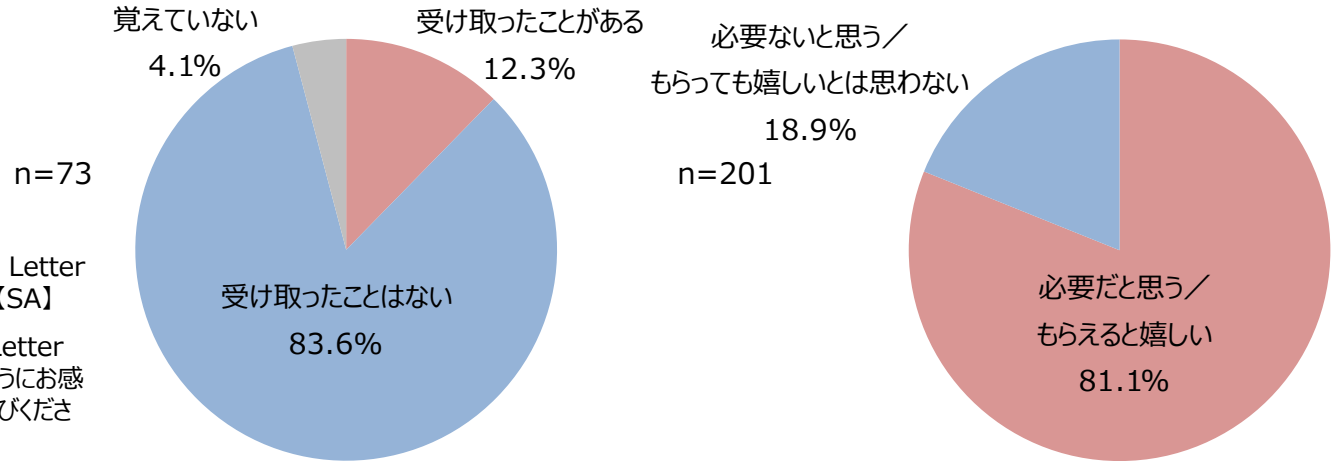


※2.0未満のスコアは非表示

Q17.自分が参加した治験の結果（治験のデータ／治験薬の開発が進んだか／販売されたか）について、治験終了後にお知らせを受けたいと思いますか。治験に参加したことがない方は、今後参加したと仮定してお答えください。【SA】

TYLが必要だと思うの声は8割だが受け取ったことがある方は1割

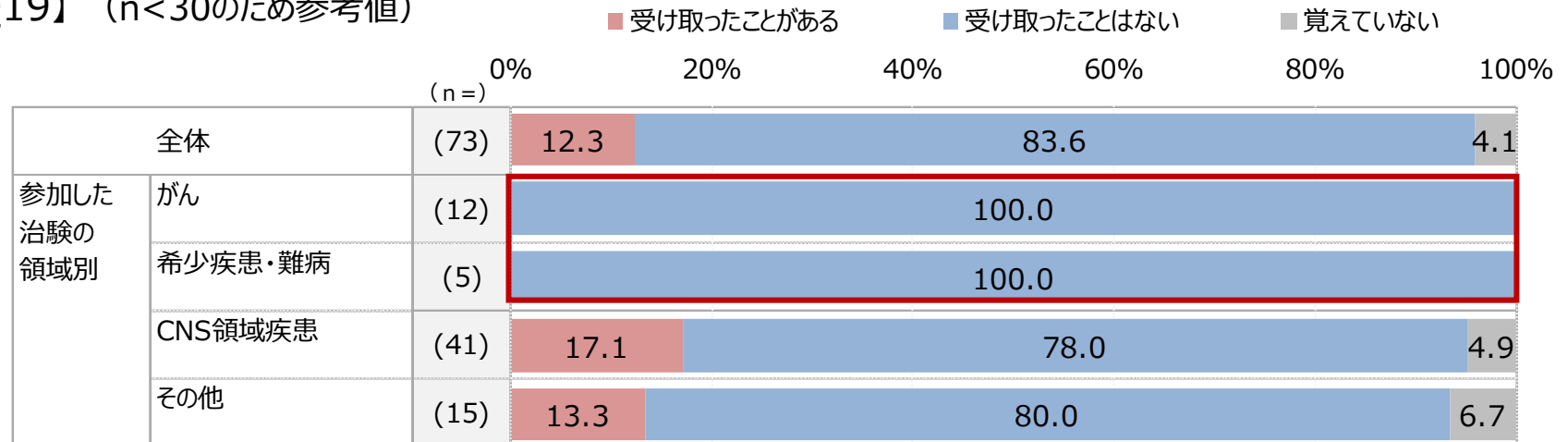
- TYL (Thank You Letter) を「必要だと思う／もらえると嬉しい」との回答が8割。受け取った経験については「受け取ったことがある」は1割強。ここでも希望と実態のGAPが明らかになった。【Q19、20】



Q19. 治験に参加して、製薬会社からThank You Letter (サンキューレター) を受け取ったことはありますか。【SA】

Q20. 製薬会社から治験参加者にThank You Letter (サンキューレター) が送られることについて、どのようにお感じになりますか。あなたのお気持ちに近いほうをお選びください。【SA】

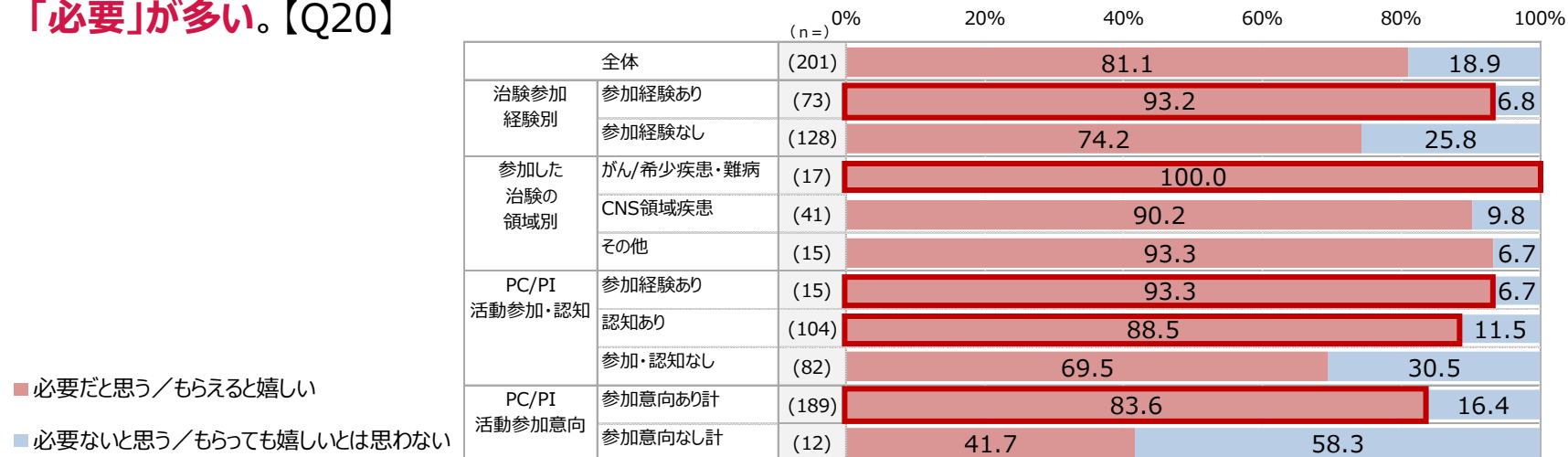
- TYLを受け取った経験を治験領域別に見ると、「**がん/希少疾患・難病**」では受け取った方はいなかった。【Q19】 (n<30のため参考値)



※2.0未満のスコアは非表示

TYLの印象は「薬剤の開発に貢献できていると感じられる」

- TYLが必要かどうかについて、治験参加経験別では**“参加経験あり”で「必要」との回答が9割超**。治験領域別では**“がん/希少疾患・難病”では全員が「必要だ」と回答**（n<30のため参考値）。またQ8/Q12のPC/PI活動評価の結果と同様、**PC/PI活動の“参加経験あり、認知あり”および“参加意向あり”層で「必要」が多い**。【Q20】



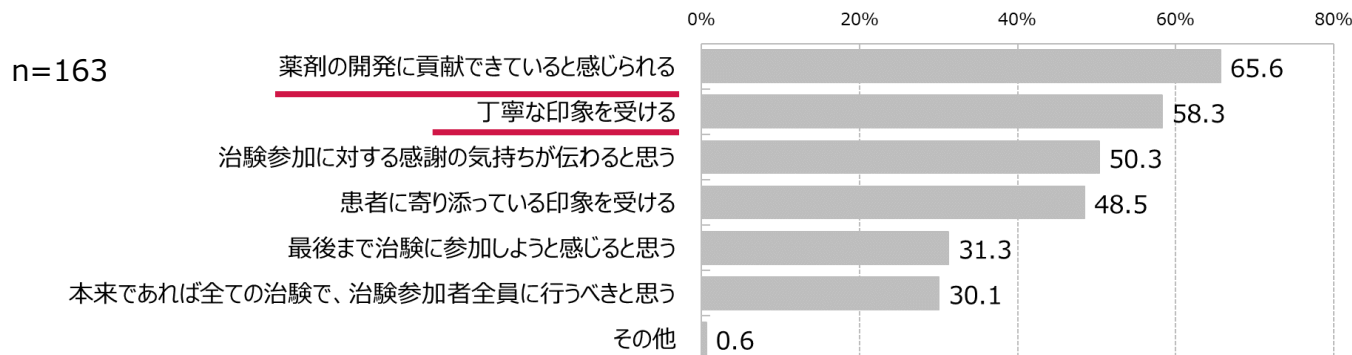
■ 必要だと思う／もらえる嬉しい

■ 必要ないと思う／もらっても嬉しいとは思わない

※2.0未満のスコアは非表示

Q20.製薬会社から治験参加者にThank You Letter（サンキューレター）が送られることについて、どのようにお感じになりますか。あなたのお気持ちに近いほうをお選びください。【SA】

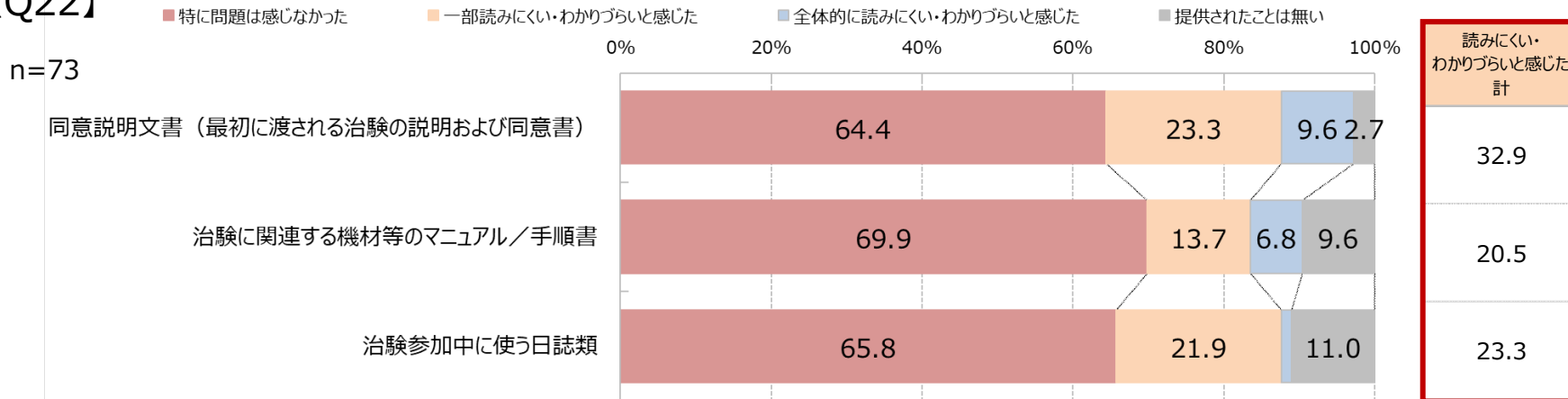
- TYLの印象については**「薬剤の開発に貢献できていると感じられる」が最も多く66%、次いで「丁寧な印象を受ける」が58%**。【Q21】



Q21.Thank You Letter（サンキューレター）が必要とお答えの方にお伺いします。Thank You Letter（サンキューレター）についてあなたのお考えにあてはまるものを全てお選びください。【MA】

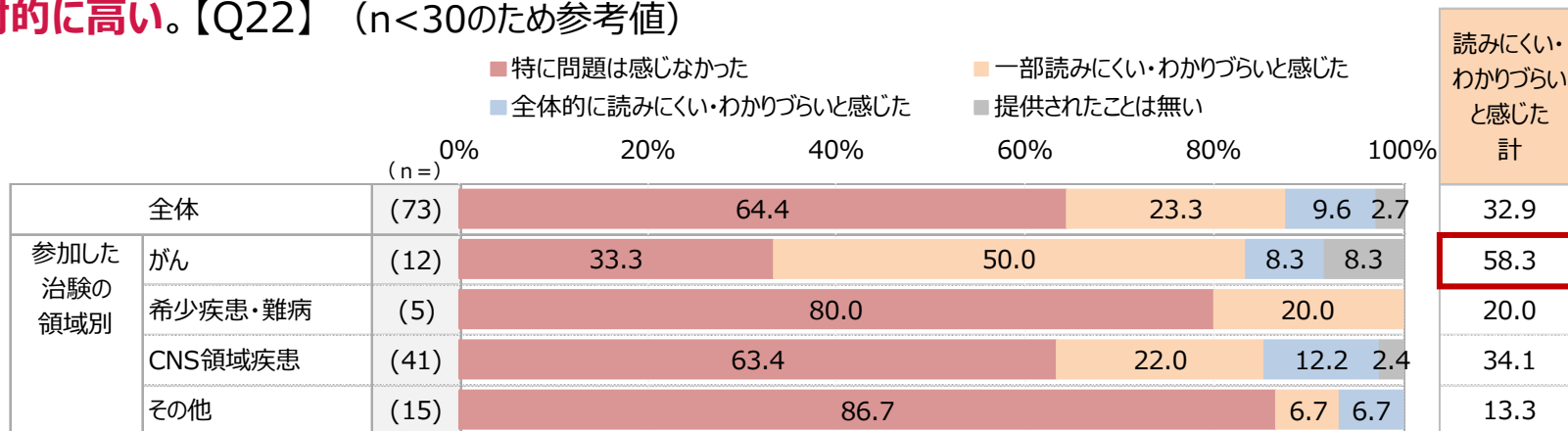
治験関連書類が「わかりにくい」との回答は2～3割

- 治験関連書類の読みやすさ・わかりやすさに関しては「問題ない」との回答がいずれも6～7割。一方で「読みづらい・わかりにくい」との回答も2～3割で、治験に対する同意の意義を考えると今後の検討が必要。【Q22】



Q22.「治験に参加したことがある」とお答えになった方にお伺いします。「同意説明文書」や治験に関連する機材等のマニュアル・手順書の読みやすさや・わかりやすさはいかがでしたか。それぞれについてあてはまるものをお選びください。【SA】

- 治験領域別で見ると“がん”では、ICFを「読みにくい・分かりづらい」と回答した割合が他の領域と比較して相対的に高い。【Q22】（n<30のため参考値）

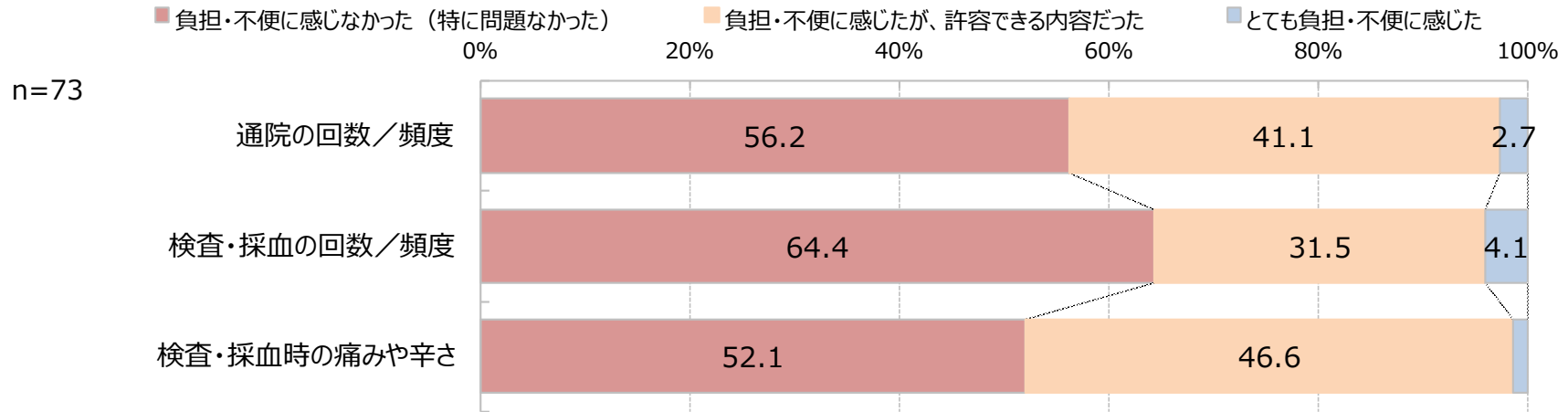


※2.0未満のスコアは非表示

Q22S1.「治験に参加したことがある」とお答えになった方にお伺いします。「同意説明文書」や治験に関連する機材等のマニュアル・手順書の読みやすさや・わかりやすさはいかがでしたか。それぞれについてあてはまるものをお選びください。同意説明文書（最初に渡される治験の説明および同意書）【SA】

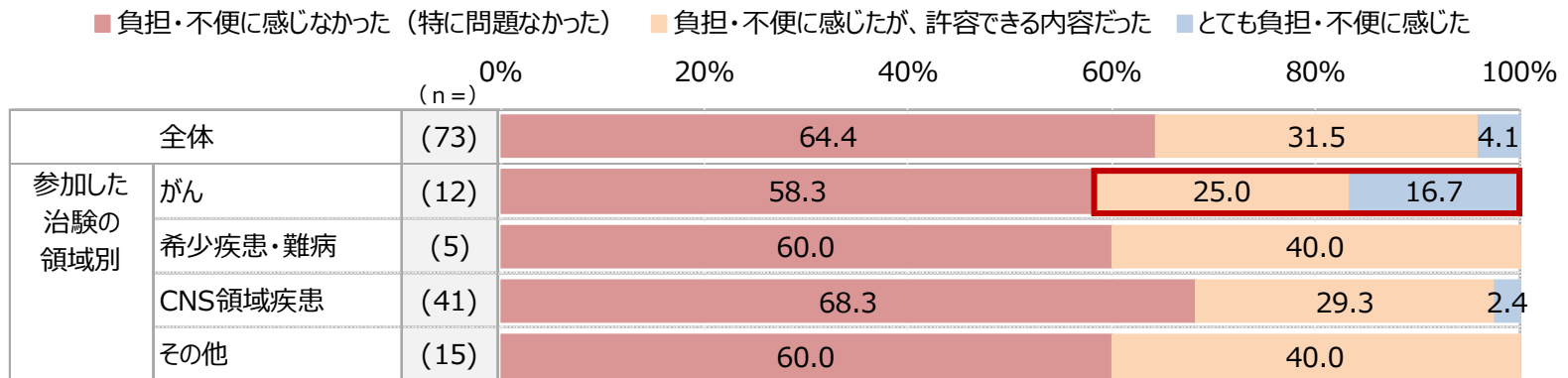
治験内容をととても負担に感じたとの声は少数

- 通院の回数／頻度、検査・採血の回数／頻度、検査・採血時の痛みや辛さについては、**5～6割の方が「特に負担・不便を感じなかった」と回答。「とても負担・不便に感じた」との回答は1割未満。【Q25】**



Q25. 治験の内容についてお伺いします。あなたは以下の項目についてどのようにお感じになりましたか。それぞれについてあてはまるものをお選びください。【SA】

- 治験領域別に見ると**“がん”**ではどの項目においても**「とても負担・不便に感じた」**方の割合が高い。【Q25】
(n<30のため参考)

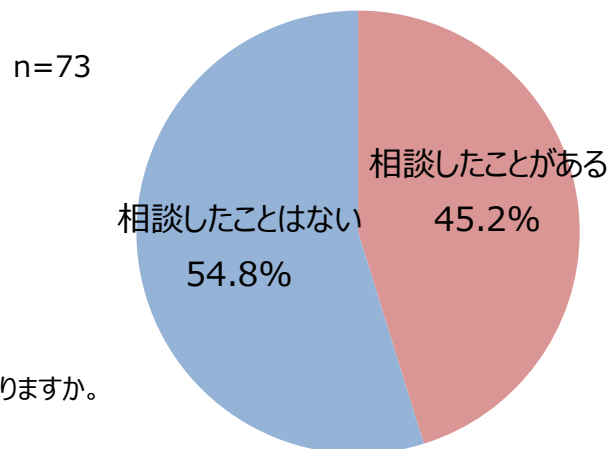


※2.0未満のスコアは非表示

Q25S2. 治験の内容についてお伺いします。あなたは以下の項目についてどのようにお感じになりましたか。それぞれについてあてはまるものをお選びください。
検査・採血の回数／頻度【SA】

治験内容を相談している方は半数以下に留まる

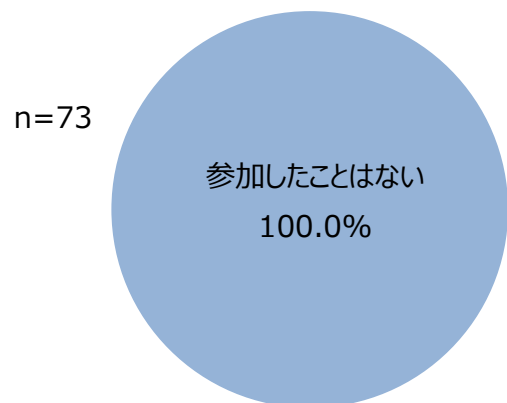
- 治験の内容の医療従事者やCRCへの相談有無に関しては「ある」45%、「ない」55%と、二分する結果となった。【Q26】



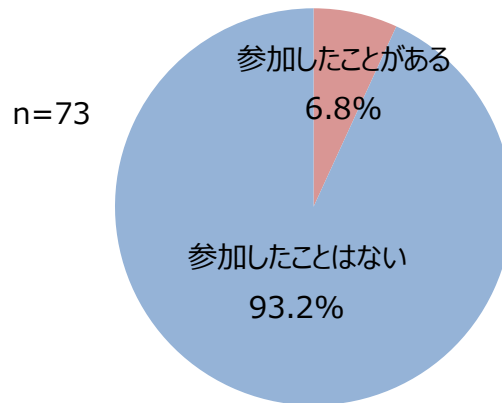
Q26. 治験の内容について医療関係者（医師や看護師、治験コーディネーターなど）に相談したことはありますか。【SA】

- 訪問診療・訪問看護、ePRO、eConsentを活用した治験の参加経験については「訪問診療・訪問看護」0%、「ePRO」7%、「eConsent」6%であり、まだまだ参加経験者は少ない。治験領域別では“がん”は全ての項目において参加経験者がいなかった。（n<30のため参考）【Q28】

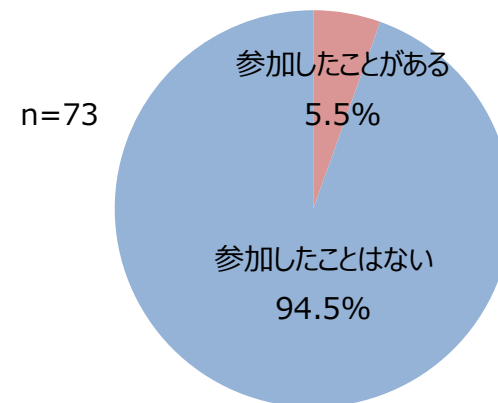
訪問診療・訪問看護を活用した治験



ePROを活用した治験



eConsentを活用した治験



Q28. あなたはこれまでに、訪問診療・訪問看護、ePRO、eConsentを活用した治験に参加したことがありますか。【SA】

🔍 PC/PI活動は評価をいただいております、各取り組みを今後も継続的に実施すべき活動毎に評価の差はなく、どの活動に重点を置くかは、再度調査や検討が必要

- ✓ 患者さんは、患者中心の医薬品開発にポジティブな回答であった。
- ✓ 講演会や治験満足度調査等の各取り組みに関しては一様に評価が高く、差は見られない。

🔍 まずはPC/PI活動の普及が求められる

- ✓ “活動参加経験あり（1割）”と“認知あり（5割）”を合わせ、認知している方は6割程度。まだまだ参加経験者は少ない。
- ✓ “参加意向あり”は9割に及ぶため、まずは認知を広め、活動に参加いただくための取り組みが必要。

🔍 治験情報を見つけやすくするため取り組みを実施

- ✓ 情報源は「治験紹介サイトからの案内」が最も多く、次いで「主治医」。「自分で探した」方は1割強に留まる。
- ✓ 「治験情報をなかなか見つけることができなかった」と回答した方は4割強であり、情報にアプローチしにくいという方が、一定数いることが窺える。
- ✓ 自分で探した方の中で「製薬会社HP」を見たとは回答した方はいなかった。
- ✓ 患者さんが治験情報にアプローチしやすい環境の整備が必要であり、そのための手段としての「製薬企業HP」の役割についても再考が求められる。

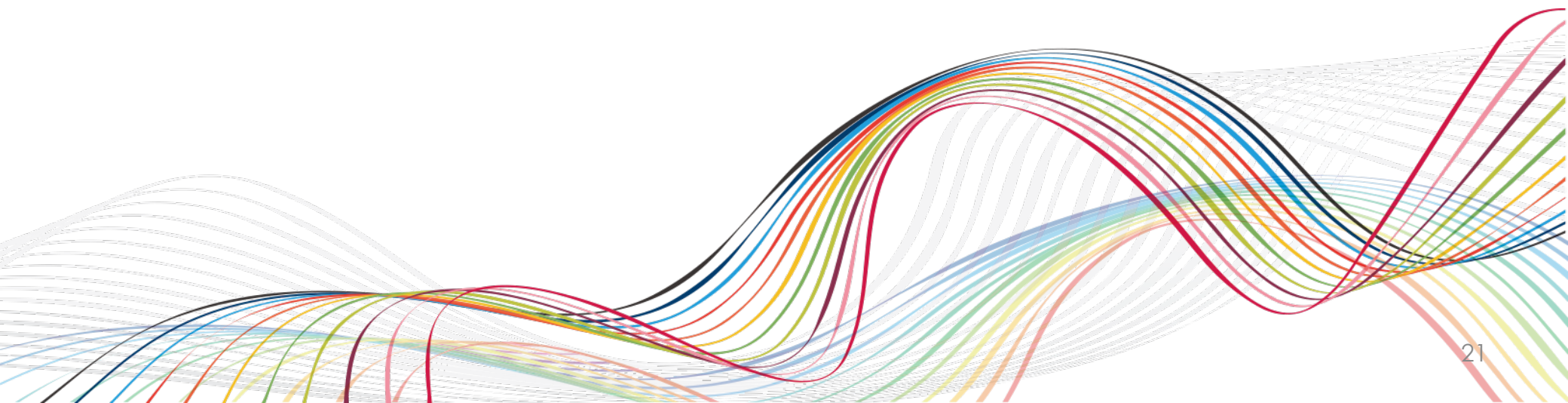
🔍 治験内容は具体的な改善策の検討が必要：

- ✓ 治験結果の提供
 - 自分が参加した治験の結果は8割超が知りたいと回答したが、実際に知る機会があったのは3割。ただし「結果を知りたくない」と答えた16%の方に対する配慮も必要（情報提供を望む方のみへの情報配信の必要性）。
- ✓ TYLの作成
 - TYLとして感謝を伝えることは8割超で評価されるものの、実際は1割程度しか受け取ったことが無い。またTYLの意義として、医薬品開発への貢献を感じた方が7割弱と最も多い。治験参加に対する感謝だけでなく、治験結果の伝達と合わせた情報提供が適切と考えられる。
- ✓ ICFの検討
 - ポジティブな意見を持つ方々の回答であっても、同意説明文書は3割超が「読みづらい、分かりづらい」と回答。治験における同意の意義を考えると改善の余地を残している。
- ✓ 治験コーディネーターの役割
 - FA内にCRCに関する記載が複数見られた。CRCの印象によっても治験の印象が変わってくると言える。

以下FAより一部抜粋

- 「治験コーディネーターさんが寄り添ってくださったので相談がしやすかった(50代/女性)」「治験コーディネーターの方と副作用などいろいろ話を聞いてもらったので心強かった(50代/女性)」
- △ 「治験の途中で分からないと感じた事があったが、質問できる雰囲気ではなかった。医師、コーディネーター共に非常に忙しそうであった(50代/男性)」

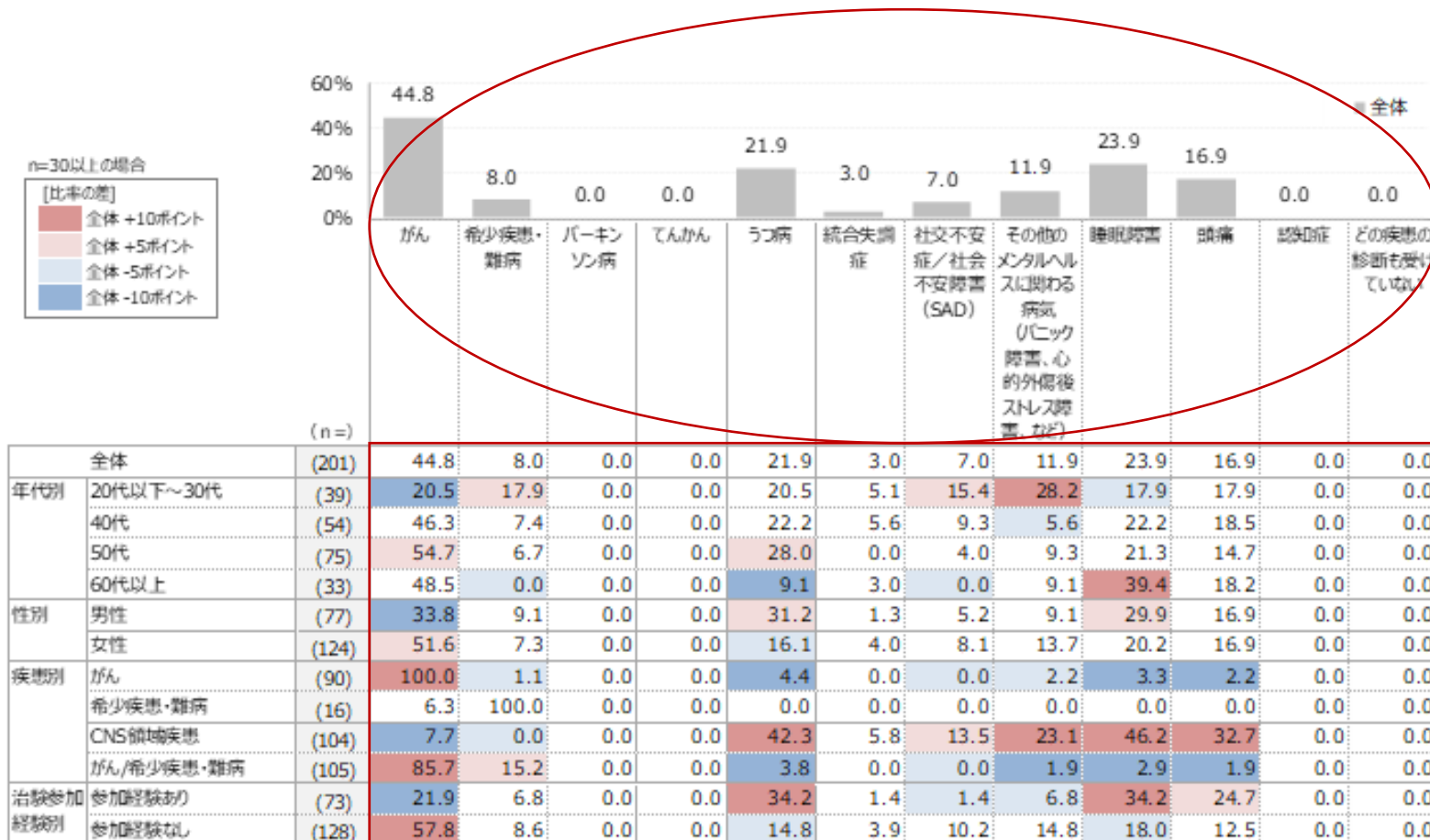
調査結果詳細



グラフ/FA集

グラフの見方・色付けについて

◆グラフの主な見方について



➤ 棒グラフ = 全体

➤ 以下を数表で掲載

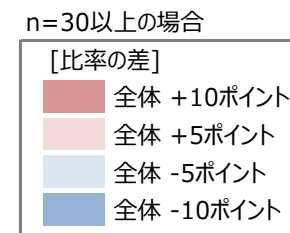
- ・年代別
- ・性別
- ・疾患別
- ・治験参加経験別

➤ 色付けについて

数表は全体と比較して

- +10pt以上は濃いピンク
- +5pt以上は薄いピンク
- 5pt以下は薄い水色
- 10pt以下は濃い水色でハッチング。

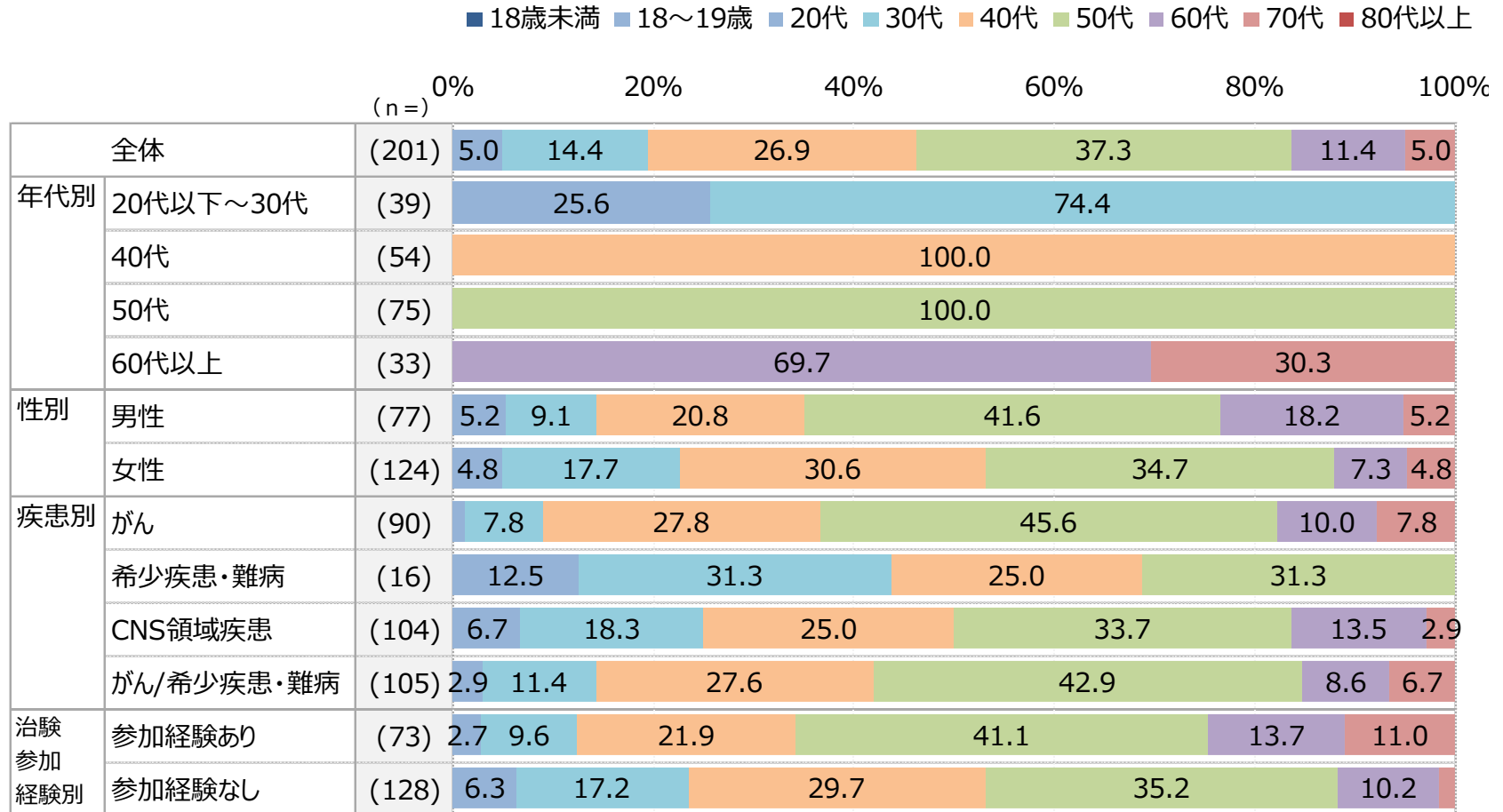
ただし、「n=30未満」はサンプル数僅少の為、色付け対象外。



Q3.あなたが、診断を受け治療をしている（していた）疾患を全てお選びください。すでに完治／根治している疾患もお選びください。【MA】

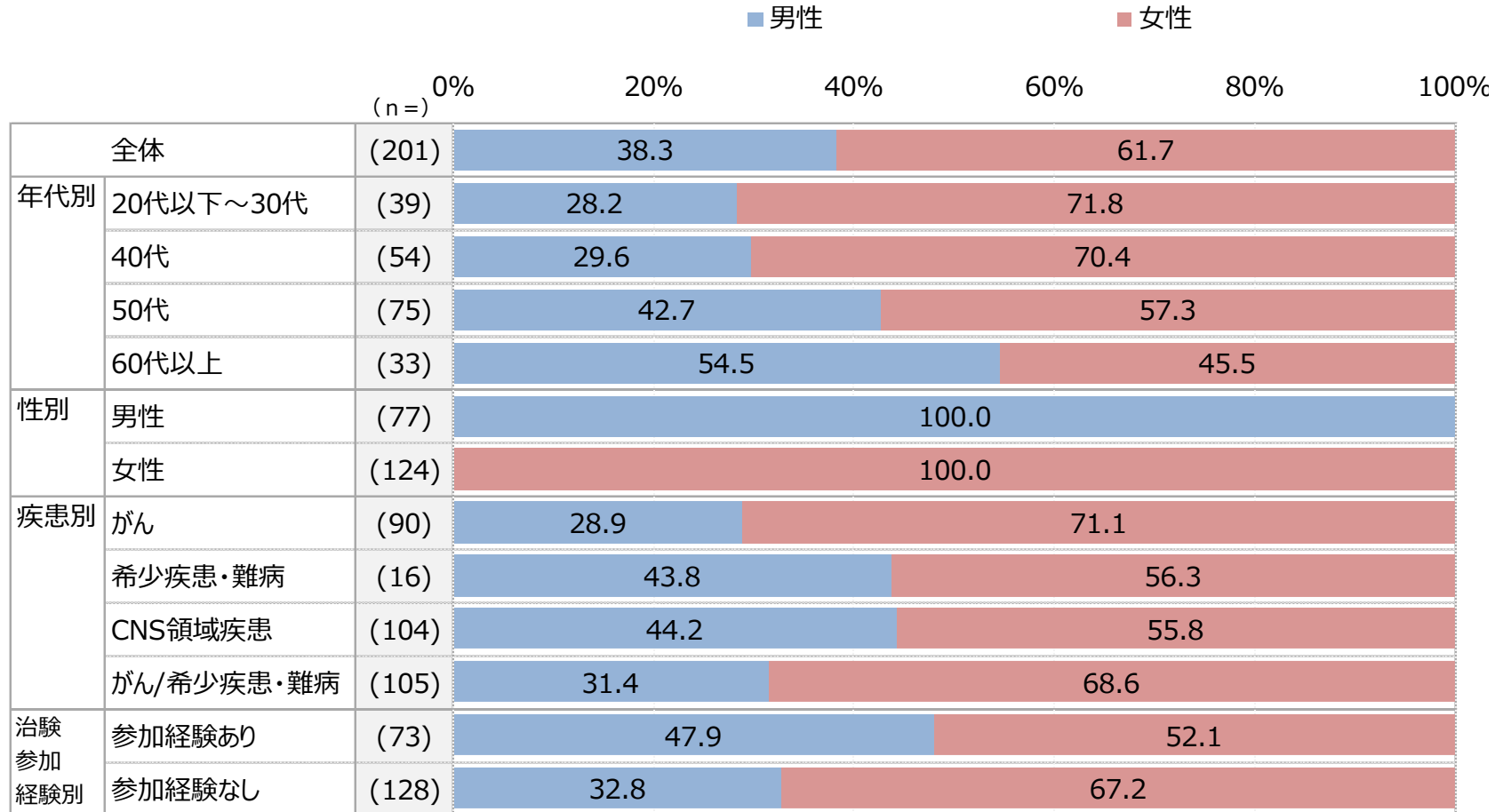
設問文

年代



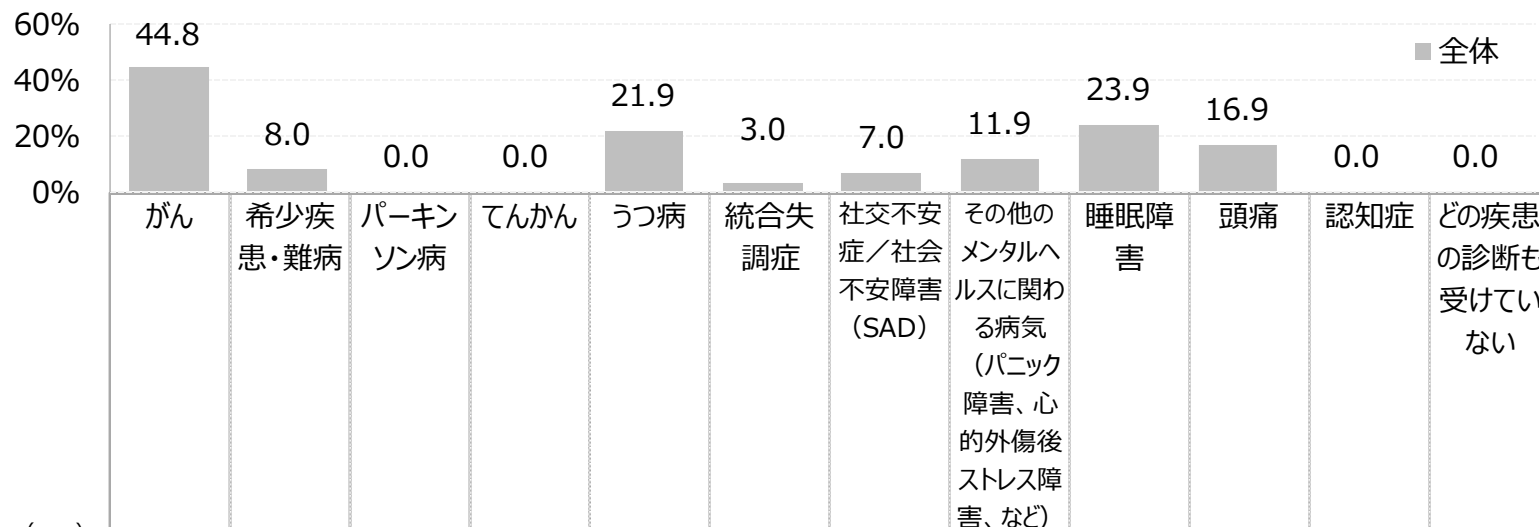
※2.0未満のスコアは非表示

性別

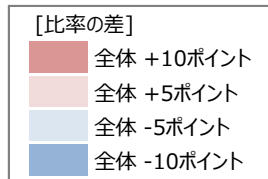


※2.0未満のスコアは非表示

疾患



n=30以上の場合

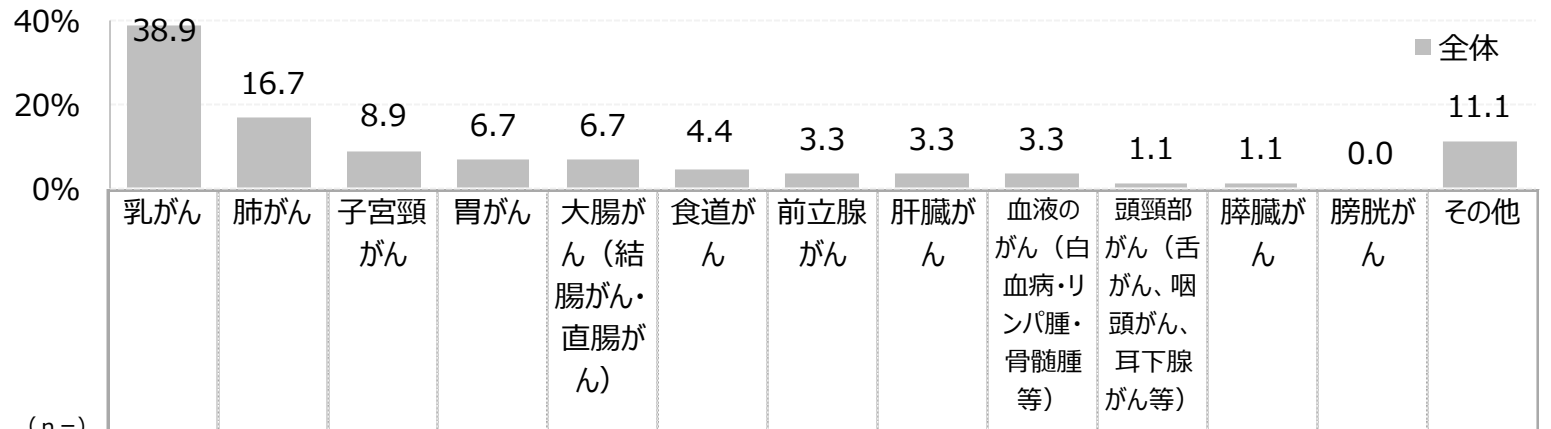


(n=)

	全体	(n=)	がん	希少疾患・難病	パーキンソン病	てんかん	うつ病	統合失調症	社交不安症/社会不安障害 (SAD)	その他のメンタルヘルスに関する病気 (パニック障害、心的外傷後ストレス障害、など)	睡眠障害	頭痛	認知症	どの疾患の診断も受けていない
年代別	全体	(201)	44.8	8.0	0.0	0.0	21.9	3.0	7.0	11.9	23.9	16.9	0.0	0.0
	20代以下~30代	(39)	20.5	17.9	0.0	0.0	20.5	5.1	15.4	28.2	17.9	17.9	0.0	0.0
	40代	(54)	46.3	7.4	0.0	0.0	22.2	5.6	9.3	5.6	22.2	18.5	0.0	0.0
	50代	(75)	54.7	6.7	0.0	0.0	28.0	0.0	4.0	9.3	21.3	14.7	0.0	0.0
	60代以上	(33)	48.5	0.0	0.0	0.0	9.1	3.0	0.0	9.1	39.4	18.2	0.0	0.0
性別	男性	(77)	33.8	9.1	0.0	0.0	31.2	1.3	5.2	9.1	29.9	16.9	0.0	0.0
	女性	(124)	51.6	7.3	0.0	0.0	16.1	4.0	8.1	13.7	20.2	16.9	0.0	0.0
疾患別	がん	(90)	100.0	1.1	0.0	0.0	4.4	0.0	0.0	2.2	3.3	2.2	0.0	0.0
	希少疾患・難病	(16)	6.3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	CNS領域疾患	(104)	7.7	0.0	0.0	0.0	42.3	5.8	13.5	23.1	46.2	32.7	0.0	0.0
	がん/希少疾患・難病	(105)	85.7	15.2	0.0	0.0	3.8	0.0	0.0	1.9	2.9	1.9	0.0	0.0
治験参加経験別	参加経験あり	(73)	21.9	6.8	0.0	0.0	34.2	1.4	1.4	6.8	34.2	24.7	0.0	0.0
	参加経験なし	(128)	57.8	8.6	0.0	0.0	14.8	3.9	10.2	14.8	18.0	12.5	0.0	0.0

Q3.あなたが、診断を受け治療をしている（していた）疾患を全てお選びください。すでに完治/根治している疾患もお選びください。【MA】

がん種

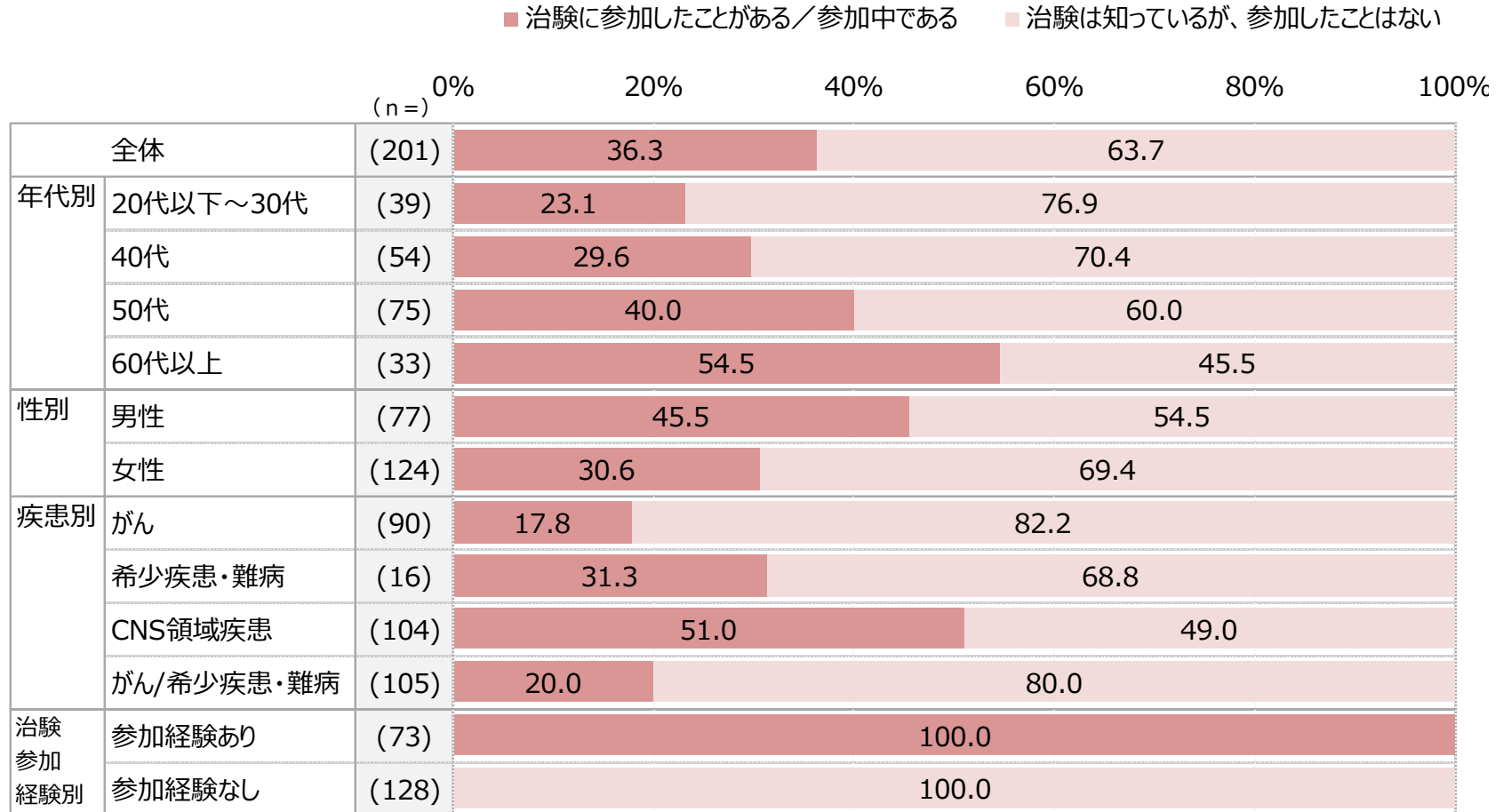


		(n=)	乳がん	肺がん	子宮頸がん	胃がん	大腸がん (結腸がん・直腸がん)	食道がん	前立腺がん	肝臓がん	血液のがん (白血病・リンパ腫・骨髄腫等)	頭頸部がん (舌がん、咽頭がん、耳下腺がん等)	膵臓がん	膀胱がん	その他
全体		(90)	38.9	16.7	8.9	6.7	6.7	4.4	3.3	3.3	3.3	1.1	1.1	0.0	11.1
年代別	20代以下~30代	(8)	50.0	0.0	0.0	25.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5
	40代	(25)	36.0	16.0	16.0	4.0	0.0	0.0	0.0	4.0	12.0	0.0	0.0	0.0	12.0
	50代	(41)	43.9	12.2	7.3	7.3	7.3	7.3	4.9	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	12.2
	60代以上	(16)	25.0	37.5	6.3	0.0	12.5	6.3	6.3	6.3	0.0	6.3	6.3	0.0	6.3
性別	男性	(26)	0.0	30.8	0.0	19.2	15.4	7.7	11.5	7.7	0.0	3.8	3.8	0.0	3.8
	女性	(64)	54.7	10.9	12.5	1.6	3.1	3.1	0.0	1.6	4.7	0.0	0.0	0.0	14.1
疾患別	がん	(90)	38.9	16.7	8.9	6.7	6.7	4.4	3.3	3.3	3.3	1.1	1.1	0.0	11.1
	希少疾患・難病	(1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	CNS領域疾患	(8)	25.0	12.5	12.5	0.0	25.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5
	がん/希少疾患・難病	(90)	38.9	16.7	8.9	6.7	6.7	4.4	3.3	3.3	3.3	1.1	1.1	0.0	11.1
治験参加経験別	参加経験あり	(16)	43.8	37.5	0.0	6.3	6.3	6.3	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3
	参加経験なし	(74)	37.8	12.2	10.8	6.8	6.8	4.1	2.7	4.1	4.1	1.4	1.4	0.0	12.2

※全体のスコアにて降順ソート

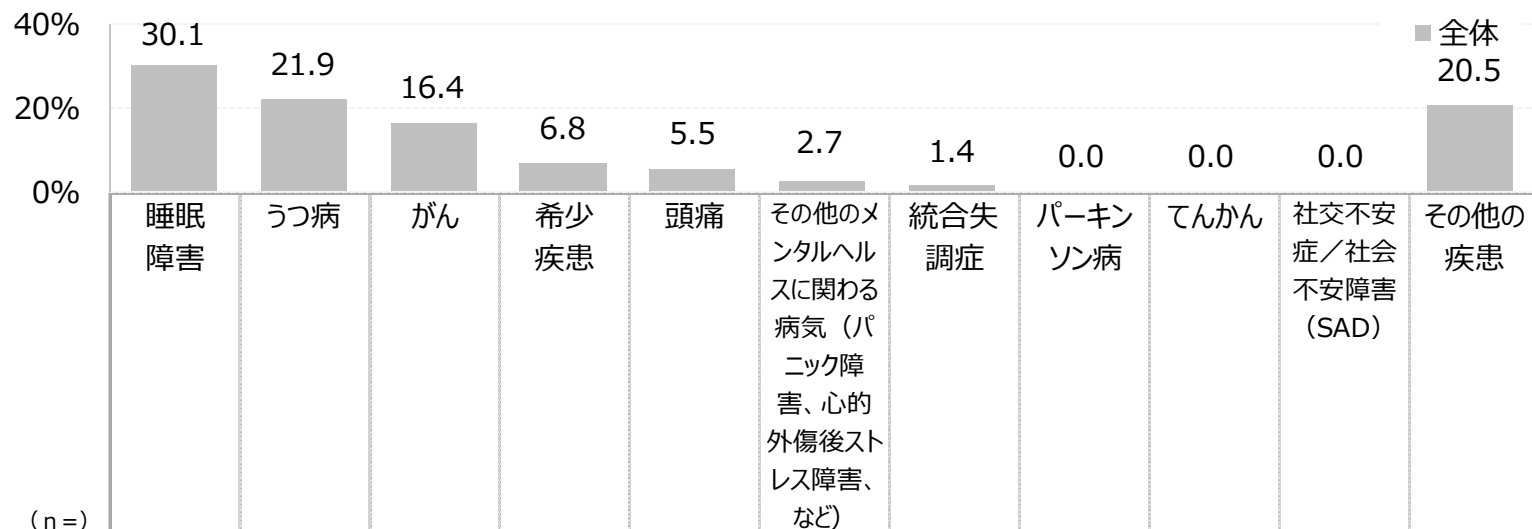
Q4.Q3で「がん」と回答した方にお伺いします。診断を受けているがんの種類をお選びください。転移がある場合には、一番初めに診断されたがんの種類をお選びください。【SA】

治験参加経験①



※2.0未満のスコアは非表示

治験参加経験②



n=30以上の場合

[比率の差]

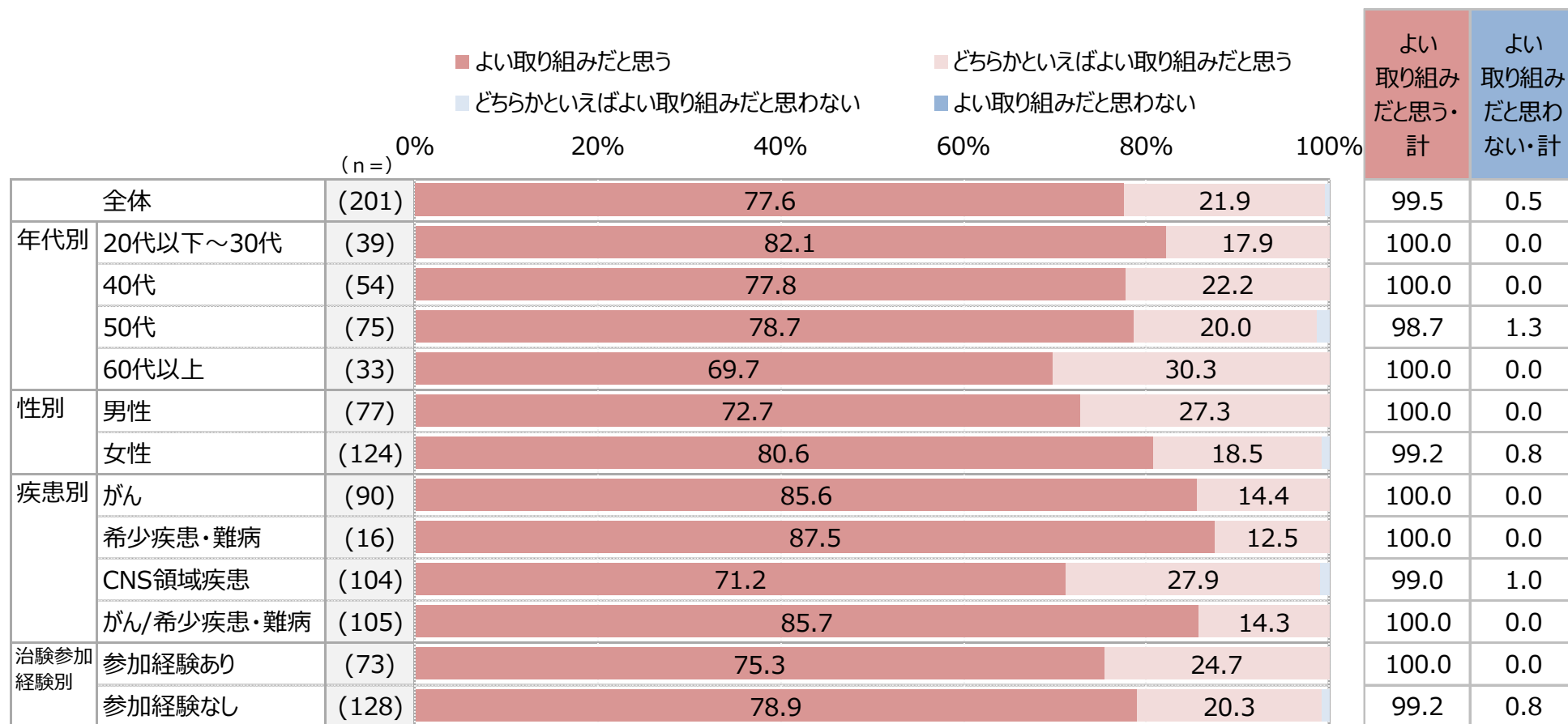
- 全体 +10ポイント
- 全体 +5ポイント
- 全体 -5ポイント
- 全体 -10ポイント

		(n=)	睡眠障害	うつ病	がん	希少疾患	頭痛	その他のメンタルヘルスに関する病気 (パニック障害、心的外傷後ストレス障害、など)	統合失調症	パーキンソン病	てんかん	社交不安症/社会不安障害 (SAD)	その他の疾患
全体	全体	(73)	30.1	21.9	16.4	6.8	5.5	2.7	1.4	0.0	0.0	0.0	20.5
年代別	20代以下~30代	(9)	44.4	11.1	11.1	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	22.2
	40代	(16)	31.3	25.0	18.8	6.3	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5
	50代	(30)	23.3	26.7	16.7	6.7	6.7	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0
	60代以上	(18)	33.3	16.7	16.7	0.0	5.6	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	27.8
性別	男性	(35)	31.4	31.4	11.4	5.7	5.7	5.7	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3
	女性	(38)	28.9	13.2	21.1	7.9	5.3	0.0	2.6	0.0	0.0	0.0	26.3
疾患別	がん	(16)	0.0	0.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0
	希少疾患・難病	(5)	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	CNS領域疾患	(53)	41.5	30.2	0.0	0.0	7.5	3.8	1.9	0.0	0.0	0.0	22.6
	がん/希少疾患・難病	(21)	0.0	0.0	57.1	23.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	19.0
治験参加経験別	参加経験あり	(73)	30.1	21.9	16.4	6.8	5.5	2.7	1.4	0.0	0.0	0.0	20.5
	参加経験なし	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※全体のスコアにて降順ソート

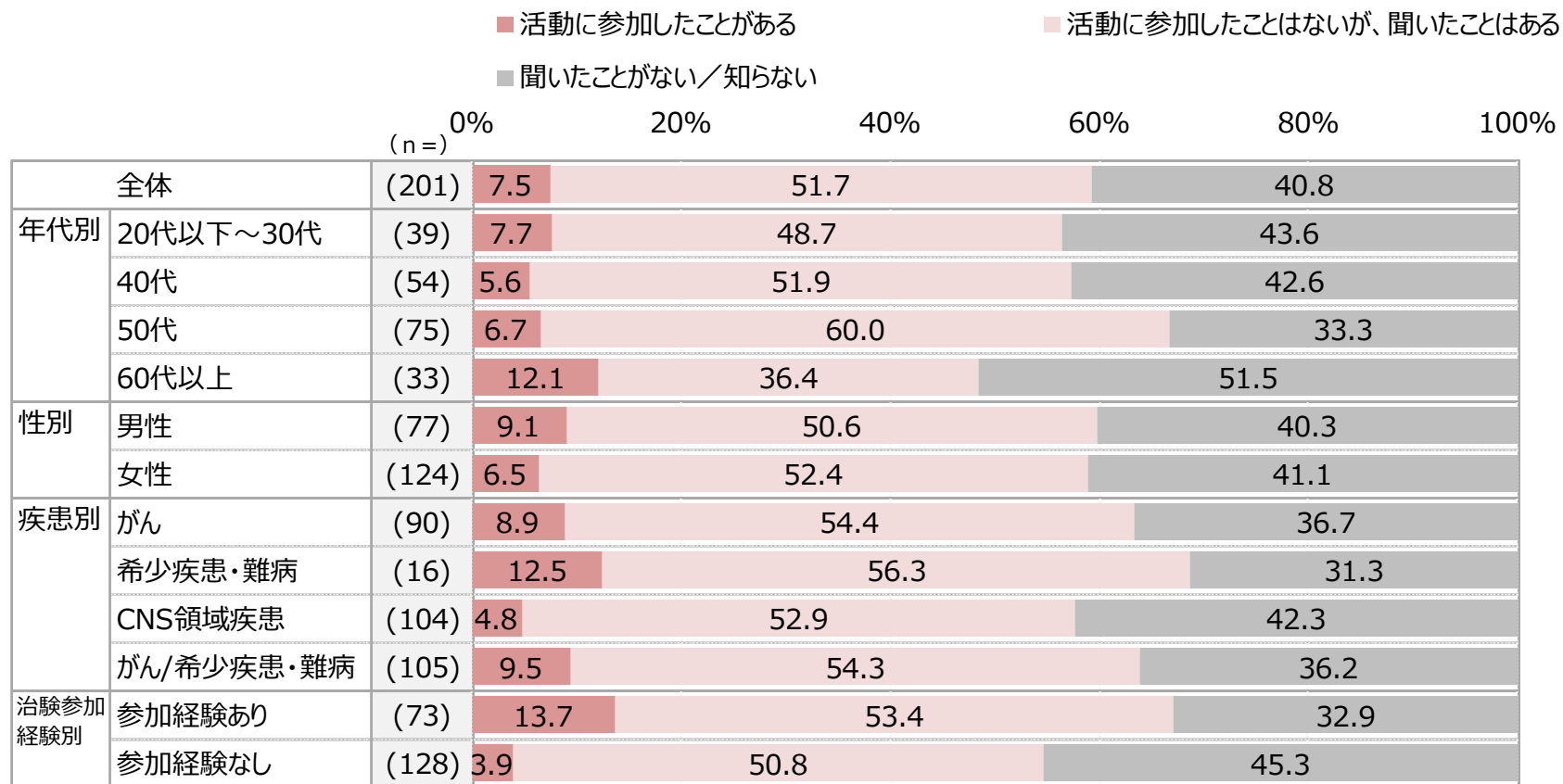
Q7.前問で「治験に参加したことがある/参加中である」とお答えの方にお伺いします。あなたが参加したことのある治験を全てお選びください。

【MA】



※2.0未満のスコアは非表示

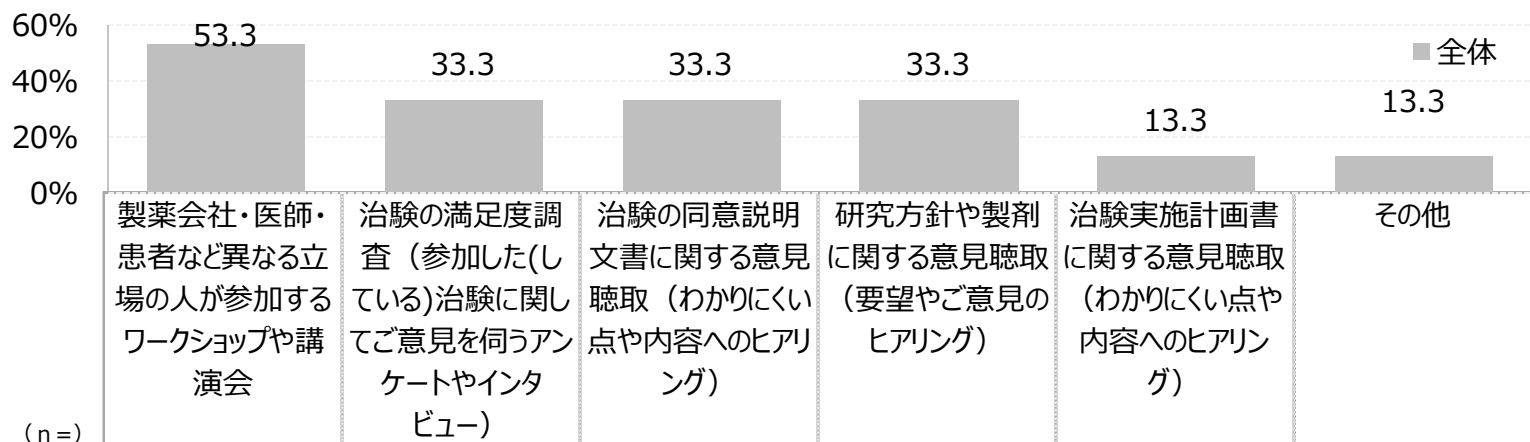
PC/PI活動参加経験・認知度



※2.0未満のスコアは非表示

Q9.あなたは、製薬会社が医薬品開発などの様々な企業活動の中で、患者さんの経験や声を取り入れていこうとする活動を行っていることをご存じですか。【SA】

PC/PI活動参加経験



		(n=)	53.3	33.3	33.3	33.3	13.3	13.3
年代別	全体	(15)	53.3	33.3	33.3	33.3	13.3	13.3
	20代以下～30代	(3)	33.3	66.7	33.3	33.3	0.0	33.3
	40代	(3)	66.7	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3
	50代	(5)	40.0	20.0	40.0	60.0	20.0	0.0
	60代以上	(4)	75.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0
性別	男性	(7)	71.4	42.9	42.9	71.4	28.6	0.0
	女性	(8)	37.5	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0
疾患別	がん	(8)	62.5	37.5	50.0	25.0	12.5	12.5
	希少疾患・難病	(2)	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0
	CNS領域疾患	(5)	60.0	40.0	20.0	40.0	20.0	0.0
	がん/希少疾患・難病	(10)	50.0	30.0	40.0	30.0	10.0	20.0
治験参加経験別	参加経験あり	(10)	50.0	40.0	40.0	50.0	20.0	10.0
	参加経験なし	(5)	60.0	20.0	20.0	0.0	0.0	20.0

※全体のスコアにて降順ソート

Q10.前問で、製薬会社が行っている“患者さんの経験や声を取り入れていこうとする活動”に「参加したことがある」とお答えの方にお伺いします。32
以下の中から実際に参加したことがある活動を全てお選びください。【MA】

PC/PI活動に参加して、よかったこと

◆ 自分の意見を活かしてもらえる

- 患者の意見を取り入れることによって患者本人の薬の効果を開発に活かすことができる(50代・男性)
- 患者本人の意見を聞いてくれることが嬉しかった(30代・女性)
- 患者サイドの生の声を拾っていただけている、と感じられた(感謝)(40代・女性)
- 専門職から見た視点だけではなく、一般の人の視点を伝えられること(30代・女性)
- どのような声でも取り入れようと丁寧に取り組んでいたのが気分が良かったです(50代・男性)

◆ 医薬品開発のプロセスや背景等、知らなかった点を知ることができる

- 製品化までのプロセスが理解できた(50代・男性)
- 製薬企業で働かれている方の仕事や想いに触れることが出来、より医療の開発に携わっている方々へ感謝するようになりました(40代・男性)
- 新薬が発売されるまでに、長い時間とお金をかけていることがよくわかった(70代・女性)
- 自分の場合、入眠障害に苦しんでおり、入眠を最優先に考えていたが、服薬による後遺障害等を考慮する製薬会社さん、処方する医師の考え等々、三者三様の考えがある事を強く感じた。とにかく眠りたいという考えは非常に近視的な考えで有った(50代・男性)
- 現在の最新の治療状況の説明や患者の意見を直接聞いたこと(60代・男性)

◆ その他

- 今までこういった場がなかったように思うので、開催自体がありがたいと思いました(40代・女性)
- 自分のおかれている立場を見直し、今の満足度、不満があるとすればどういったところで、どうすれば不満を満足に変えることができるかなどをあらかじめじっくり考える機会が持てたこと(60代・女性)
- 新しい治療、先進医療に参加できてたいへんよかった(70代・女性)
- 分かりづらいことはないが、本気度をあまり感じられなかった(30代・男性)

Q11.製薬会社が行っている“患者さんの経験や声を取り入れていこうとする活動”に参加をして、どのように感じましたか。
参加をしてみて良かったこと、わかりにくかったことなど、なるべく具体的にお教えてください。【FA】よかったこと

PC/PI活動に参加して、新たに知れたこと・発見したこと

- かなり丁寧な対応でスケジュール管理がされていたので、治験の結果がすごく正確でゆるぎないと感じました(50代・男性)
- 新しい医療を開発するための仕事内容や計画について(40代・男性)
- 治験が、1度だけではなく、何度も対象や、治験薬を変えて行われていること(70代・女性)
- 薬の開発(治験)は、複数のフェーズを経て行われており、考えていた以上に安全性が担保されている事。製薬に至らない(製品化されない)薬が数多くある事。医師にとって訴訟のリスクは自分が考えていた以上に大きいという事(50代・男性)
- 自分の知らない治療方法など新たに知ることができた(60代・男性)
- 新しい形での治験を模索しているようだったので、まだまだ利用し易くなっていくのではないかと思いました(50代・男性)
- 治療は、医学の周辺の人（ドクターや製薬会社など）だけで成り立っているのではない、ということが実感としてわかったこと(60代・女性)
- 自分が何気ない日常だと思っていたことを詳しく知りたいと思っている人がいる(30代・女性)
- 治験はまだ確立されていないので、何か問題が起きるかもしれないと思っていたが、何も問題はなかった(70代・女性)
- かなり、細かいことまで確認すること(50代・男性)
- すべてが新鮮でした(40代・女性)
- 特になし(30代・女性)
- なし(30代・男性/40代・女性)

PC/PI活動に参加してみて、疑問やわかりにくさを感じたこと

- 副作用をどこまで許容範囲とするのか(70代・女性)
- 服薬により副作用が出た場合の対処について(50代・男性)
- せっかく血液検査、血圧、その他の検査をしても結果を教えてもらえないのは大変残念です何のために参加したのか解らない教えて欲しい(70代・女性)
- 治験の期間の日常生活の過ごし方はどうすればいいのか(50代・男性)
- 分かりにくさというより分からないことだらけなので、そのわからないことが聞け、お互いに理解が深まる場だと感じています(40代・男性)
- 一般的な内容が多いため自分に合った適切な情報がなかなか得られないこと(60代・男性)
- あまりにも患者の立場を慮ってくださり過ぎて、質問の趣旨が奥ゆかしく、真意をはかりかねる場面もあったこと。奥歯に物がはさまり過ぎ、というシーンが何度かありました。「ご病気のことを伺って申し訳ありません」と何度も言われたけれど、そんなの承知で参加しているのになあ、気にし過ぎじゃないかなあと思ったことでした(60代・女性)
- 特にありません(30代・女性/50代・男性/50代・男性)
- 特になし(50代・男性/40代・女性/30代・女性)
- なし(30代・男性/40代・女性)

PC/PI活動に関して①

- とても意義があると思う
- やや意義があると思う
- あまり意義があると思わない
- 全く意義があると思わない
- どのようなものかわからず判断ができない

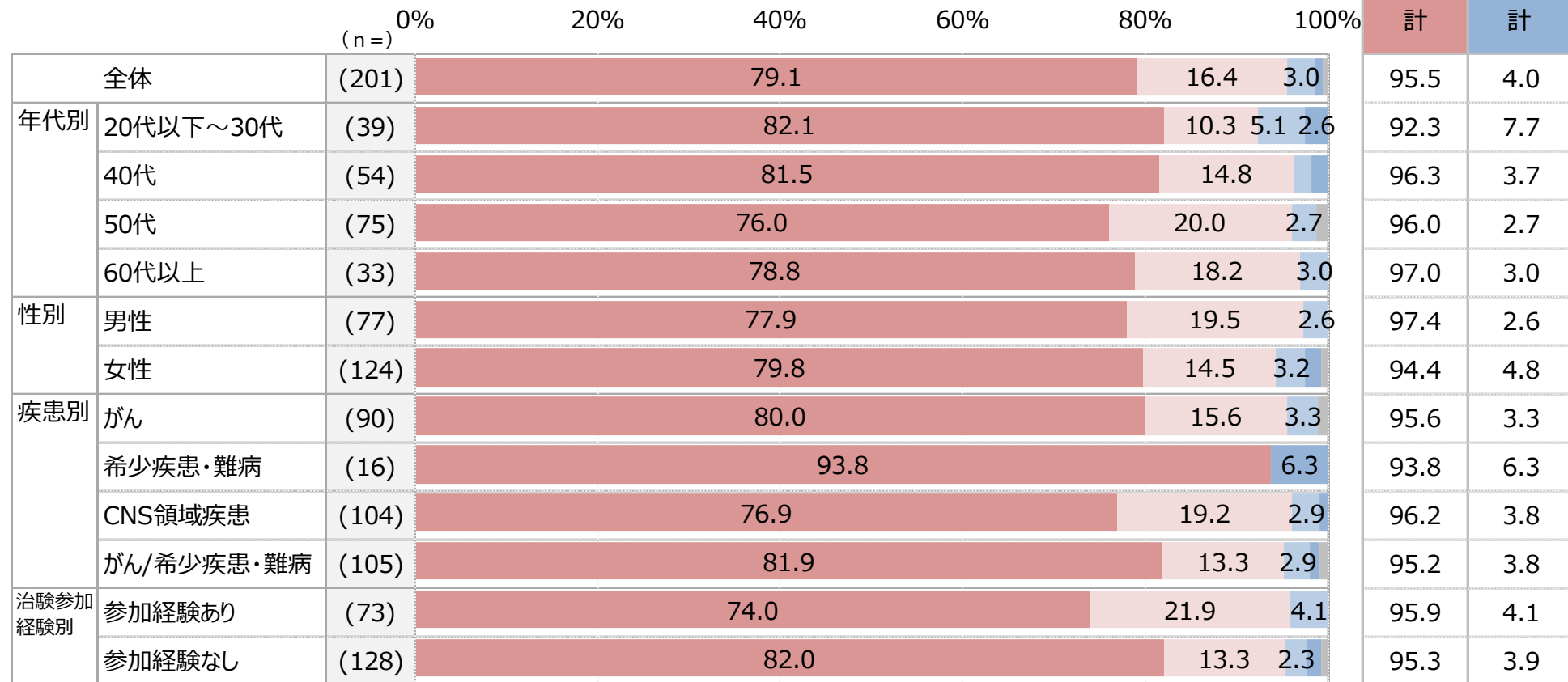


※2.0未満のスコアは非表示

Q12S1.以下の製薬会社が行っている患者さんの声を活かす取り組み・活動について、もしあなたが参加する場合に、どのように感じますか。それぞれについて最もあてはまるものをお選びください。製薬会社・医師・患者など異なる立場の人が参加するワークショップや講演会【SA】

PC/PI活動に関して②

- とても意義があると思う
- やや意義があると思う
- あまり意義があると思わない
- 全く意義があると思わない
- どのようなものかわからず判断ができない



※2.0未満のスコアは非表示

Q12S2.以下の製薬会社が行っている患者さんの声を活かす取り組み・活動について、もしあなたが参加する場合に、どのように感じますか。それぞれについて最もあてはまるものをお選びください。治験の満足度調査（参加した【している】治験に関してご意見を伺うアンケートやインタビュー）【SA】

PC/PI活動に関して③

- とても意義があると思う
- やや意義があると思う
- あまり意義があると思わない
- 全く意義があると思わない
- どのようなものかわからず判断ができない

0% 20% 40% 60% 80% 100% (n=)

		(n=)	0%	20%	40%	60%	80%	100%	意義があると思う計	意義があると思わない計
全体		(201)			81.6		16.4		98.0	2.0
年代別	20代以下~30代	(39)			84.6		12.8	2.6	97.4	2.6
	40代	(54)			85.2		11.1	3.7	96.3	3.7
	50代	(75)			78.7		20.0		98.7	1.3
	60代以上	(33)			78.8		21.2		100.0	0.0
性別	男性	(77)			79.2		19.5		98.7	1.3
	女性	(124)			83.1		14.5	2.4	97.6	2.4
疾患別	がん	(90)			87.8		12.2		100.0	0.0
	希少疾患・難病	(16)			87.5		12.5		100.0	0.0
	CNS領域疾患	(104)			75.0		21.2	3.8	96.2	3.8
	がん/希少疾患・難病	(105)			87.6		12.4		100.0	0.0
治験参加経験別	参加経験あり	(73)			68.5		28.8	2.7	97.3	2.7
	参加経験なし	(128)			89.1		9.4		98.4	1.6

※2.0未満のスコアは非表示

Q12S3.以下の製薬会社が行っている患者さんの声を活かす取り組み・活動について、もしあなたが参加する場合に、どのように感じますか。それぞれについて最もあてはまるものをお選びください。治験の同意説明文書に関する意見聴取（わかりにくい点や内容へのヒアリング）【SA】

PC/PI活動に関して④

- とても意義があると思う
- やや意義があると思う
- あまり意義があると思わない
- 全く意義があると思わない
- どのようなものかわからず判断ができない

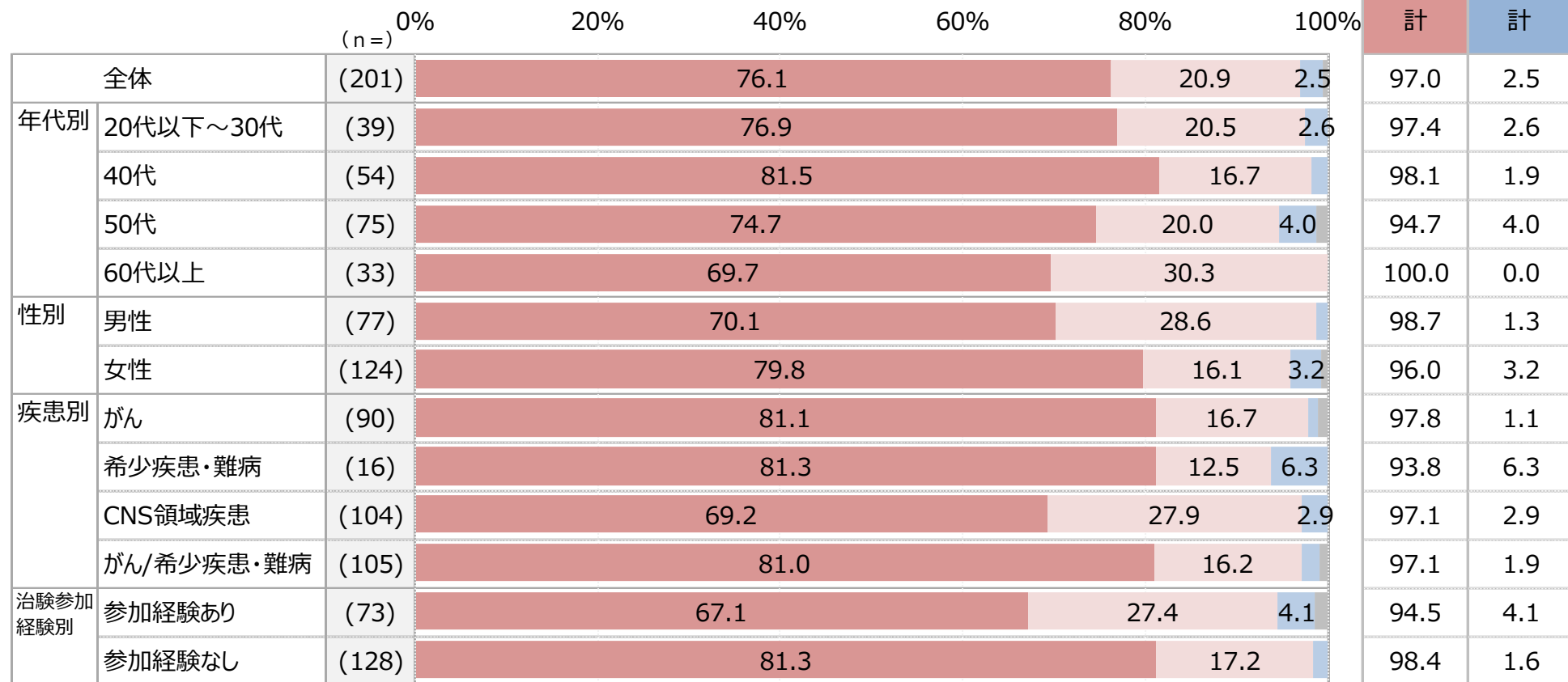


※2.0未満のスコアは非表示

Q12S4. 以下の製薬会社が行っている患者さんの声を活かす取り組み・活動について、もしあなたが参加する場合に、どのように感じますか。それぞれについて最もあてはまるものをお選びください。治験実施計画書に関する意見聴取（わかりにくい点や内容へのヒアリング）【SA】

PC/PI活動に関して⑤

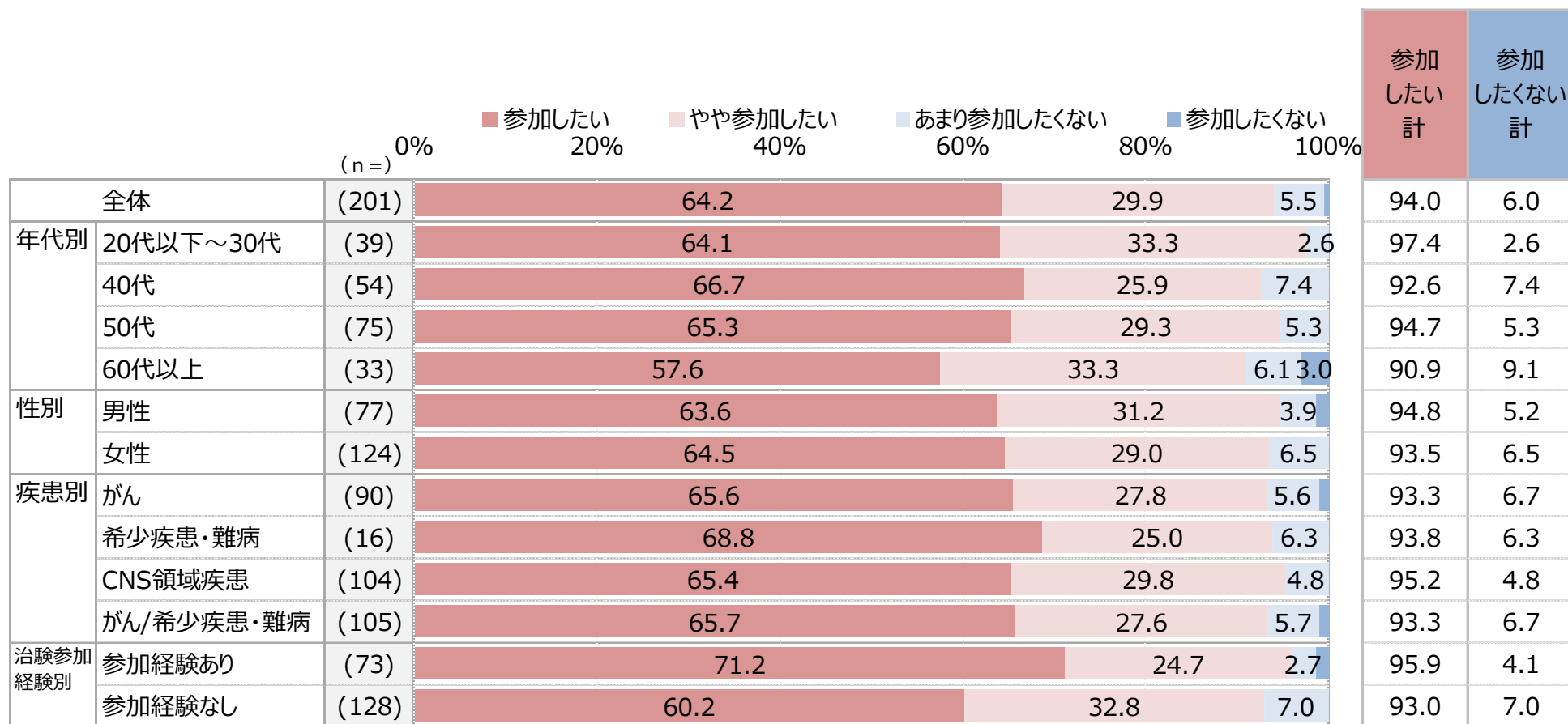
- とても意義があると思う
- やや意義があると思う
- あまり意義があると思わない
- 全く意義があると思わない
- どのようなものかわからず判断ができない



※2.0未満のスコアは非表示

Q12S5.以下の製薬会社が行っている患者さんの声を活かす取り組み・活動について、もしあなたが参加する場合に、どのように感じますか。それぞれについて最もあてはまるものをお選びください。研究方針や製剤に関する意見聴取（要望やご意見のヒアリング）【SA】

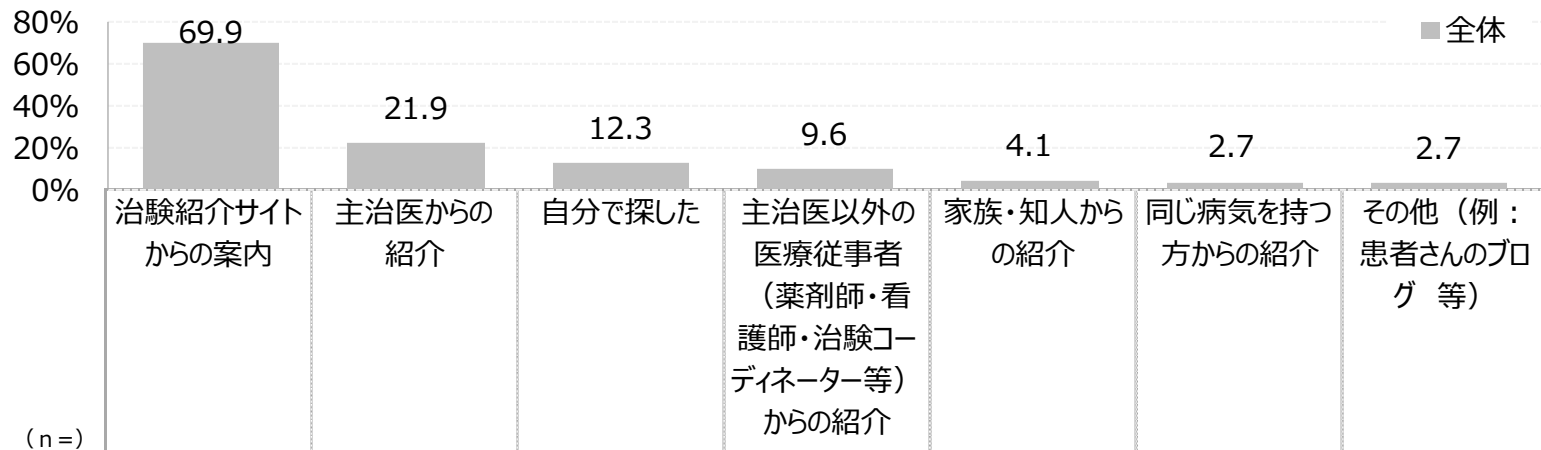
PC/PI活動参加意欲



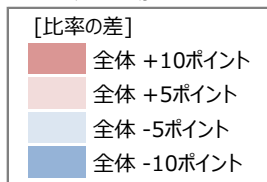
※2.0未満のスコアは非表示

Q13.製薬会社が新しい薬の開発を計画する際に、あなたの意見を聴取する機会があったら参加したいと思いますか。【SA】

治験参加のきっかけ①



n=30以上の場合

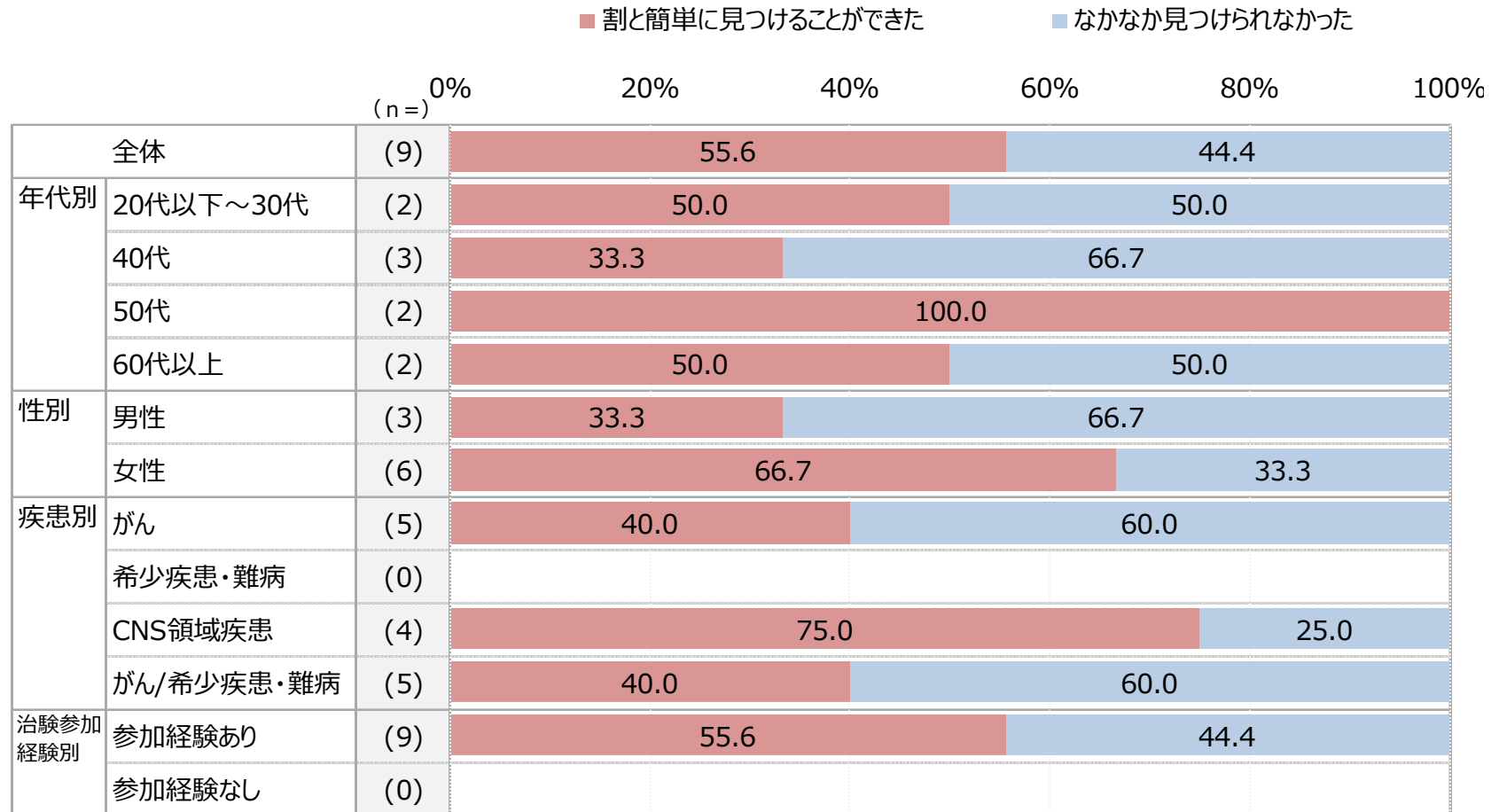


		(n=)	69.9	21.9	12.3	9.6	4.1	2.7	2.7
	全体	(73)	69.9	21.9	12.3	9.6	4.1	2.7	2.7
年代別	20代以下～30代	(9)	44.4	22.2	22.2	33.3	11.1	0.0	0.0
	40代	(16)	68.8	37.5	18.8	0.0	0.0	0.0	6.3
	50代	(30)	73.3	16.7	6.7	13.3	3.3	6.7	3.3
	60代以上	(18)	77.8	16.7	11.1	0.0	5.6	0.0	0.0
性別	男性	(35)	77.1	11.4	8.6	11.4	2.9	5.7	2.9
	女性	(38)	63.2	31.6	15.8	7.9	5.3	0.0	2.6
疾患別	がん	(16)	25.0	62.5	31.3	6.3	0.0	0.0	12.5
	希少疾患・難病	(5)	40.0	40.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0
	CNS領域疾患	(53)	86.8	7.5	7.5	9.4	5.7	3.8	0.0
	がん/希少疾患・難病	(21)	28.6	57.1	23.8	9.5	0.0	0.0	9.5
治験参加経験別	参加経験あり	(73)	69.9	21.9	12.3	9.6	4.1	2.7	2.7
	参加経験なし	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※全体のスコアにて降順ソート

Q14. 参加した、または参加している治験のことは、どこで知りましたか。あてはまるものを全てお選びください。【MA】

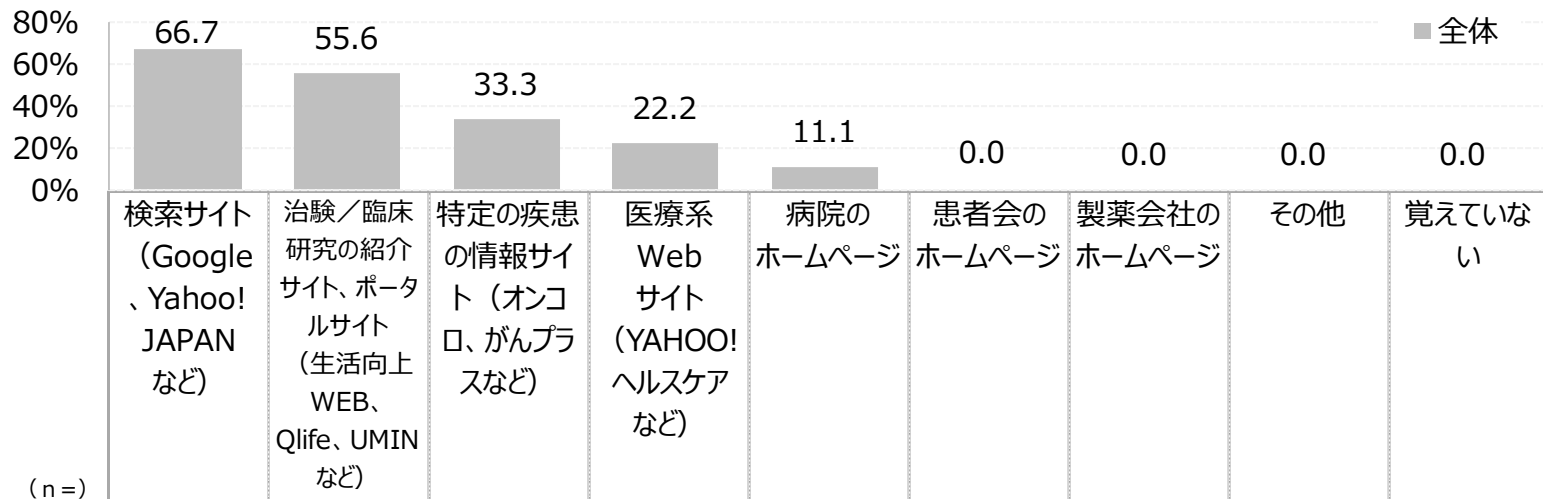
治験参加のきっかけ②



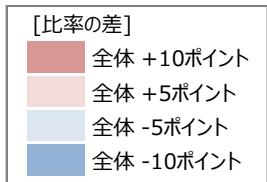
※2.0未満のスコアは非表示

Q15.前問で「自分で治験を探した」とお答えの方にお伺いします。治験を探した際、すぐに見つけることができましたか。【SA】

治験参加のきっかけ③



n=30以上の場合

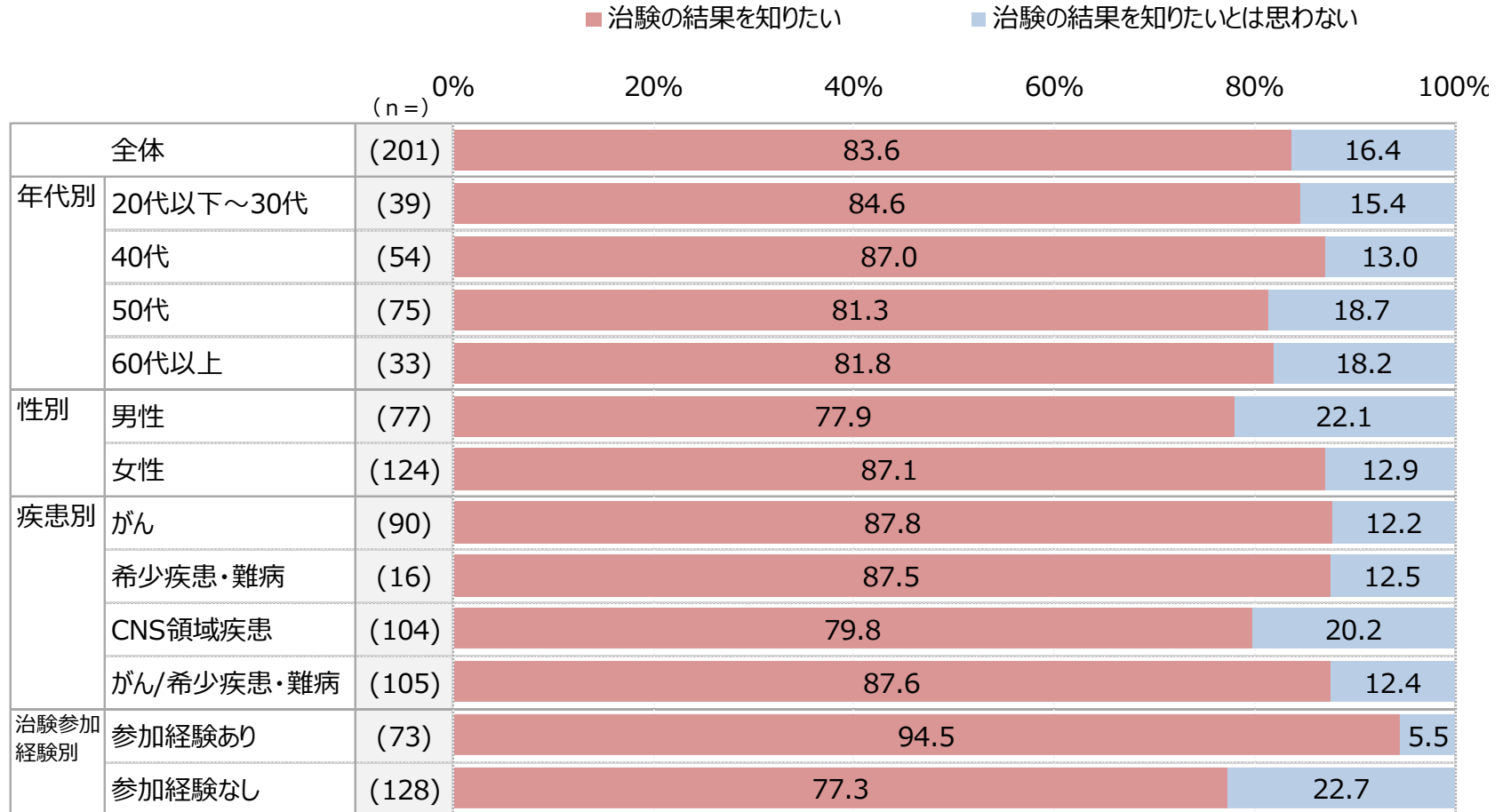


		(n=)	検索サイト (Google、Yahoo! JAPAN など)	治験/臨床研究の紹介サイト、ポータルサイト (生活向上WEB、Qlife、UMIN など)	特定の疾患の情報サイト (オンコロ、がんブラスなど)	医療系Webサイト (YAHOO!ヘルスケア など)	病院のホームページ	患者会のホームページ	製薬会社のホームページ	その他	覚えていない
	全体	(9)	66.7	55.6	33.3	22.2	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0
年代別	20代以下~30代	(2)	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	40代	(3)	66.7	100.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	50代	(2)	100.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	60代以上	(2)	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
性別	男性	(3)	33.3	100.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性	(6)	83.3	33.3	16.7	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0
疾患別	がん	(5)	40.0	40.0	60.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	希少疾患・難病	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	CNS領域疾患	(4)	100.0	75.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	がん/希少疾患・難病	(5)	40.0	40.0	60.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
治験参加経験別	参加経験あり	(9)	66.7	55.6	33.3	22.2	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	参加経験なし	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※全体のスコアにて降順ソート

Q16.前問で「自分で治験を探した」とお答えの方にお伺いします。治験に関する情報は、どこで取得しましたか。利用したものを全てお選びください。【MA】

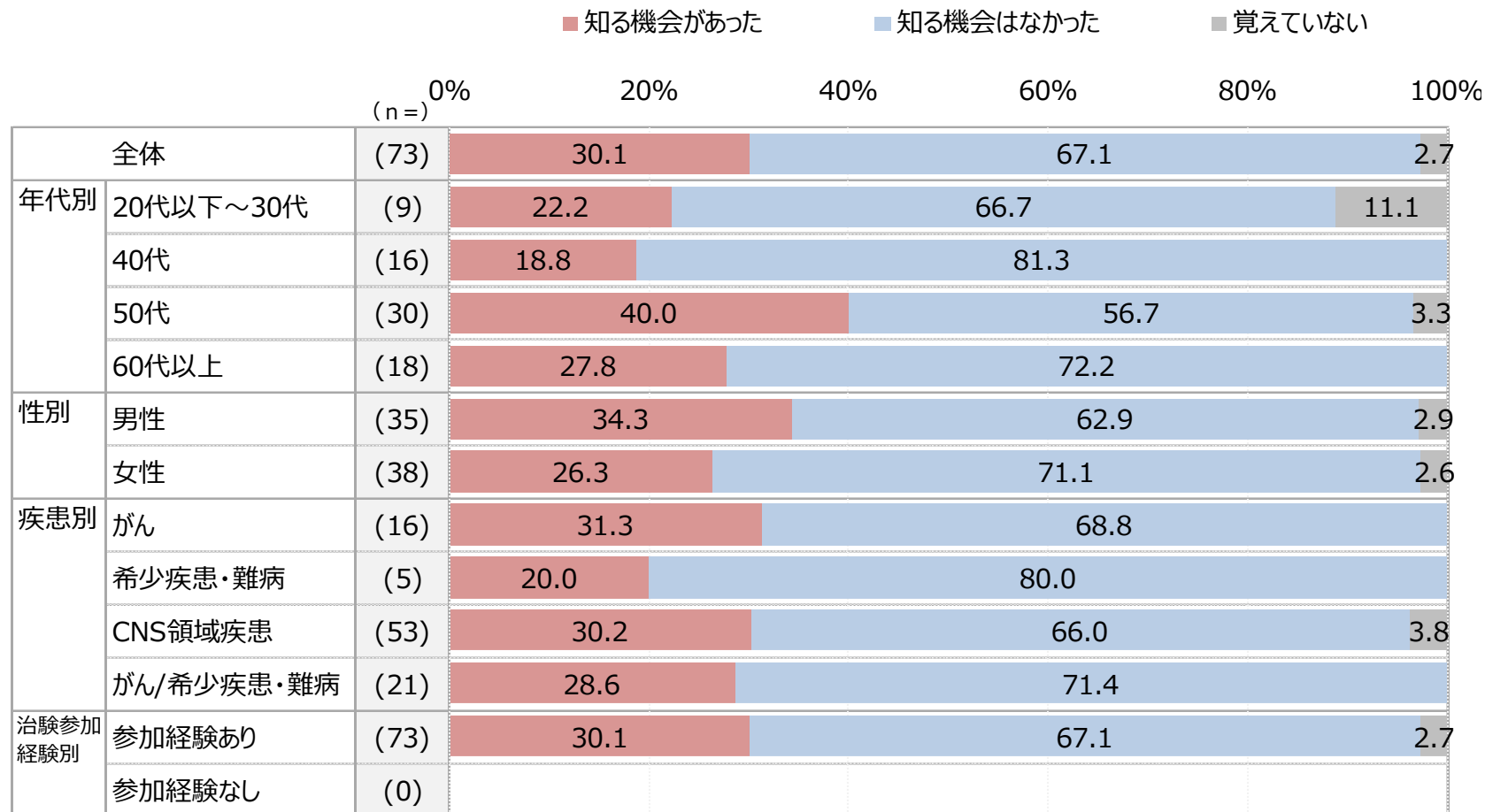
治験参加の結果について①



※2.0未満のスコアは非表示

Q17.自分が参加した治験の結果（治験のデータ／治験薬の開発が進んだか／販売されたか）について、治験終了後にお知らせを受けたいと思いますか。治験に参加したことがない方は、今後参加したと仮定してお答えください。【SA】

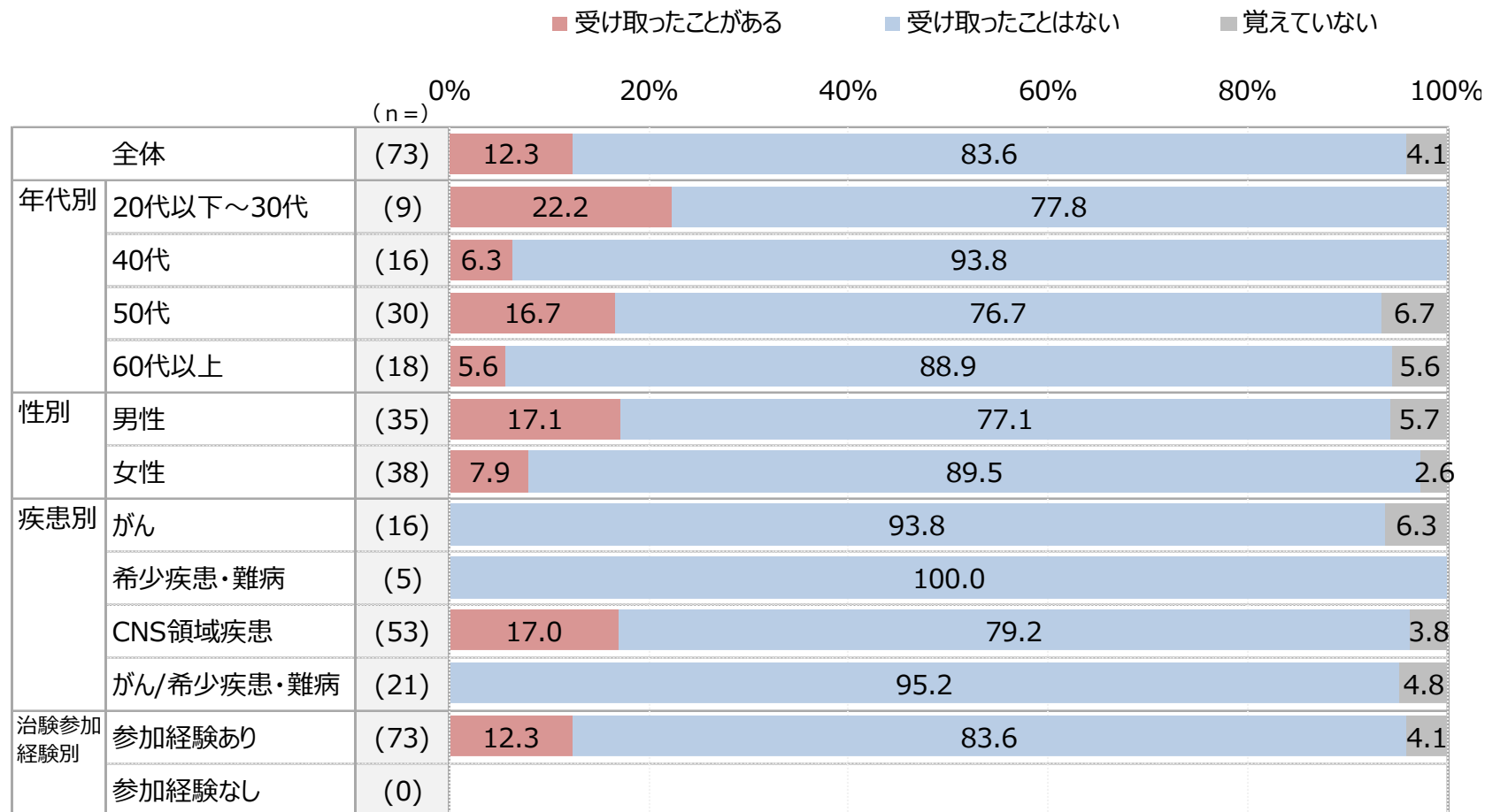
治験参加の結果について②



※2.0未満のスコアは非表示

Q18.あなたが参加した治験では、治験終了後にその治験の結果を知る機会がありましたか。【SA】

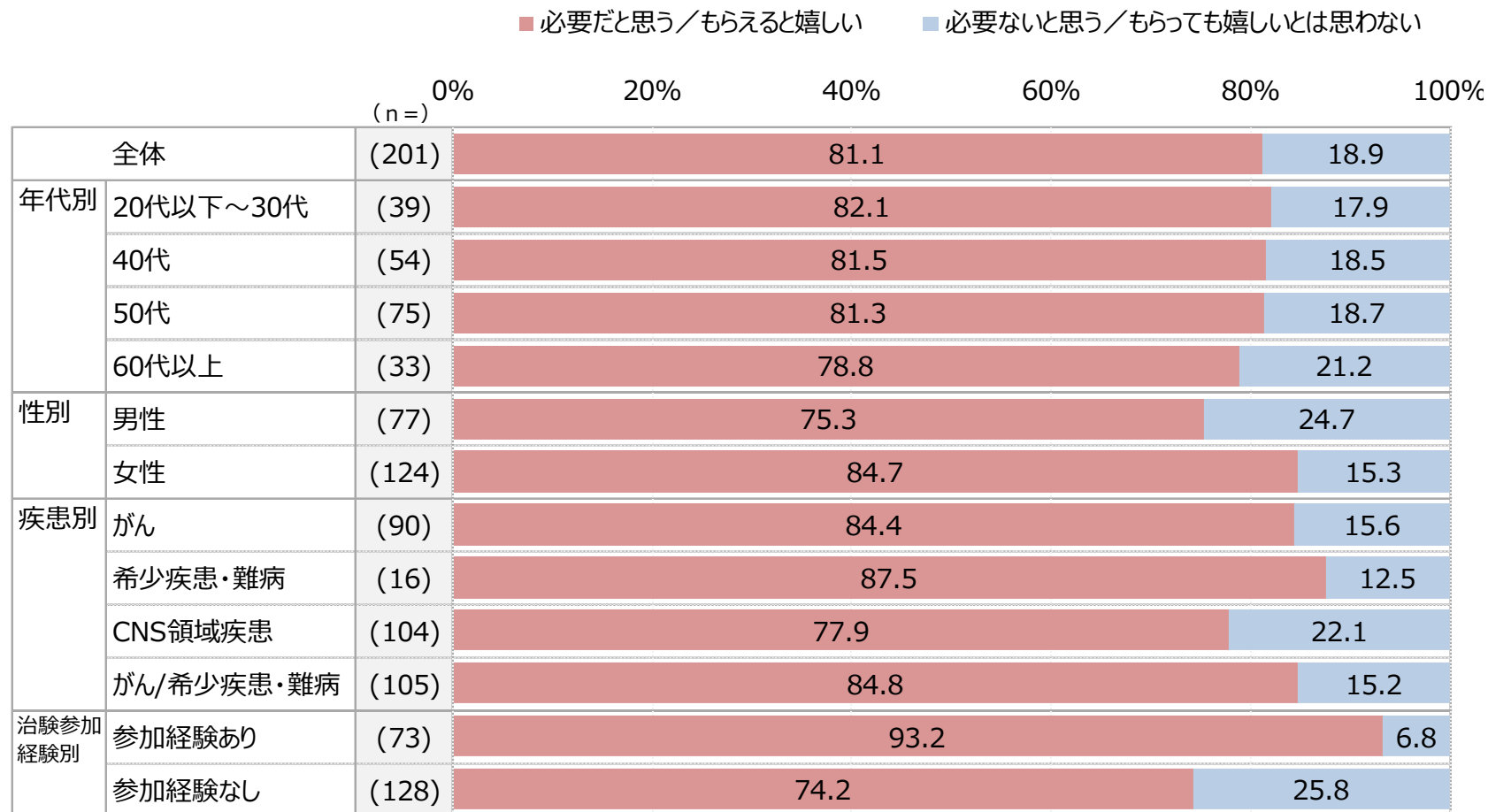
Thank You Letter受領経験



※2.0未満のスコアは非表示

Q19. 治験に参加して、製薬会社からThank You Letter (サンキューレター) を受け取ったことはありますか。【SA】

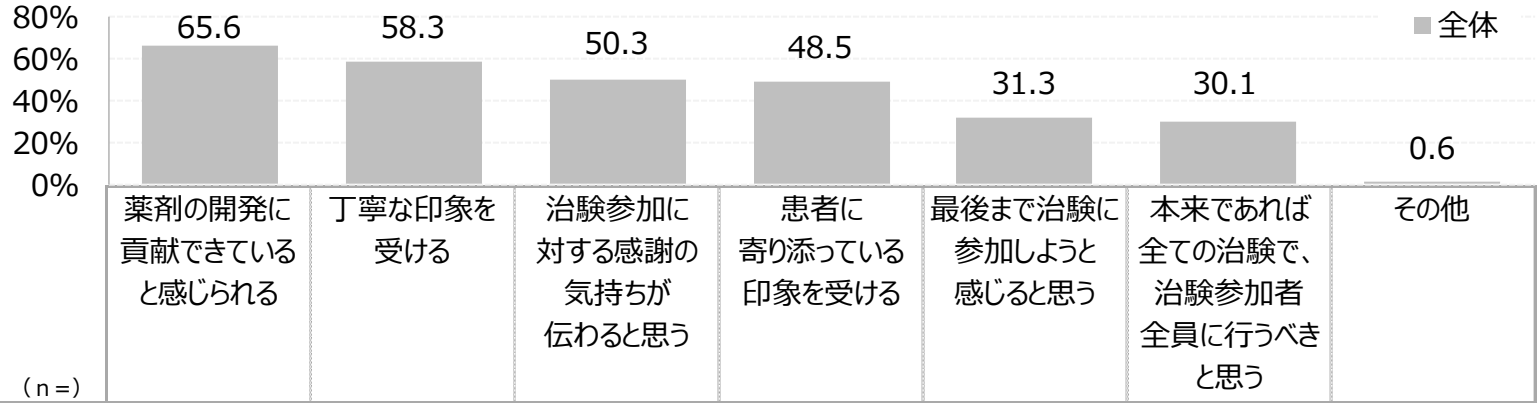
Thank You Letterへのご意見①



※2.0未満のスコアは非表示

Q20.製薬会社から治験参加者にThank You Letter（サンキューレター）が送られることについて、どのようにお感じになりますか。あなたのお気持ちに近いほうをお選びください。【SA】

Thank You Letterへのご意見②



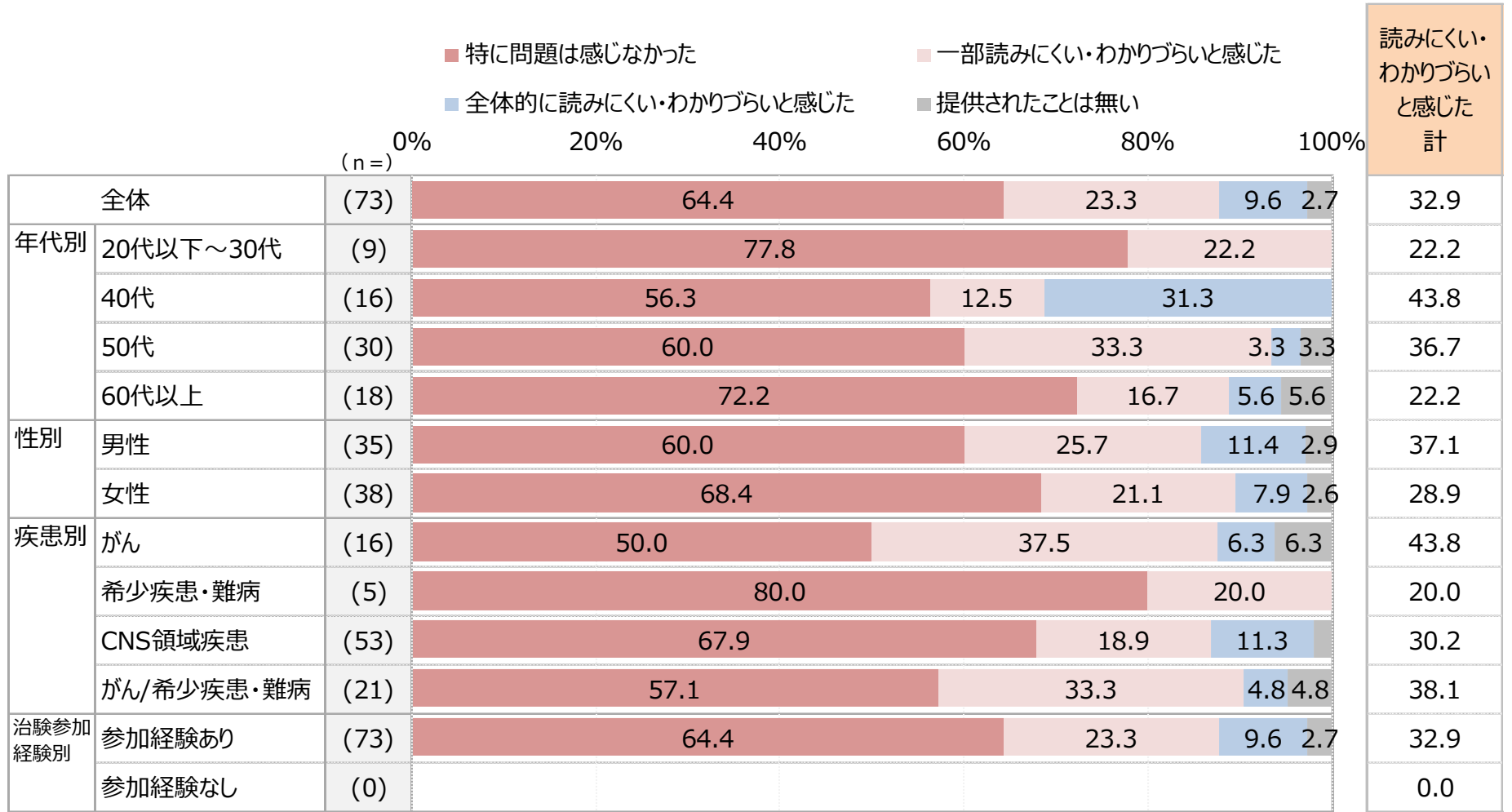
n=30以上の場合
[比率の差]
■ 全体 +10ポイント
■ 全体 +5ポイント
■ 全体 -5ポイント
■ 全体 -10ポイント

		(n=)	65.6	58.3	50.3	48.5	31.3	30.1	0.6
	全体	(163)	65.6	58.3	50.3	48.5	31.3	30.1	0.6
年代別	20代以下～30代	(32)	65.6	53.1	50.0	43.8	15.6	31.3	0.0
	40代	(44)	79.5	61.4	63.6	47.7	36.4	27.3	0.0
	50代	(61)	60.7	59.0	44.3	47.5	34.4	26.2	1.6
	60代以上	(26)	53.8	57.7	42.3	57.7	34.6	42.3	0.0
性別	男性	(58)	60.3	53.4	48.3	41.4	34.5	29.3	0.0
	女性	(105)	68.6	61.0	51.4	52.4	29.5	30.5	1.0
疾患別	がん	(76)	69.7	52.6	47.4	51.3	27.6	27.6	1.3
	希少疾患・難病	(14)	64.3	64.3	50.0	35.7	21.4	35.7	0.0
	CNS領域疾患	(81)	65.4	64.2	56.8	49.4	38.3	32.1	0.0
	がん/希少疾患・難病	(89)	68.5	53.9	47.2	48.3	25.8	28.1	1.1
治験参加経験別	参加経験あり	(68)	58.8	60.3	54.4	58.8	39.7	30.9	1.5
	参加経験なし	(95)	70.5	56.8	47.4	41.1	25.3	29.5	0.0

※全体のスコアにて降順ソート

Q21. Thank You Letter (サンキューレター) が必要とお答えの方にお伺いします。Thank You Letter (サンキューレター) についてあなたのお考えにあてはまるものを全てお選びください。【MA】

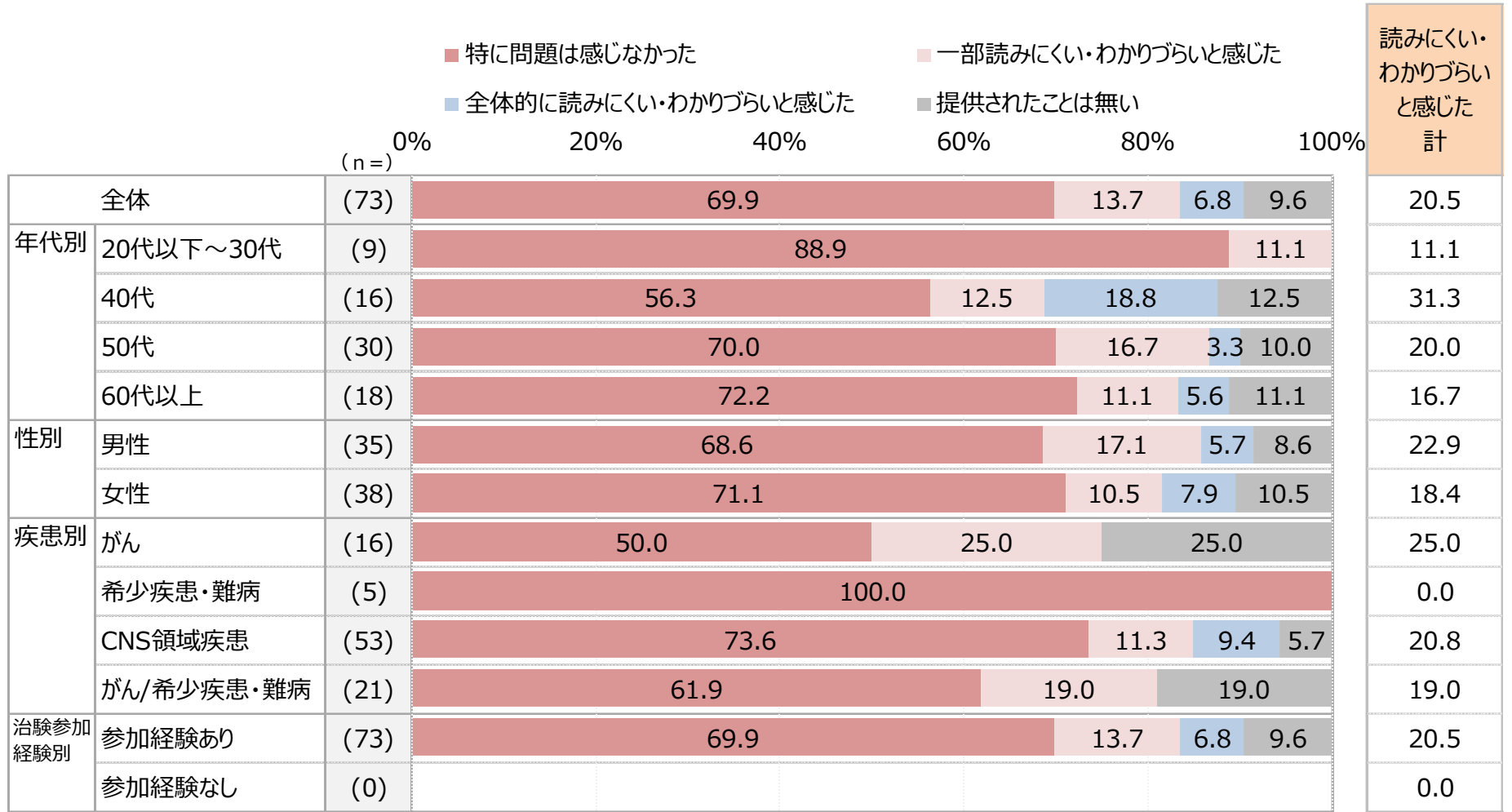
ICFや機材の読みやすさ・わかりやすさ①



※2.0未満のスコアは非表示

Q22S1.「治験に参加したことがある」とお答えになった方にお伺いします。「同意説明文書」や治験に関連する機材等のマニュアル・手順書の読みやすさや・わかりやすさはいかがでしたか。それぞれについてあてはまるものをお選びください。同意説明文書（最初に渡される治験の説明および同意書）【SA】

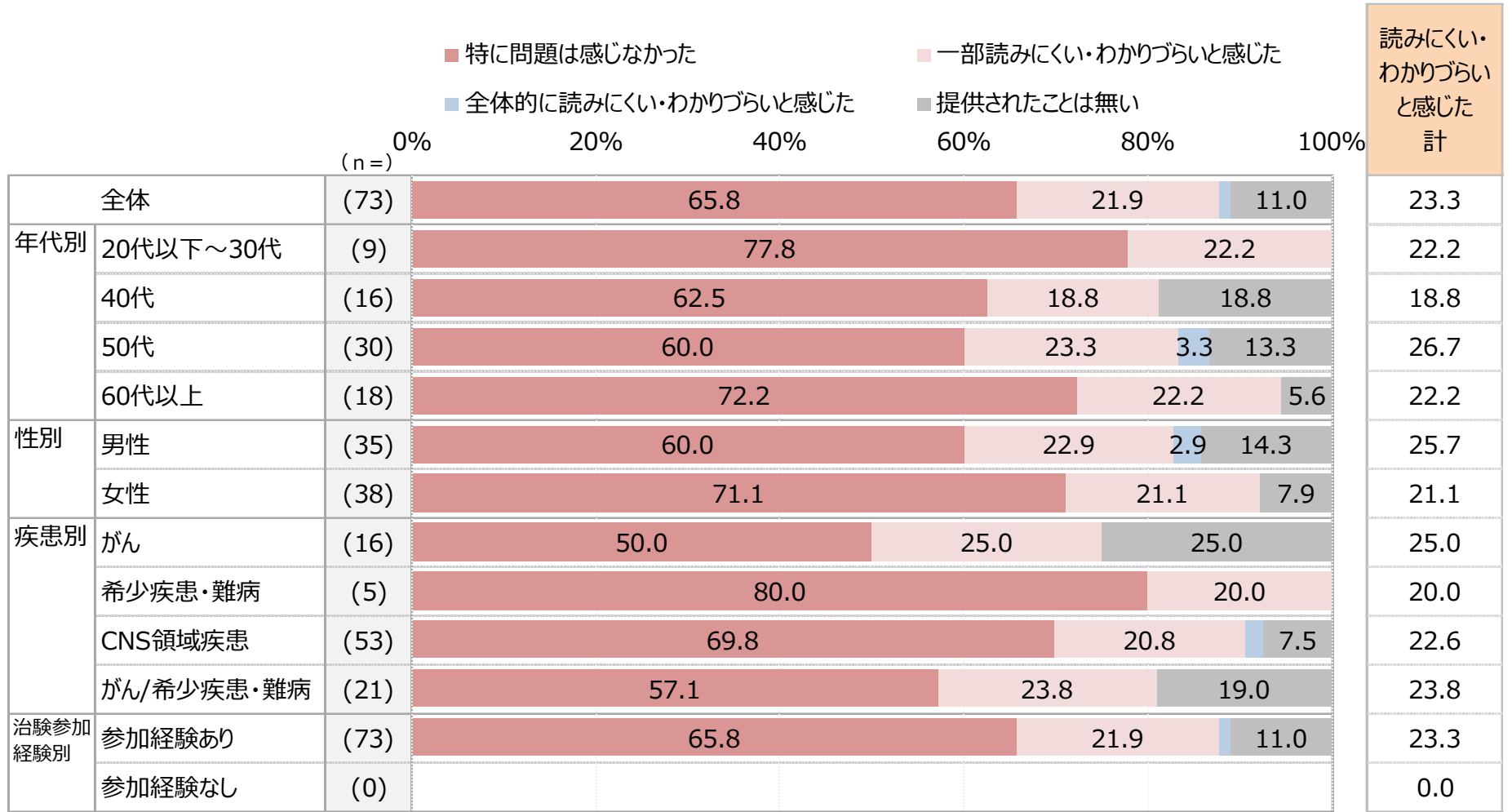
ICFや機材の読みやすさ・わかりやすさ②



※2.0未満のスコアは非表示

Q22S2.「治験に参加したことがある」とお答えになった方にお伺いします。「同意説明文書」や治験に関連する機材等のマニュアル・手順書の読みやすさや・わかりやすさはいかがでしたか。それぞれについてあてはまるものをお選びください。治験に関連する機材等のマニュアル／手順書【SA】

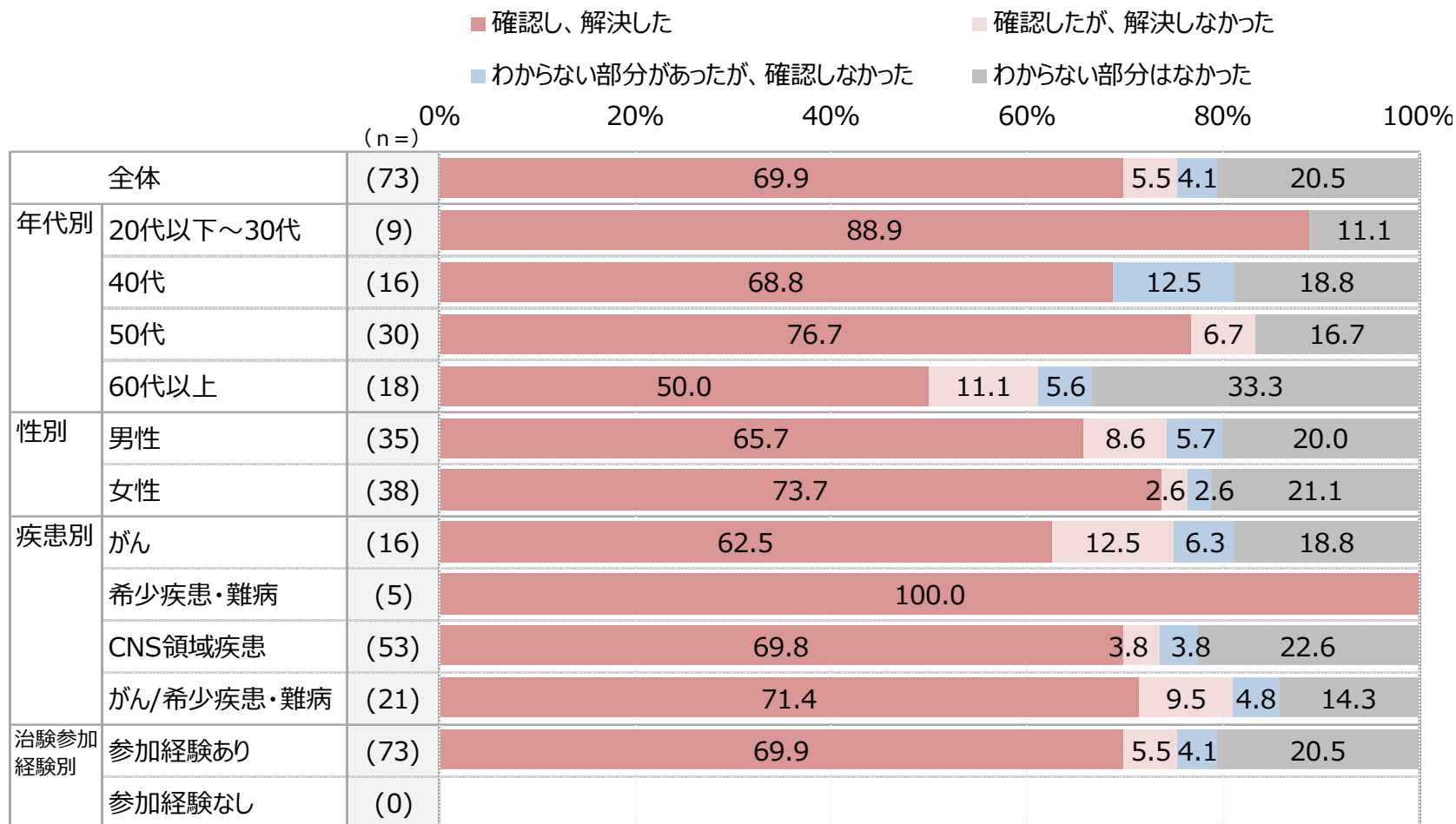
ICFや機材の読みやすさ・わかりやすさ③



※2.0未満のスコアは非表示

Q22S3.「治験に参加したことがある」とお答えになった方にお伺いします。「同意説明文書」や治験に関連する機材等のマニュアル・手順書の読みやすさや・わかりやすさはいかがでしたか。それぞれについてあてはまるものをお選びください。治験参加中に使う日誌類【SA】

ICFや機材の不明点の解決について



※2.0未満のスコアは非表示

Q23.治験参加時に、治験関連資料（同意説明文書、アンケートや機材など）にわからない部分があった際、医療従事者（医師や看護師、治験コーディネーターなど）に確認し解決できましたか。【SA】

ICFや機材に関して 良かった点

- とても分かりやすく説明されていて、治験に対する不安や悩みは感じる事なく参加出来ました(50代・女性)
- 全ての疑問に答えていただいた(50代・男性)
- きちんとした書類なので安心できる。専任の方がついてくださるので安心できる(40代・女性)
- 事前説明や経過途中の疑問にも、明確な説明が得られた(60代・男性)
- 子どもには子ども用の分かりやすい文書が用意されていたところ(20代・女性)
- 感じ方は個人差があるのですが、少なくとも、私は問題なく済みました(50代・男性)
- 特に問題なく理解出来たが、コーディネーターの説明がなければスムーズに理解出来なかったかも知れない(40代・男性)
- 困ることはなかった(40代・女性)
- とても分かりやすかったので特にありません(40代・男性)
- わかりやすく不安がない(50代・男性)
- 全てわかりやすかった(60代・男性)

ICFや機材に関して 改善点①

◆ ICFの記載内容に関して

- 文字ばかりなのでそもそも読む気になれない(50代・男性)
- 専門用語を多用すると知識がない一般人である治験参加者には理解できないことが多いので、用語の解説等を増やした方が良いのではないかと感じた。さらに説明文作成者と治験参加者との間に医薬品や症状を訴えている疾患についての知識に大きな隔絶があることを十分に考慮すべきである(50代・男性)
- とくとき難しい用語が出てくるので、戸惑った(60代・女性)
- 全体的に医療用語が多く、患者向けとしては分かりにくい面も多々あった(50代・女性)
- 患者向けに書かれたような読みやすいものはなかった。あとで治験コーディネーターに質問したら、資料に書いてあったでしょう、と怒られて不快だった(50代・女性)
- 専門用語などを極力使わない配慮がされていたがそれゆえに意味が分かりにくい箇所があった(50代・男性)
- 副作用などが分からなかった(40代・男性)
- 海外での治験実績等は説明文にあったが、個々の安全性、副作用なやはり気になる。同意するにあたってその辺の安全性がある程度認識できて同意する。不安材料は副作用、服用中の薬を中止しての治験薬なのでやはり不安はある(うつ病治験)。良かった点としては大腸検査が出来たこと(便治験)(60代・男性)
- 募集時の内容と、実際の治験内容が、説明文の解釈で違ったことがあった(30代・女性)
- 説明書文中の誤字や誤表現があり、何が正解なのか分からないことがあった(40代・女性)
- 同意書内にある治験スケジュールに日付が書き込めるようになっているといいと思った。提供された日誌は、紙が分厚く持ち歩くにはかさばったので、Excelに記録して、転記した(50代・女性)
- アンケートが複数に渡る場合、説明文書はどのアンケートのことを説明しているのかわかりにくいことがあった(30代・女性)

ICFや機材に関して 改善点②

◆ 資料の多さ・長さ

- 事柄の性格上細に穿った説明になるのは仕方がないのかもしれないが、資料が多すぎるのは閉口する(60代・男性)
- 少し長いと感じたことがある。(40代・男性)

◆ 使用端末に関して

- 日誌回答用にiPadが支給されたが操作がうまくできずストレスを感じたので できれば自身のPC・スマホで回答したかった(50代・男性)
- Android端末による日誌を記入しましたが、端末不良により日誌未記入の日が生じました(50代・男性)
- 製薬会社側の機材トラブルで、アンケートの回答ができなかった。半日以上アンケートにつながらず、無駄な時間をクリニックで費やした。それにも関わらず、製薬会社では、アンケートに回答しないと中止とみなすとの、全く製薬会社勝手な言い分で、中止になってしまった。治験担当者が製薬会社に連絡していたが、製薬会社側から自分に謝罪の一言もなし。非常に腹立たしい思いをした(40代・男性)

◆ 後日の結果通知に関して

- 治験結果がいつ頃出るのか、受けた時点では不明であった。結果の通知を希望したが、現在まで連絡なし(50代・女性)
- 治験参加の条件の明確化、治験参加の結果（自分の血液検査の結果等のデータ）、治験の薬の発売日などをメールなどで後日教えて欲しい(70代・女性)

ICFや機材に関して 改善点③

◆ その他

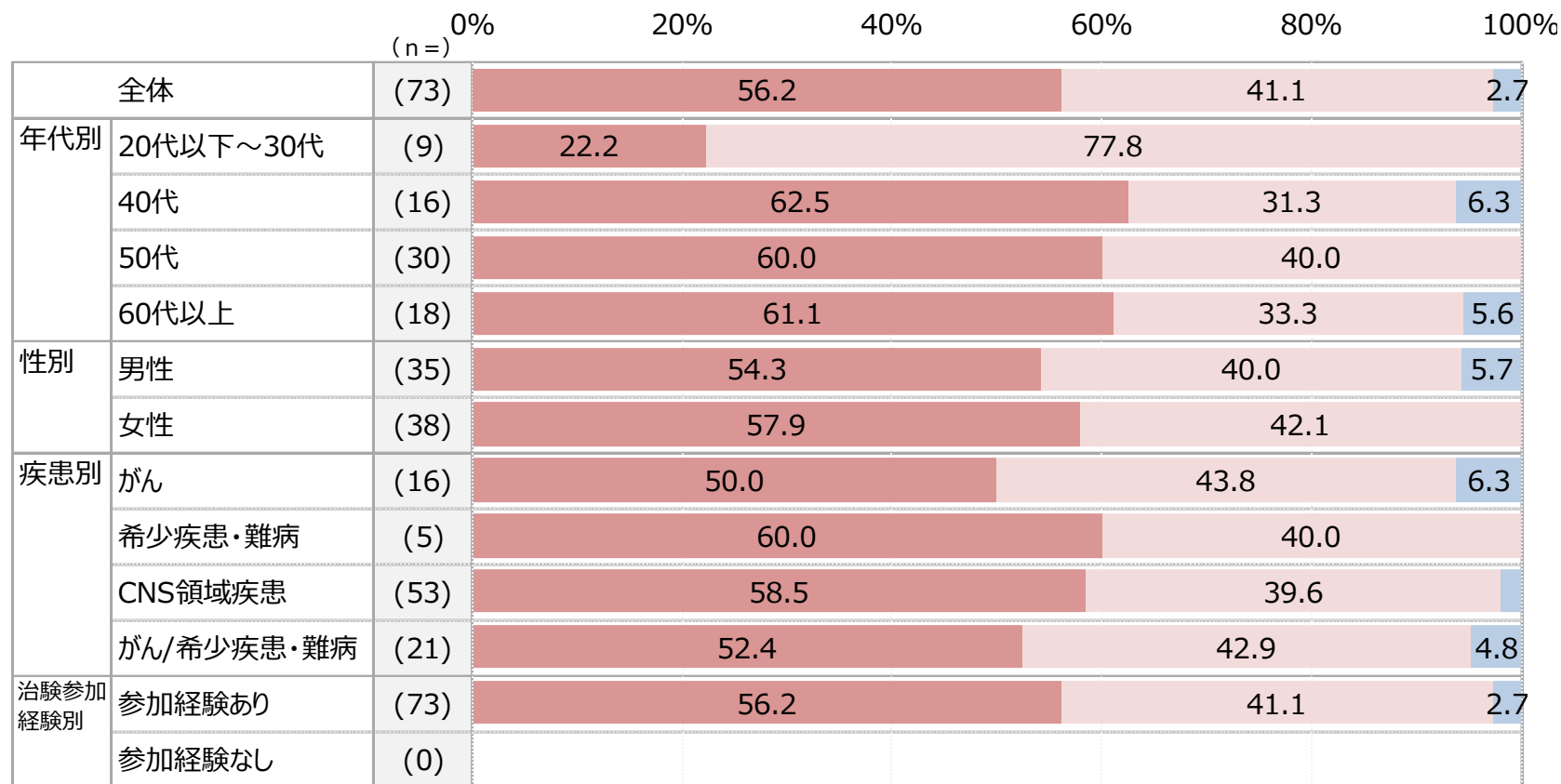
- 説明文は太い冊子のため自分で把握するのは難しいのですが、コーディネータが重要項目をしっかりと教えてくれたので把握ができたと思います。条件が変わると冊子も更新する必要があり、そのたびに同様の説明があったので大変と感じました(50代・男性)
- プラセボ（偽薬）の割り当てとなった時に、症状悪化などに伴い治験に最後まで参加できるか不安に思ったことがありました。病気に対する不安よりも、最後まで治験を通して役に立てないかもと考えることがありましたので、上記のような一定の条件下では、治験の途中離脱となる場合がある旨の説明（補足）があると少し考え方を改めることができると感じました(50代・男性)
- 性交について問われるアンケートがあり、コーディネーターには見られるので少し不快でした(50代・女性)
- 紙で頂けたので、見やすかった。一方で、遠方の治験に参加したので、同意を得るための訪問のみであれば、データでのやり取りや、WEB会議のような形でもできると便利と感じた(30代・女性)
- 検査結果によって案内の不十分さ(60代・男性)

ICFや機材に関して その他

- 結果的に本格的な鬱と判断され通院することになった。薬の効果はなかった感じがする(50代・男性)
- 不快、不謹慎に感じたことは全くなし(30代・男性)
- どちらも感じたことがない(70代・女性)
- 特になし、覚えていない(60代・男性)
- 特になし(40代・男性/20代・女性/50代・女性/70代・女性/50代・女性/50代・女性/40代・女性/50代・女性/70代・男性)

参加した治験へのご意見①

- 負担・不便に感じなかった（特に問題なかった）
- 負担・不便に感じたが、許容できる内容だった
- とても負担・不便に感じた

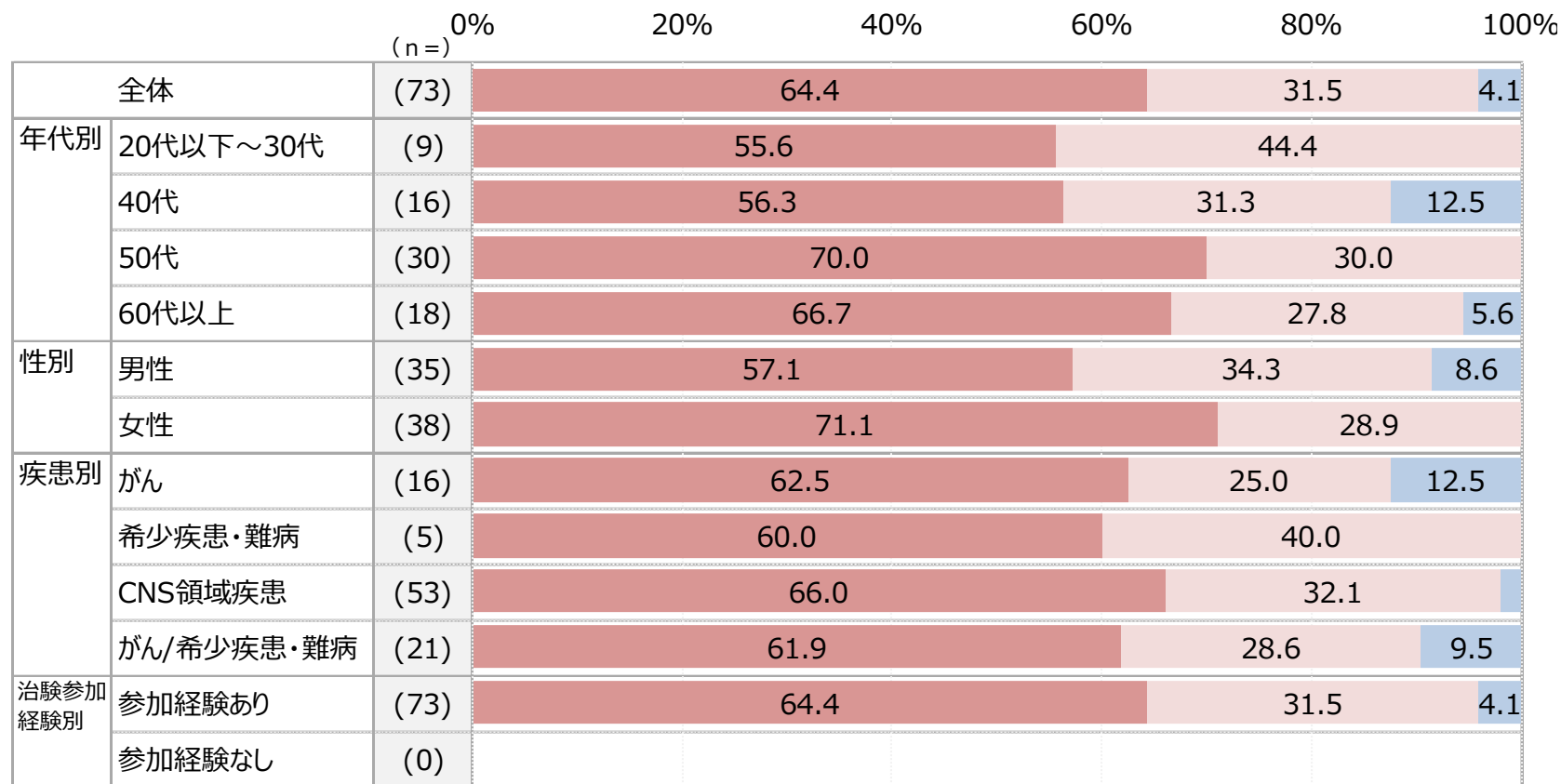


※2.0未満のスコアは非表示

Q25S1. 治験の内容についてお伺いします。あなたは以下の項目についてどのようにお感じになりましたか。それぞれについてあてはまるものをお選びください。通院の回数／頻度【SA】

参加した治験へのご意見②

- 負担・不便に感じなかった（特に問題なかった）
- 負担・不便に感じたが、許容できる内容だった
- とても負担・不便に感じた

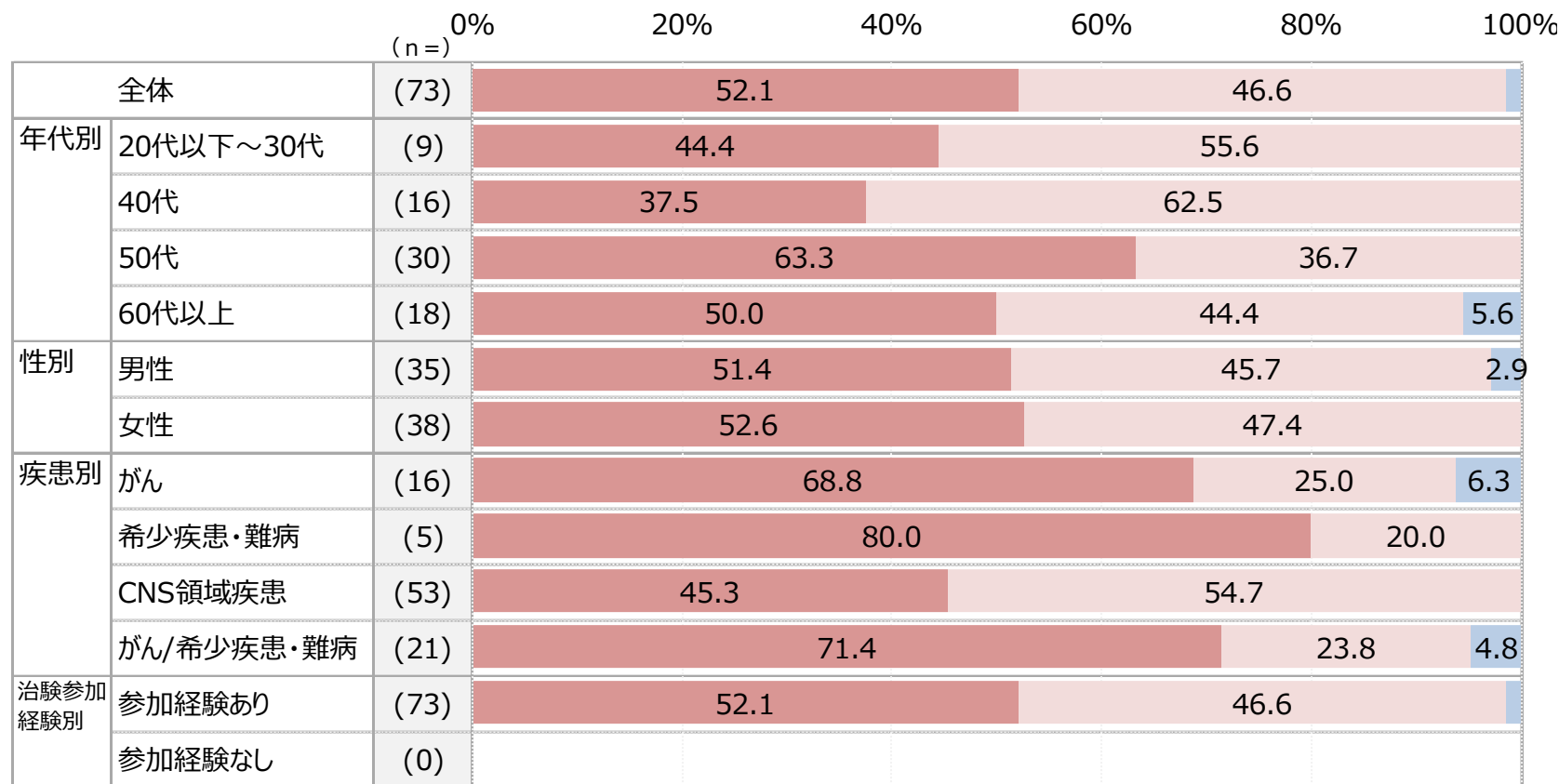


※2.0未満のスコアは非表示

Q25S2.治験の内容についてお伺いします。あなたは以下の項目についてどのようにお感じになりましたか。それぞれについてあてはまるものをお選びください。検査・採血の回数／頻度【SA】

参加した治験へのご意見③

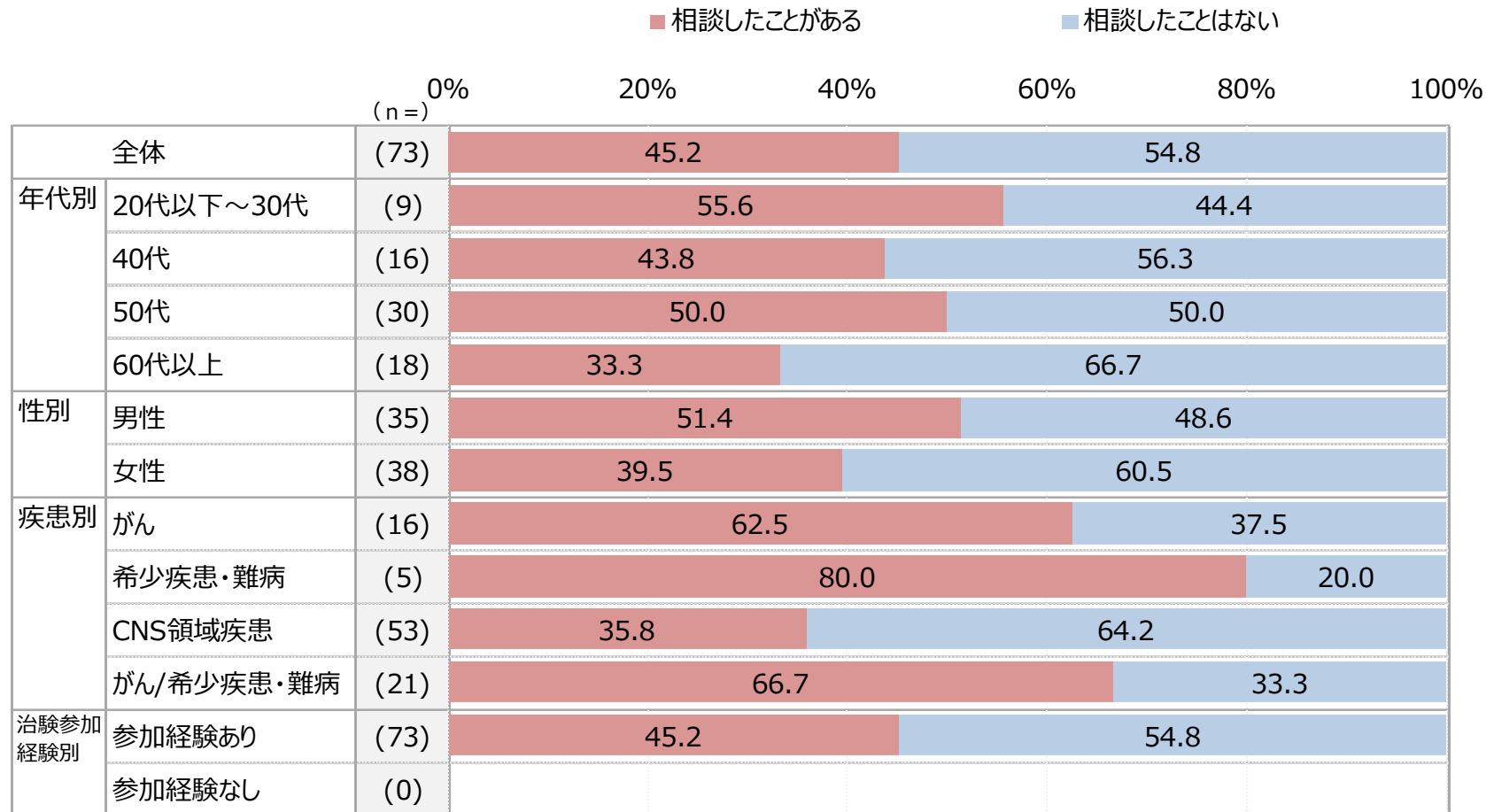
- 負担・不便に感じなかった（特に問題なかった）
- 負担・不便に感じたが、許容できる内容だった
- とても負担・不便に感じた



※2.0未満のスコアは非表示

Q25S3.治験の内容についてお伺いします。あなたは以下の項目についてどのようにお感じになりましたか。それぞれについてあてはまるものをお選びください。検査・採血時の痛みや辛さ【SA】

医療関係者への相談経験



※2.0未満のスコアは非表示

Q26. 治験の内容について医療関係者（医師や看護師、治験コーディネーターなど）に相談したことはありますか。【SA】

治験全般に関してのご意見 良かった点

- 検査結果を連携いただけたことで、自身の体の状態を把握でき良かったと感じています。検査や採血も丁寧に行っていたので、不満・不安はありませんでした(50代・男性)
- 都度、今どういう状況か次にすることを説明してくれたので不安になることなく参加出来た。採血は、技術的に下手な看護師さんの時は不安だった(40代・男性)
- 治験コーディネーターさんが寄り添ってくださったので相談がしやすかった(50代・女性)
- 治験コーディネーターの方と副作用などいろいろ話を聞いてもらえたので心強かった(50代・女性)
- 分からないことがあれば、都度コーディネーターに相談出来たことがよかった。寄り添って貰えたと感じている。薬が完成したかが知りたかった(30代・女性)
- 週一の通院だったので、身体の状態や副作用の程度などを診てもらうには、ちょうどよいタイミングであった(50代・女性)
- 血液検査、日頃の健康管理にも役立ちました(50代・男性)
- 待ち時間がなく、スムーズに段取りが組まれていた(50代・男性)
- 効率よく検査して下さる点が良い(40代・女性)
- 入院から退院までとても安心して過ごせたので特にありません(40代・男性)
- 自分みたいなのが、医療に関する事に、貢献出来たと感じられて、とても有意義な経験になりました(50代・女性)
- よかったです(50代・男性)

治験全般に関してのご意見 改善点①

◆ 担当者の対応に関して

- 医師や看護師も人間なので一長一短な感じで、不快に感じる対応をするものが居た(50代・男性)
- 仕事の関係で途中で参加できなくなったので全般に対してはコメントできないが、途中までは医師にやる気があるのかと感じたことがあった(60代・男性)
- とにかく治験コーディネーターが不快な人だった (50代・女性)
- コーディネータには連絡を密にする人と、そうではない人がいる。事柄の性格上、連絡は密にさせていただいたほうがいいかな(60代・男性)
- 治験の途中で分からないと感じた事があったが、質問できる雰囲気ではなかった。医師、コーディネーター共に非常に忙しそうであったため。(50代・男性)
- 偉そうな担当者、口調などで不快に思ったことがある(40代・男性)
- 通院する病院を初めて利用する場合、全くわからない状態からなのでその点への配慮が欲しいと感じました。分かっているていで説明されることが若干ありました。(50代・男性)
- 採血結果などの詳細が知れるのはありがたい。以前同日に複数回採血検査をした際、帰宅後片腕がアザだらけになっていて少し痛みがあった。そのことがあったので複数回採血するのが少し不安ではある(30代・女性)
- 看護師さんによって採血が痛いときと痛くないときがあった。痛いときはアザができたときがあった(20代・女性)
- 看護師さんが失敗したらしく、採血を何度も受けたことがある(40代・女性)
- 治験薬の効果で月経が止まったが、事前にそのような説明がなかったためびっくりした(30代・女性)
- 診察後の待ち時間は30分との事だったが大体それよりオーバーして、寝て待ちたいと申し出たが、叶わなかった(50代・女性)

治験全般に関してのご意見 改善点②

◆ 医療機関に関して

- 待ち時間が長い医療機関がある(60代・男性)
- 治験を行っているクリニックが遠方だったため、通院が大変だった(50代・女性)
- 実際に参加した治験は徒歩圏内の医療機関で行われたので通院についてはさして不便はなかったが、参加を案内された治験の中には通院に片道2時間以上かかる場所でのものもあり、とても参加できないので断ったことがある。参加者を増やしたいという思惑は理解できないこともないが、居住地域と医療機関所在地の距離等を考えれば参加者に著しい負担を強いることもある点は考慮されるべきではないか(50代・男性)

◆ 費用に関して

- 埼玉から東京に行くことが多いので、交通費がかかる分、募集前から軽減負担費の金額は提示してくれた方がありがたいです(30代・女性)
- 通院の交通費がわかりにくかった(60代・女性)

◆ 検査結果、治験結果に関して

- 今まで何度も書いたが、せめて自分の検査結果（血液検査結果等）ぐらいは教えて欲しい(70代・女性)
- 自分が参加した治験の事後報告が欲しい(70代・女性)
- 結果をもう少し分析していただいて今後に生かしたかった(50代・男性)

治験全般に関してのご意見 改善点②

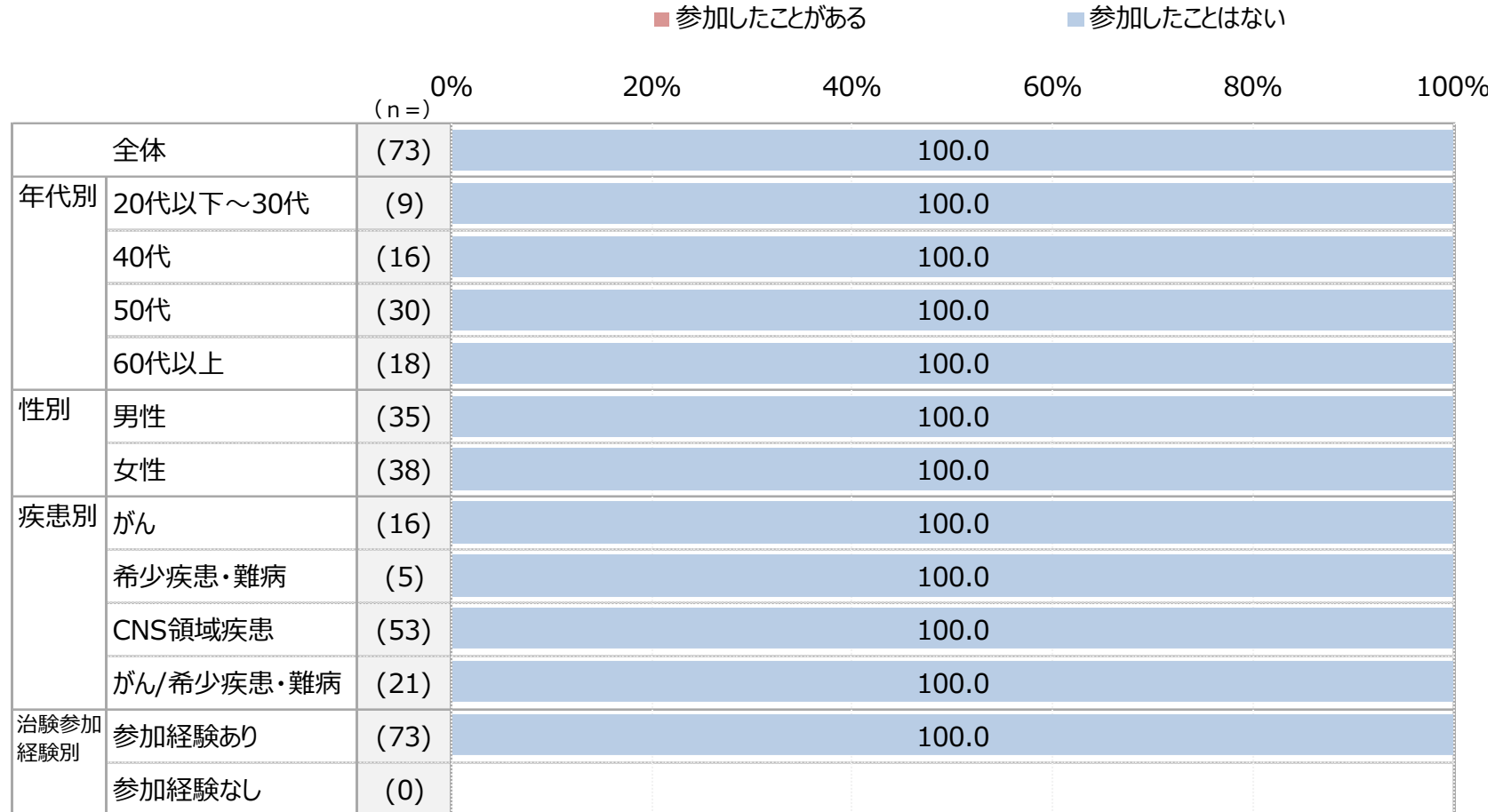
◆ その他

- 激しい運動をしてはいけない、という記述があったが、どれくらいの運動が激しい範囲なのかが分かりにくかった(50代・女性)
- 内容の説明の詳細をもっと詳しく(60代・男性)
- 最初のふるい落とし(プラセボ)で果たして治験が問題なく行えるのか心配で大変だったと覚えています。通院で点滴や皮下注した後、1時間待機する必要があり時間ももたないで大変でした。2週間に1度の皮下注で再燃したため、1週間に1度になった後、寛解しても引き続きペースは変えられなかったので大量の薬を持ち帰る必要があり大変でした(50代・男性)
- 採血が多すぎて血管がどんどん細くなってちょっと辛かった(40代・女性)
- 全部お任せなので、少し不安でした(50代・男性)
- 回答に時間がかかった(20代・女性)
- かなり不安はあった(40代・男性)

治験全般に関してのご意見 その他

- 専門用語がわからない時に質問をただけなので、全般的には困ったことはなかった(30代・男性)
- 特にハードに感じるものはなかった(60代・男性)
- 特に不満は無い(60代・男性)
- 不安は特にない(40代・女性)
- 特にありません(50代・女性)
- 特になし(50代・男性/40代・男性/50代・女性/70代・女性/50代・女性/70代・男性)
- なし(40代・男性/40代・女性)

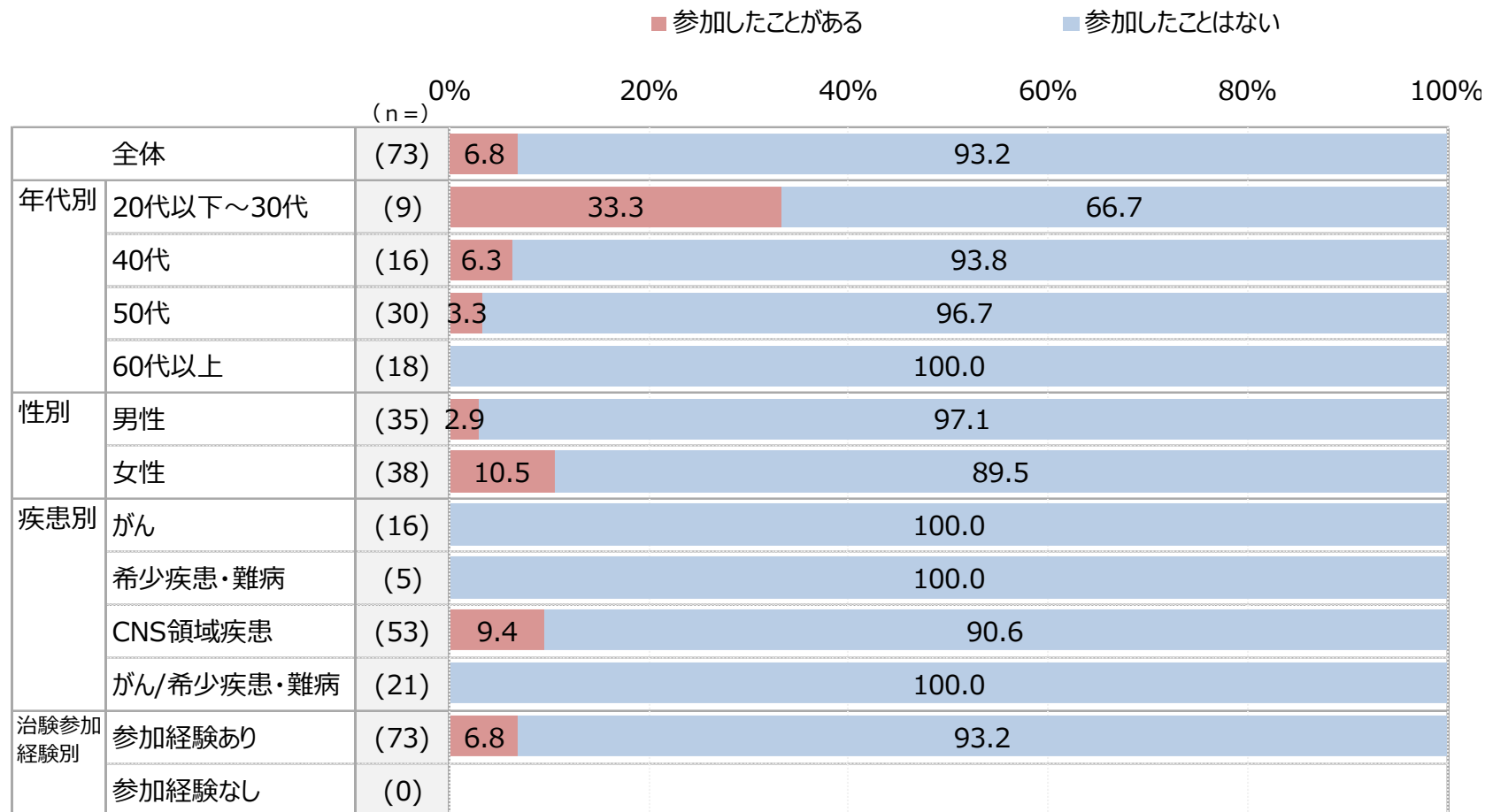
訪問診療・訪問看護を活用した治験に関して



※2.0未満のスコアは非表示

Q28S1.あなたはこれまでに、訪問診療・訪問看護、ePRO、eConsentを活用した治験に参加したことがありますか。訪問診療・訪問看護を活用した治験【SA】

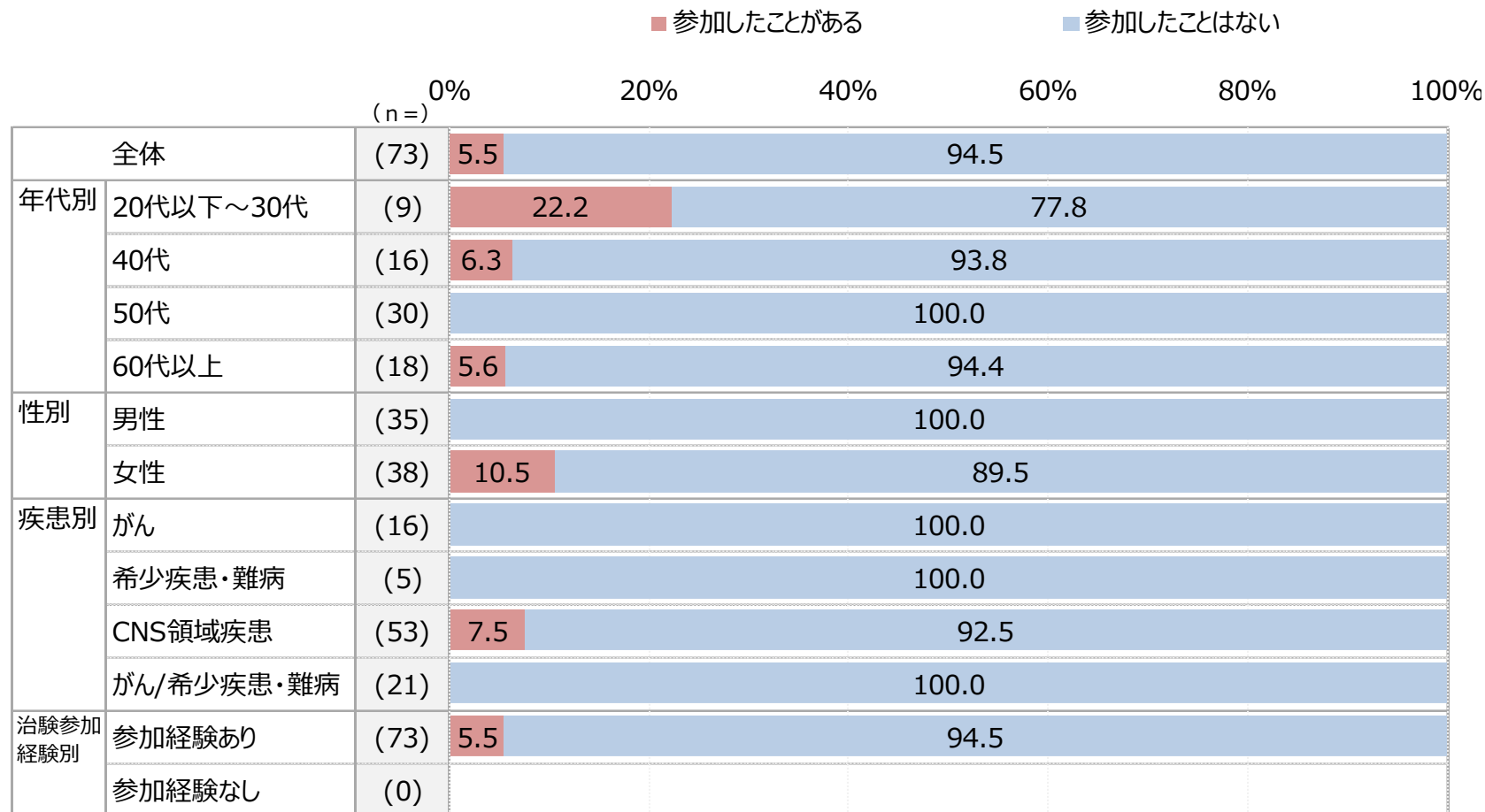
ePROを活用した治験に関して



※2.0未満のスコアは非表示

Q28S2.あなたはこれまでに、訪問診療・訪問看護、ePRO、eConsentを活用した治験に参加したことがありますか。ePROを活用した治験【SA】

eConsentを活用した治験



※2.0未満のスコアは非表示

Q28S3.あなたはこれまでに、訪問診療・訪問看護、ePRO、eConsentを活用した治験に参加したことがありますか。eConsentを活用した治験【SA】

訪問診療・訪問看護、ePRO、eConsentを活用した治験に参加して

■ 訪問診療・訪問看護を活用した治験について(回答者1名)

- ない(20代・女性)

■ ePROを活用した治験について(回答者4名)

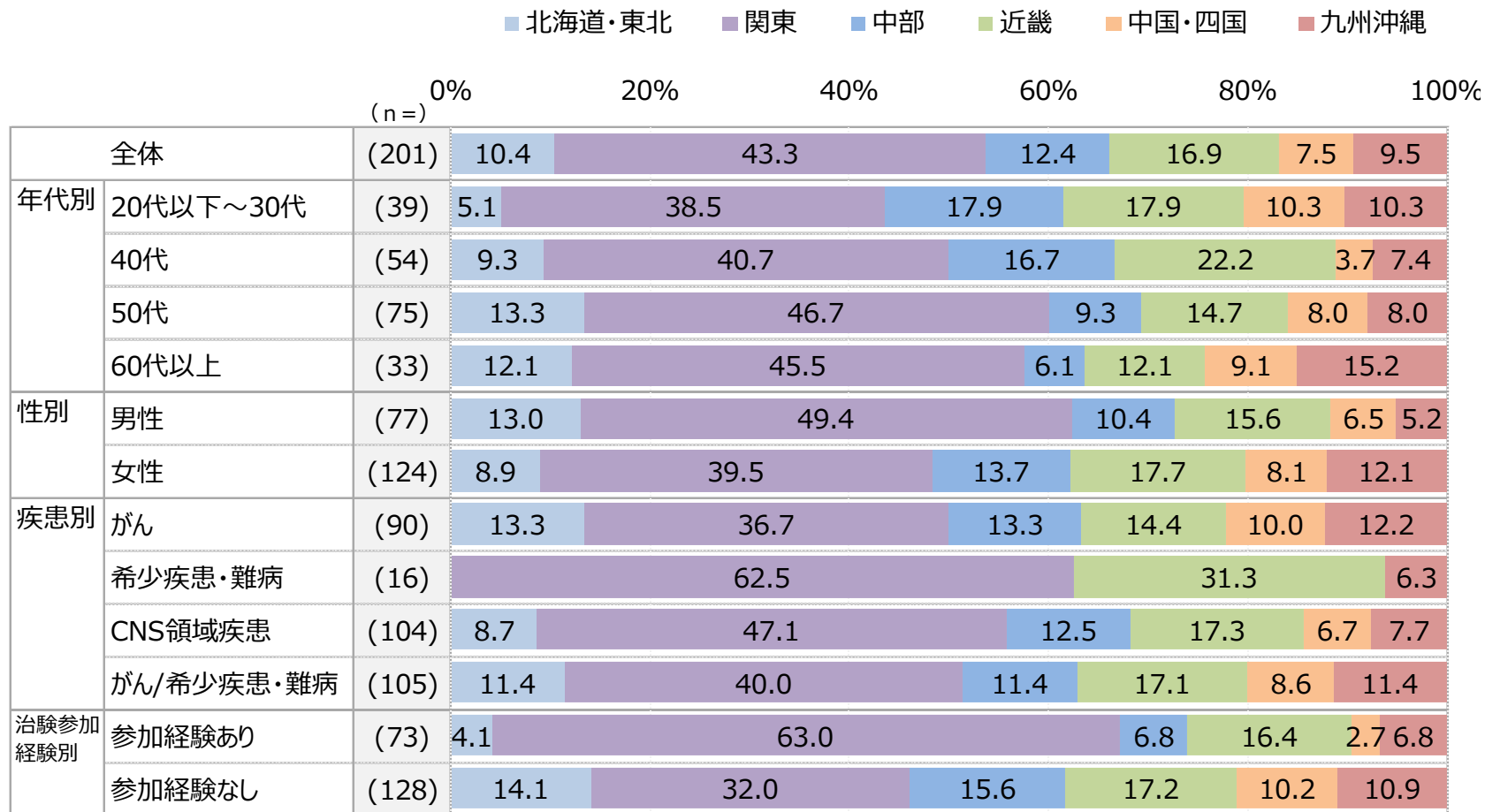
- 自己申告になるので、前回検査を受けてからリポートするまでの間に検査を受けていなければ実際には症状が出ていたかもしれないまま報告することになる(50代・男性)
- 手軽に症状を記録できる点良かった(20代・女性)
- 入力先へのアクセスが遅く、なかなか入力が完了できずに苦労した(40代・女性)
- ない(20代・女性)

■ eConsentを活用した治験について(回答者3名)

- 説明を読むスピードが遅く、説明終了まで時間がかかった。(40代・女性)
- 問題なし(30代・女性)
- ない(20代・女性)

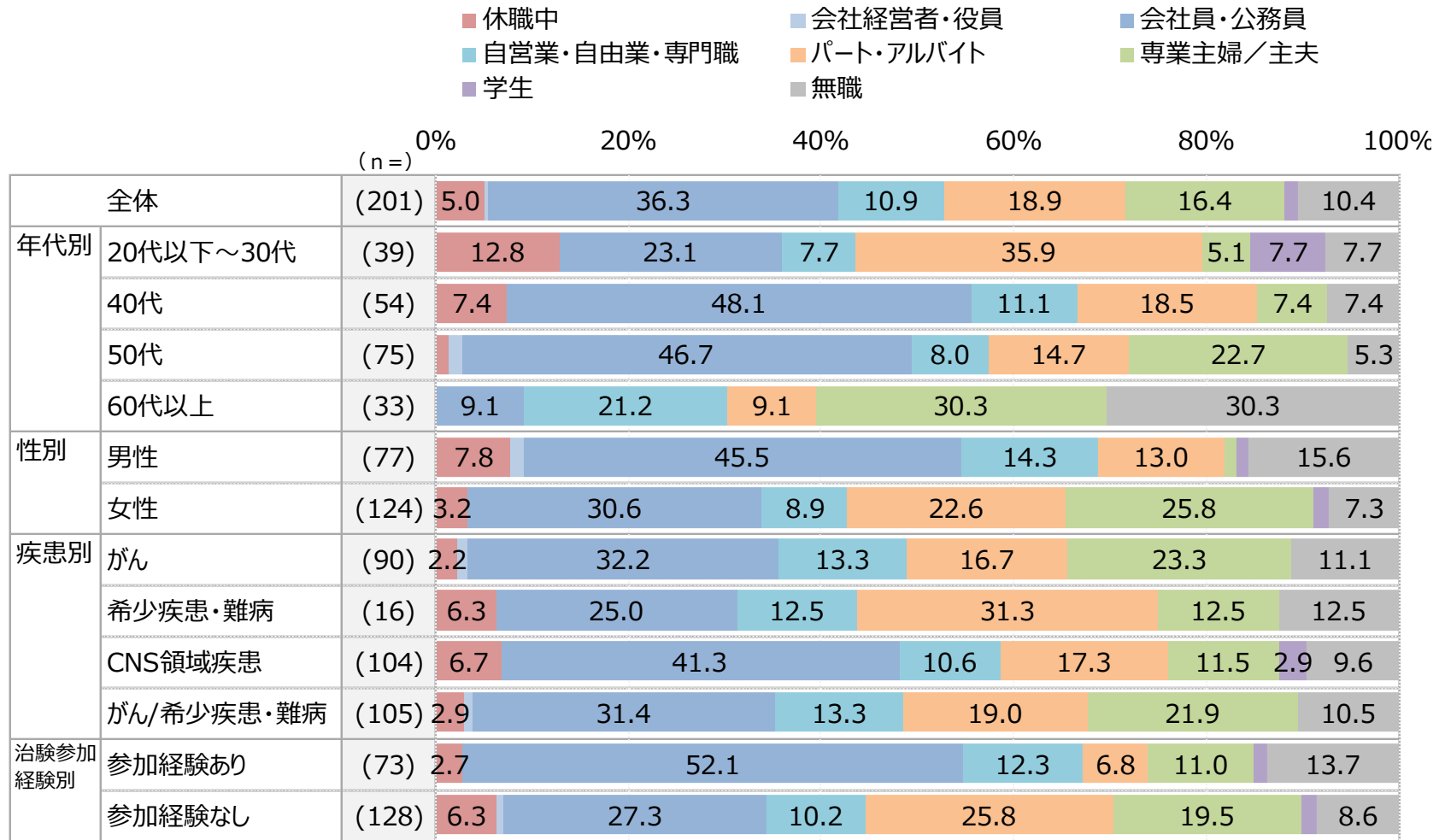
Q29.それぞれを利用して、・良かった点・良くなかった点や改善点・不安に感じた点 などあれば、なるべく具体的にお教えてください。参加したことがある治験についてのみ、お答えください。【FA】

居住地



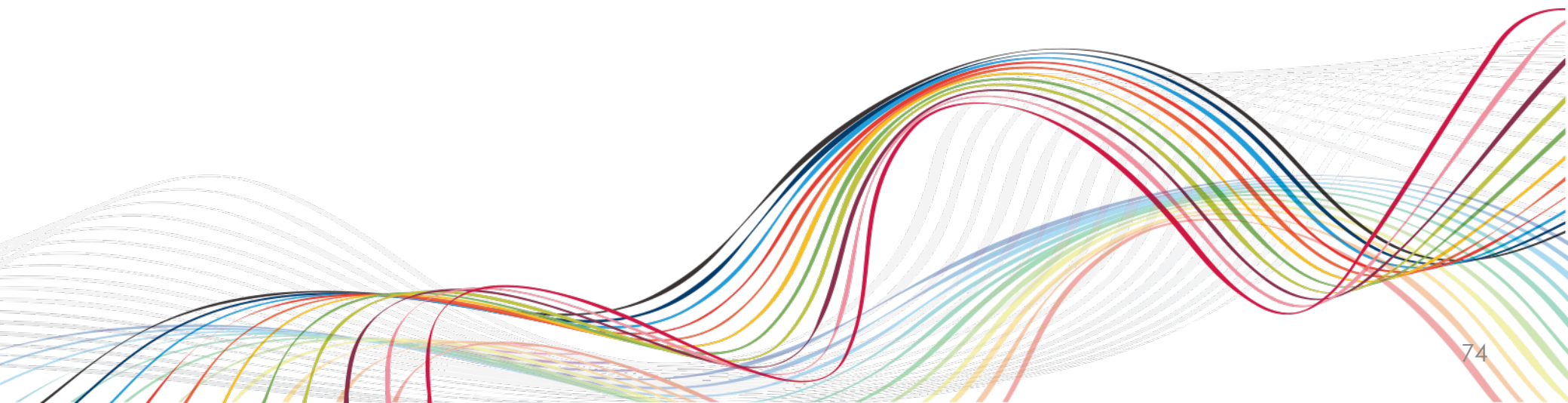
※2.0未満のスコアは非表示

Q30.現在、お住いの居住地をお選びください。【SA】



※2.0未満のスコアは非表示

Appendix



アンケート画面

Q1. あなたの年齢をお選びください。

【必ず回答】

- 18歳未満
- 18～19歳
- 20代
- 30代
- 40代
- 50代
- 60代
- 70代
- 80代以上

編集 削除  この質問を表示する条件“Q1”で“18歳未満”を“選択しなかった”

Q2. あなたの性別をお選びください。

【必ず回答】

- 男性
- 女性
- その他
- 回答しない

編集 削除  他の選択肢と同時に選べない選択肢“どの疾患の診断も受けていない”

編集 削除  この質問を表示する条件“Q1”で“18歳未満”を“選択しなかった”

Q3.

あなたが、診断を受け治療をしている（していた）疾患を全てお選びください。すでに完治／根治している疾患もお選びください。

※希少疾患：患者数が極めて少ない疾患の総称。希少がん患者さんは「がん」の選択肢をお選びください。

※難病：治療がむずかしく、慢性の経過をたどる疾病もいまだ存在し、このような疾病を難病と呼んでいます。ただし、完治はしないものの、適切な治療や自己管理を続ければ、普通に生活ができる状態になっている疾患が多くなっています。

【必ず回答】 (複数選択)

- がん
- 希少疾患・難病
- パーキンソン病
- てんかん
- うつ病
- 統合失調症
- 社交不安症／社会不安障害（SAD）
- その他のメンタルヘルスに関わる病気（パニック障害、心的外傷後ストレス障害、など）
- 睡眠障害
- 頭痛
- 認知症
- どの疾患の診断も受けていない

編集 削除 この質問を表示する条件“Q3”で“がん”を“選択した”

Q4.

Q3で「がん」と回答した方にお伺いします。診断を受けているがんの種類をお選びください。転移がある場合には、一番最初に診断されたがんの種類をお選びください。

【必ず回答】 (複数選択)

- 肺がん
- 乳がん
- 胃がん
- 大腸がん (結腸がん・直腸がん)
- 前立腺がん
- 肝臓がん
- 頭頸部がん (舌がん、咽喉がん、耳下腺がん等)
- 膵臓がん
- 膀胱がん
- 食道がん
- 子宮頸がん
- 血液のがん (白血病・リンパ腫・骨髄腫等)
- その他

編集 削除 この質問を表示する条件“Q3”で“希少疾患・難病”を“選択した”

Q5.

Q3で「希少疾患・難病」と回答した方にお伺いします。診断を受けている疾患名を教えてください。可能な限り正式名称でお答えいただくよう、お願いいたします。

疾患名 【必ず回答】

0文字

編集 削除 この質問を表示する条件“Q3”で“認知症”を“選択しなかった” [さらに] “Q3”で“どの疾患の診断も受けていない”を“選択しなかった”

Q6.

治験の参加経験についてお選びください。

治験：薬が多くの患者の治療に使われるようになるためには、「薬の候補」となる物質を選び出し、動物やヒトで作用・効果・安全性などを調べます。

このうち「薬の候補」を健康な成人や患者に使用して、効果や安全性、治療法（適正な投与量や投与方法）などを確認する目的で行われる試験のことを「治験」といいます。

【必ず回答】

- 治験に参加したことがある／参加中である
- 治験は知っているが、参加したことはない
- 治験とは何か分からない

編集 削除 この質問を表示する条件“Q6”で“治験に参加したことがある／参加中である”を“選択した”

Q7.

前問で「治験に参加したことがある／参加中である」とお答えの方にお伺いします。あなたが参加したことのある治験を全てお選びください。

※希少疾患：患者数が極めて少ない疾患の総称。希少がんの治験の場合は「がん」の選択肢をお選びください。

【必ず回答】 (複数選択)

- がん
- 希少疾患
- パーキンソン病
- てんかん
- うつ病
- 統合失調症
- 社交不安症／社会不安障害 (SAD)
- その他のメンタルヘルスに関わる病気 (パニック障害、心的外傷後ストレス障害、など)
- 睡眠障害
- 頭痛
- その他の疾患

編集 削除 この質問を表示する条件“Q6”で“治験とは何か分からない”を“選択しなかった”

まずは製薬会社の以下の活動に関して、お聞かせください。

※下記の画像をクリックし、ご確認ください。

編集 削除 この質問を表示する条件“Q6”で“治験とは何か分からない”を“選択しなかった”



編集 削除 この質問を表示する条件“Q6”で“治験とは何か分からない”を“選択しなかった”

Q8. あなたは、製薬会社が行っているこのような活動についてどのように感じますか。

【必ず回答】

- よい取り組みだと思う
- どちらかといえばよい取り組みだと思う
- どちらかといえばよい取り組みだと思わない
- よい取り組みだと思わない

編集 削除 この質問を表示する条件“Q6”で“治験とは何か分からない”を“選択しなかった”

Q9.

あなたは、製薬会社が医薬品開発などの様々な企業活動の中で、患者さんの経験や声を取り入れていこうとする活動を行っていることをご存じですか。

※患者さんを対象としたアンケートやインタビュー、ワークショップ、講演会など

【必ず回答】

- 活動に参加したことがある
- 活動に参加したことはないが、聞いたことはある
- 聞いたことがない／知らない

編集 削除 この質問を表示する条件“Q9”で“活動に参加したことがある”を“選択した”

Q10.

前問で、製薬会社が行っている“患者さんの経験や声を取り入れていこうとする活動”に「参加したことがある」とお答えの方にお伺いします。以下の中から実際に参加したことがある活動を全てお選びください。

治験：薬が多くのお患者の治療に使われるようになるためには、「薬の候補」となる物質を選び出し、動物やヒトで作用・効果・安全性などを調べます。このうち「薬の候補」を健康な成人や患者に使用して、効果や安全性、治療法（適正な投与量や投与方法）などを確認する目的で行われる試験のことを「治験」といいます。

同意説明文書：患者さんが治験に参加する前に、治験の内容や目的、リスクや注意点をじっくり読んで理解し、また家に持ち帰って家族や知人と相談するなど、十分に検討できるようにするための「説明書」です。

治験実施計画書：治験実施計画書は、治験を行う上での決まり事や連絡先等が書かれた冊子のことです。具体的には、治験の目的やスケジュール、治験実施方法や組織といった内容が記載されます。

【必ず回答】（複数選択）

- 製薬会社・医師・患者など異なる立場の人が参加するワークショップや講演会
- 治験の満足度調査（参加した(している)治験に関してご意見を伺うアンケートやインタビュー）
- 治験の同意説明文書に関する意見聴取（わかりにくい点や内容へのヒアリング）
- 治験実施計画書に関する意見聴取（わかりにくい点や内容へのヒアリング）
- 研究方針や製剤に関する意見聴取（要望やご意見のヒアリング）
- その他

編集 削除 この質問を表示する条件“Q9”で“活動に参加したことがある”を選択した

Q11.

製薬会社が行っている”患者さんの経験や声を取り入れていこうとする活動”に参加をして、どのように感じましたか。参加をしてみて良かったこと、わかりにくかったことなど、なるべく具体的にお教えてください。

よかったこと

0文字

新しく知れたこと、発見だったこと

0文字

疑問やわかりにくさを感じたこと

0文字

編集 削除 この質問を表示する条件“Q6”で“治験とは何か分からない”を選択しなかった

Q12.

以下の製薬会社が行っている患者さんの声を活かす取り組み・活動について、もしあなたが参加する場合に、どのように感じますか。それぞれについて最もあてはまるものをお選びください。

治験：薬が多く of 患者の治療に使われるようになるためには、「薬の候補」となる物質を選び出し、動物やヒトで作用・効果・安全性などを調べます。このうち「薬の候補」を健康な成人や患者に使用して、効果や安全性、治療法（適正な投与量や投与方法）などを確認する目的で行われる試験のことを「治験」といいます。

同意説明文書：患者さんが治験に参加する前に、治験の内容や目的、リスクや注意点などをじっくり読んで理解し、また家に持ち帰って家族や知人と相談するなど、十分に検討できるようにするための「説明書」です。

治験実施計画書：治験実施計画書は、治験を行う上での決まり事や連絡先等が書かれた冊子のことです。具体的には、治験の目的やスケジュール、治験実施方法や組織といった内容が記載されます。

【必ず回答】

とても意義があると思う やや意義があると思う あまり意義があると思わない 全く意義がない どのようなものかわからず判断ができない

製薬会社・医師・患者など異なる立場の人が参加するワークショップや講演会

⇒ ○ ○ ○ ○ ○

治験の満足度調査（参加した【している】治験に関してご意見を伺うアンケートやインタビュー）

⇒ ○ ○ ○ ○ ○

治験の同意説明文書に関する意見聴取（わかりにくい点や内容へのヒアリング）

⇒ ○ ○ ○ ○ ○

とても意義があると思う やや意義があると思う あまり意義があると思わない 全く意義がない どのようなものかわからず判断ができない

治験実施計画書に関する意見聴取（わかりにくい点や内容へのヒアリング）

⇒ ○ ○ ○ ○ ○

研究方針や製剤に関する意見聴取（要望やご意見のヒアリング）

⇒ ○ ○ ○ ○ ○

編集 削除 この質問を表示する条件“Q6”で“治験とは何か分からない”を“選択しなかった”

Q13.

製薬会社が新しい薬の開発を計画する際に、あなたの意見を聴取する機会があったら参加したいと思いますか。

【必ず回答】

- 参加したい
- やや参加したい
- あまり参加したくない
- 参加したくない

編集 削除 この質問を表示する条件“Q6”で“治験とは何か分からない”を“選択しなかった”

ここからは「治験」に関して、お聞かせください。

治験：薬が多くのお患者の治療に使われるようになるためには、「薬の候補」となる物質を選び出し、動物やヒトで作用・効果・安全性などを調べます。このうち「薬の候補」を健康な成人や患者に使用して、効果や安全性、治療法（適正な投与量や投与方法）などを確認する目的で行われる試験のことを「治験」といいます。

編集 削除 この質問を表示する条件“Q6”で“治験に参加したことがある／参加中である”を“選択した”

Q14. 参加した、または参加している治験のことは、どこで知りましたか。あてはまるものを全てお選びください。

【必ず回答】（複数選択）

- 主治医からの紹介
- 主治医以外の医療従事者（薬剤師・看護師・治験コーディネーター等）からの紹介
- 治験紹介サイトからの案内
- 家族・知人からの紹介
- 同じ病気を持つ方からの紹介
- 自分で探した
- その他（例：患者さんのブログ 等）

編集 削除 この質問を表示する条件“Q14”で“自分で探した”を“選択した”

Q15.

前問で「自分で治験を探した」とお答えの方にお伺いします。治験を探した際、すぐに見つけることができましたか。

【必ず回答】

- 割と簡単に見つけることができました
- なかなか見つけられなかった

編集 削除 ⚠️ 他の選択肢と同時に選べない選択肢“覚えていない”

編集 削除 この質問を表示する条件“Q14”で“自分で探した”を“選択した”

Q16.

前問で「自分で治験を探した」とお答えの方にお伺いします。治験に関する情報は、どこで取得しましたか。利用したものを全てお選びください。

【必ず回答】（複数選択）

- 検索サイト（Google、Yahoo! JAPANなど）
 - 医療系Webサイト（YAHOO!ヘルスケアなど）
 - 病院のホームページ
 - 患者会のホームページ
 - 製薬会社のホームページ
 - 治験／臨床研究の紹介サイト、ポータルサイト（生活上WEB、Qlife、UMINなど）
 - 特定の疾患の情報サイト（オンコロ、がんプラスなど）
 - その他
-
-
- 覚えていない

編集 削除 この質問を表示する条件“Q6”で“治験とは何か分からない”を“選択しなかった”

Q17.

自分が参加した治験の結果（治験のデータ／治験薬の開発が進んだか／販売されたか）について、治験終了後にお知らせを受けたいと思いますか。

治験に参加したことがない方は、今後参加したと仮定してお答えください。

【必ず回答】

- 治験の結果を知りたい
- 治験の結果を知りたいとは思わない

編集 削除 この質問を表示する条件“Q6”で“治験に参加したことがある／参加中である”を“選択した”

Q18. あなたが参加した治験では、治験終了後にその治験の結果を知る機会がありましたか。
【必ず回答】

- 知る機会があった
- 知る機会はなかった
- 覚えていない

編集 削除 この質問を表示する条件“Q6”で“治験に参加したことがある／参加中である”を“選択した”

Q19.
治験に参加して、製薬会社からThank You Letter（サンキューレター）を受け取ったことはありますか。

Thank You Letter（サンキューレター）：治験に参加いただいた方へ送付するお礼状のことを言います。お礼状のみの場合と、お礼状と共に治験結果が確認できるサイト情報が併記されている場合もあります。

【必ず回答】

- 受け取ったことがある
- 受け取ったことはない
- 覚えていない

編集 削除 この質問を表示する条件“Q6”で“治験とは何か分からない”を“選択しなかった”

Q20.
製薬会社から治験参加者にThank You Letter（サンキューレター）が送られることについて、どのように感じになりますか。あなたのお気持ちに近いほうをお選びください。

Thank You Letter（サンキューレター）：治験に参加いただいた方へ送付するお礼状のことを言います。お礼状のみの場合と、お礼状と共に治験結果が確認できるサイト情報が併記されている場合もあります。

【必ず回答】

- 必要だと思う／もらえると嬉しい
- 必要ないと思う／もらっても嬉しいとは思わない

編集 削除 この質問を表示する条件“Q20”で“必要だと思う／もらえると嬉しい”を“選択した”

Q21.
Thank You Letter（サンキューレター）が必要とお答えの方にお伺いします。Thank You Letter（サンキューレター）についてあなたのお考えにあてはまるものを全てお選びください。

Thank You Letter（サンキューレター）：治験に参加いただいた方へ送付するお礼状のことを言います。お礼状のみの場合と、お礼状と共に治験結果が確認できるサイト情報が併記されている場合もあります。

【必ず回答】（複数選択）

- 丁寧な印象を受ける
- 患者に寄り添っている印象を受ける
- 治験参加に対する感謝の気持ちが伝わると思う
- 薬剤の開発に貢献できていると感じられる
- 最後まで治験に参加しようと感じると思う
- 本来であれば全ての治験で、治験参加者全員に行うべきと思う
- その他

編集 削除 この質問を表示する条件“Q6”で“治験に参加したことがある／参加中である”を“選択した”

Q22.
「治験に参加したことがある」とお答えになった方にお伺いします。「同意説明文書」や治験に関連する機材等のマニュアル・手順書の読みやすさや・わかりやすさはいかがでしたか。それぞれについてあてはまるものをお選びください。
※複数回参加したことがある方は、参加した治験について総合的にお答えください。（以降も同様）

【必ず回答】

特に問題は感じなかった
一部読みにくい・わかりづら
全体的に読みにくい・わかりづら
提供されたことは無い

同意説明文書（最初に渡される治験の説明および同意書）

治験に関連する機材等のマニュアル／手順書

治験参加中に使う日誌類

編集 削除 この質問を表示する条件“Q6”で“治験に参加したことがある／参加中である”を“選択した”

Q23.

治験参加時に、治験関連資料（同意説明書、アンケートや機材など）にわからない部分があった際、医療従事者（医師や看護師、治験コーディネーターなど）に確認し解決できましたか。

【必ず回答】

- 確認し、解決した
- 確認したが、解決しなかった
- わからない部分があったが、確認しなかった
- わからない部分はなかった

編集 削除 この質問を表示する条件“Q6”で“治験に参加したことがある／参加中である”を“選択した”

Q24.

治験関連資料全般（同意説明書、アンケートや機材など）に関して、

- ・良かった点
- ・改善点、わかりにくかった点
- ・不安を感じた点
- ・不快、不謹慎と感じた点

などあれば、なるべく具体的にお教えてください。

自由記述

0文字

編集 削除 この質問を表示する条件“Q6”で“治験に参加したことがある／参加中である”を“選択した”

Q25.

治験の内容についてお伺いします。あなたは以下の項目についてどのようにお感じになりましたか。それぞれについてあてはまるものをお選びください。

【必ず回答】

負担・不便を感じなかった
(特に問題なかった)

負担・不便を感じたが、許容
できる内容だった

とても負担・不便を感じた

通院の回数／頻度

検査・採血の回数／頻度

検査・採血時の痛みや辛さ

編集 削除 この質問を表示する条件“Q6”で“治験に参加したことがある／参加中である”を“選択した”

Q26.

治験の内容について医療関係者（医師や看護師、治験コーディネーターなど）に相談したことはありますか。

【必ず回答】

- 相談したことがある
- 相談したことはない

編集 削除 この質問を表示する条件“Q6”で“治験に参加したことがある／参加中である”を“選択した”

Q27.

治験全般（通院・検査・採血など治験内容全般）に関して

- ・良かった点
- ・改善点、わかりにくかった点
- ・不安を感じた点

などあれば、なるべく具体的にお教えてください。

自由記述

0文字

編集 削除 この質問を表示する条件“Q6”で“治験に参加したことがある／参加中である”を“選択した”

Q28.

あなたはこれまでに、訪問診療・訪問看護、ePRO、eConsentを活用した治験に参加したことがありますか。

訪問診療：医師が患者さんのお宅に、定期的に診療のために訪問し、計画的に治療・看護・健康管理等を行うことです。
訪問看護：看護師が患者さんのお宅に訪問し、患者さんの病気や障がいに応じた看護を行うことです。主治医の指示を受け、病院と同じような医療処置も行います。

ePRO：医師による評価ではなく、患者さん自らの評価や症状の訴えなどの報告のことをPRO（Patient Reported Outcome）と言い、電子的に（スマートフォン等を使って）収集したPROのことをePRO（electronic PRO）と言います。

eConsent：対面での説明ではなく、動画や音声等の電磁的なツール（通信機能はない）を使用し治験参加者へ情報を提供し、同意を得る手順のことを言います。

【必ず回答】

	参加したことがある	参加したことはない
訪問診療・訪問看護を活用した治験	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
ePROを活用した治験	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
eConsentを活用した治験	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

編集 削除 この質問を表示する条件“Q6”で“治験とは何か分からない”を“選択しなかった”

Q30. 現在、お住いの居住地をお選びください。
※複数の住居がある場合は、メインでお住いの住居についてお答えください。

【必ず回答】

選択してください

編集 削除 この質問を表示する条件“Q28”の“項目：訪問診療・訪問看護を活用した治験”で“参加したことがある”を“選択した”[もしくは]“Q28”の“項目：ePROを活用した治験”で“参加したことがある”を“選択した”[もしくは]“Q28”の“項目：eConsentを活用した治験”で“参加したことがある”を“選択した”

Q29. それぞれを利用して、

- ・良かった点
- ・良くなかった点や改善点
- ・不安に感じた点

などあれば、なるべく具体的にお教えてください。参加したことがある治験についてのみ、お答えください。

【訪問診療・訪問看護を活用した治験について】

0文字

【ePROを活用した治験について】

0文字

【eConsentを活用した治験について】

0文字

編集 削除 この質問を表示する条件“Q6”で“治験とは何か分からない”を“選択しなかった”

Q31. あなたのご職業をお教えてください。

【必ず回答】

- 休職中
- 会社経営者・役員
- 会社員・公務員
- 自営業・自由業・専門職
- パート・アルバイト
- 専業主婦／主夫
- 学生
- 無職

EH group
Health & Happiness for the Human

お問い合わせ先

3Hメディソリューション株式会社
マーケティング事務局

mkt@3h-ms.co.jp

〒171-0022 東京都豊島区南池袋1-13-23

JRE南池袋ビル2F

TEL : 03-5953-2108

URL : <https://3h-ms.co.jp/>

■ 注意・免責事項

- 本資料は、弊社ステークホルダーへの情報提供を目的に作成されたものです。
- 弊社は、当資料を作成するにあたり、最新かつ正確な情報を提供するように努めておりますが、その完全性・正確性・妥当性について保証するものではありません。
- 本資料のご利用により、いかなる損害が生じたとしても、弊社は一切の責任を負いません。
- 本資料の内容については、弊社及び引用物に関しては引用もとに著作権があります。
- 本文中に記載されている社名、製品・サービス名などは、各社の登録商標または商標です。
- 本資料の一部または全部を弊社の承諾なしに、複製・転載・流用・再配布することを固くお断りいたします。ご利用の際は「mkt@3h-ms.co.jp」までご連絡ください。

■ 3Hの関連サービスについて



3h-ms.co.jp/patientresearchlp

現在、アンメットメディカルニーズやペイシェント・ジャーニーを早期に把握し、適切な意思決定をしていくことが重要となっています。3Hは、患者さんや医療現場との独自のダイレクトアクセスと様々な調査手法で、必要なインサイトの把握を支援します。



<https://3h-ms.co.jp/patientcentricitylp>

製薬企業がPatient Centricity(患者中心)活動や患者・市民参画(PPI: Patient and Public In-volvement)活動を行う際に、製薬企業と患者さんとのコミュニケーションを支援するソリューションです。